

**2010年3月期**  
**第3四半期**  
(2009年4～12月期)  
**決算アナリスト説明会**



**2010年2月3日**  
**ソフトバンク株式会社**

## 免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。

また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

## **経理編** 5

---

連結P/L増減分析 6

連結B/S増減分析 15

連結C/F増減分析 25

## **財務編** 30

---

## **事業編** 57

---

ブロードバンド・インフラ事業 59

固定通信事業 63

移動体通信事業 67



# 経理編



ソフトバンク株式会社  
経理部長 兼 内部統制室長

君和田 和子

## 連結P/L增減分析

# 連結P/L総括

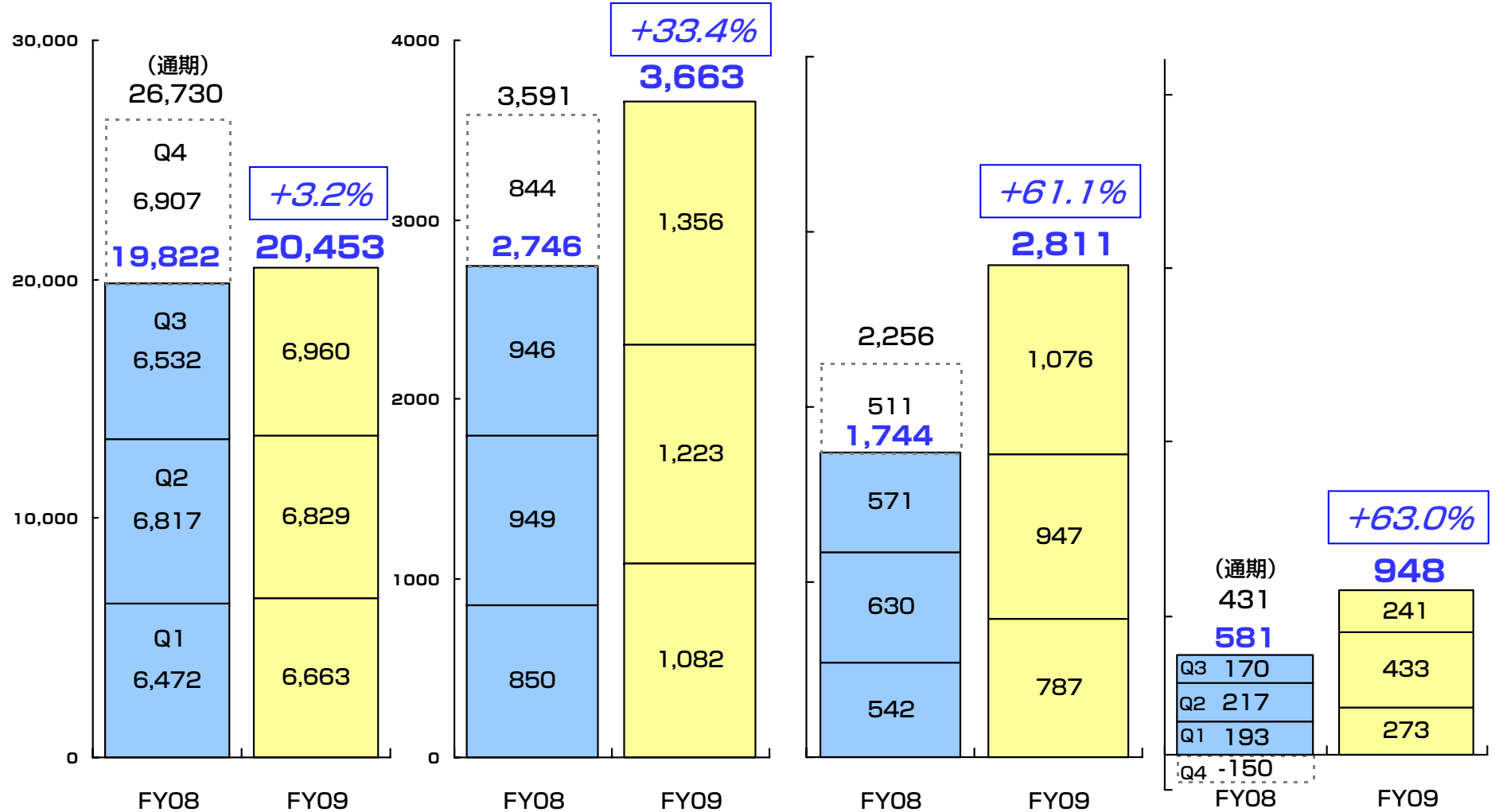
<億円>

売上高

営業利益

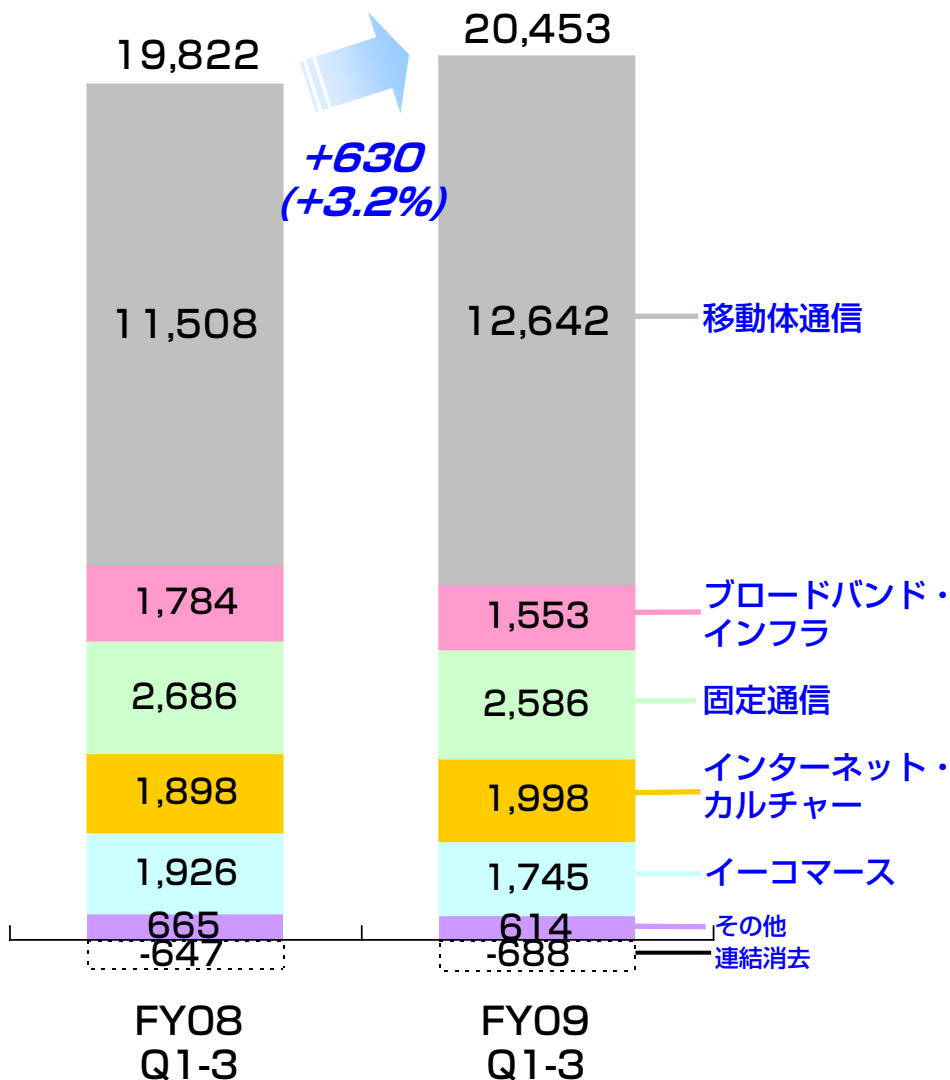
経常利益

当期純利益



# 連結売上高

<億円>



## 移動体通信事業 +1,134億

- 電気通信事業収益の増加 660億
  - 契約数の増加 +664億
  - ARPUの低下 ▲36億
- 附帯事業収益（携帯電話端末売上等）の増加 474億

## ブロードバンド・インフラ事業 ▲230億

- Yahoo! BB ADSL 課金回線数の減少 ▲150億
- Yahoo! BB ADSL ARPUの低下 ▲4億
- ODNの減少 ▲21億

## 固定通信事業 ▲99億

- おとくライン売上の増加 +86億
- マイライン売上の減少 ▲63億
- 国際電話売上の減少 ▲58億
- 旧ソフトバンクIDCのセグメント異動の影響 ▲77億

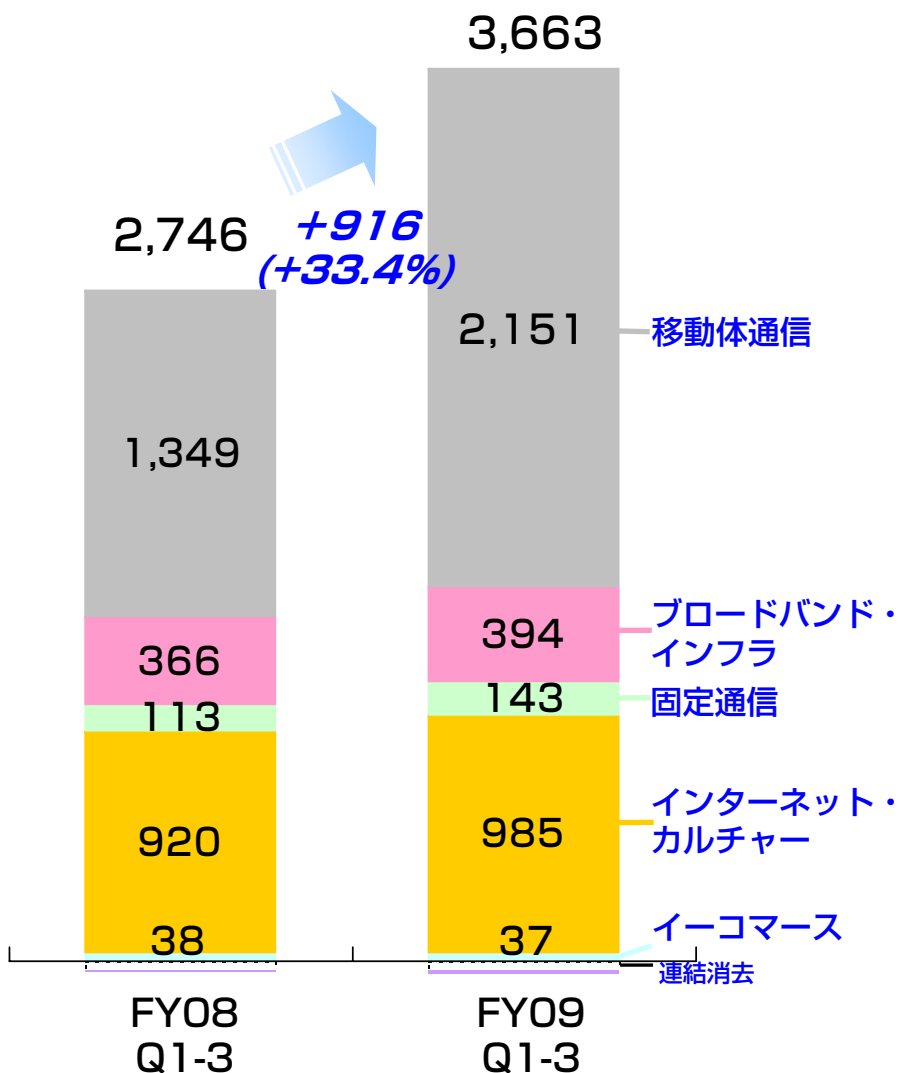
## インターネット・カルチャー事業 +100億

- 広告事業売上の減少 ▲10億
- ビジネスサービス事業売上の増加 +36億
- パーソナルサービス事業売上の増加 +49億



# 連結営業利益

<億円>



## 移動体通信事業 +802億

- ・売上高の増加 +1,134億
- ・売上原価、販売費及び一般管理費の増加 ▲332億  
(主な増加要因)  
携帯電話端末出荷数増加に伴う商品原価の増加  
新規契約数増加に伴う販売手数料の増加  
(主な減少要因)  
貸倒引当金繰入額、業務委託費の減少

## ブロードバンド・インフラ事業 +28億

- ・売上高の減少 ▲230億
- ・減価償却費、リース料など売上原価の減少 +137億
- ・販売費および一般管理費の減少  
(主な要因)  
販売手数料および販売促進費の減少 +94億

## 固定通信事業 +30億

- ・売上高の減少 (旧ソフトバンクIDCの売上高を除く) ▲21億
- ・主な売上原価の減少要因: 通信設備使用料 +55億
- ・旧ソフトバンクIDCのセグメント異動の影響 ▲16億

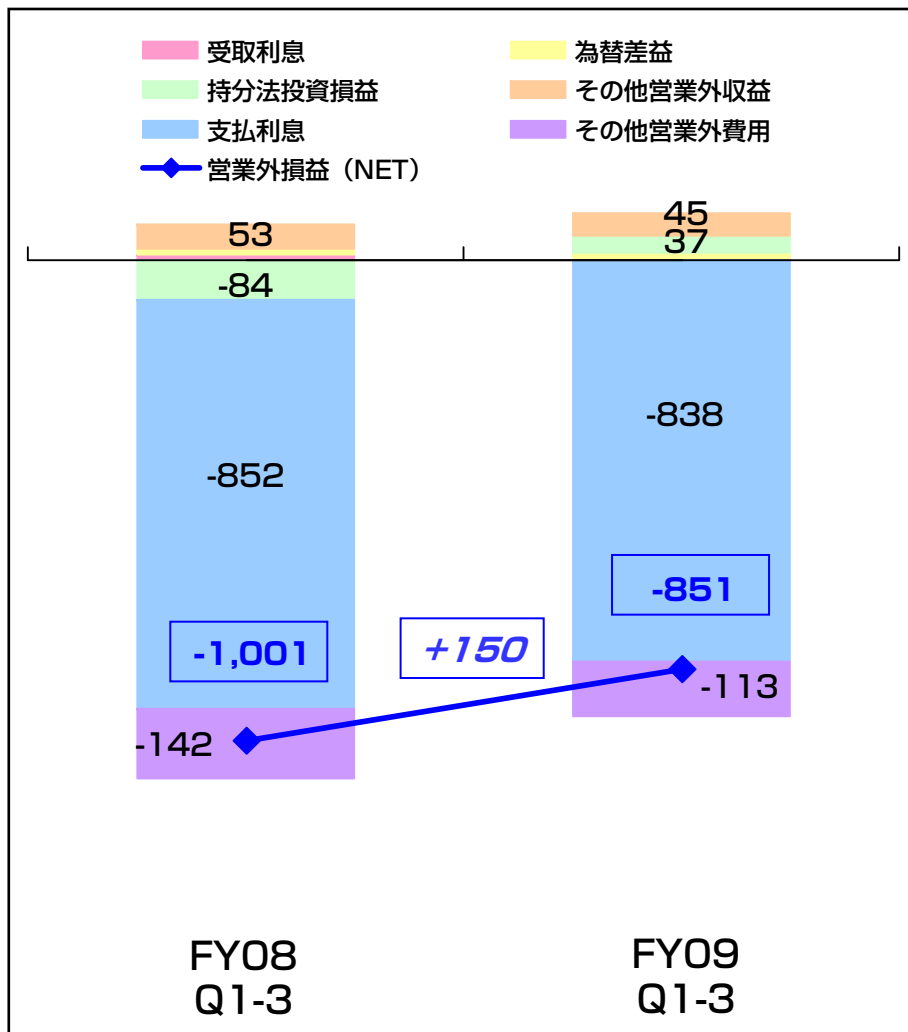
## インターネット・カルチャー事業 +64億

- ・売上高の増加 +100億円
- ・ヤフー 業務委託費など販売費及び一般管理費の減少 +29億円

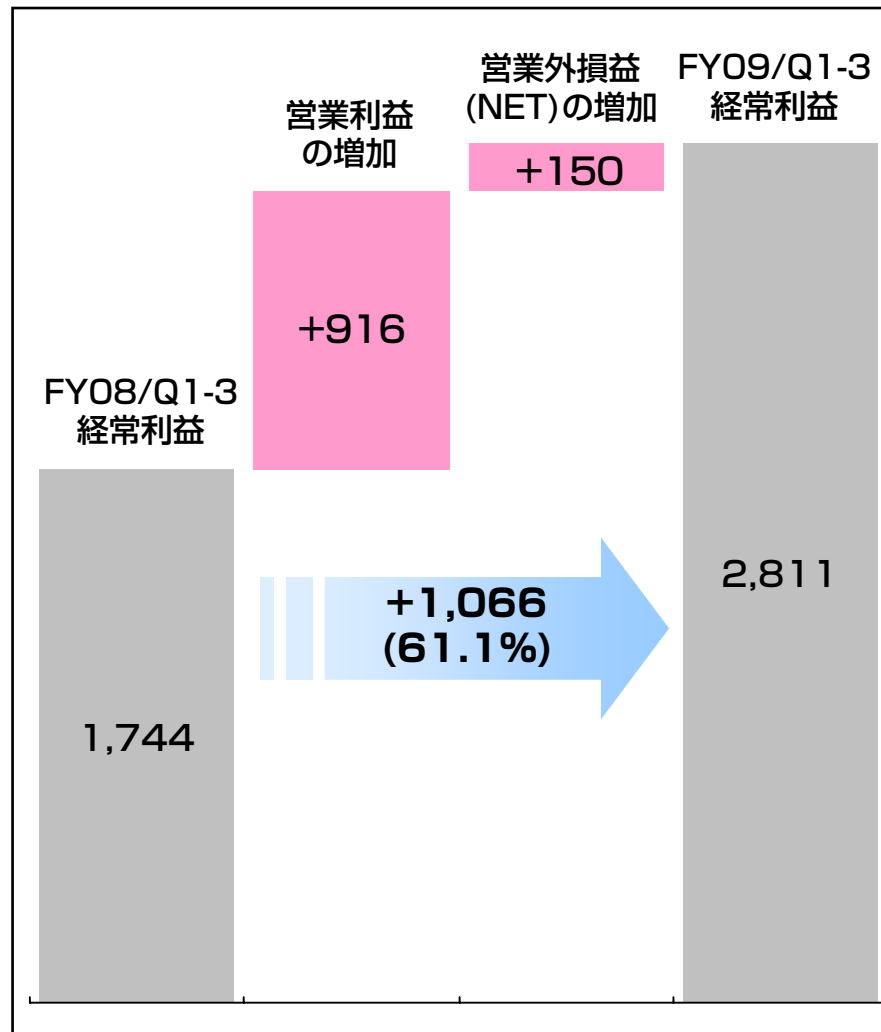
# 営業外損益と経常利益

<億円>

## 営業外損益



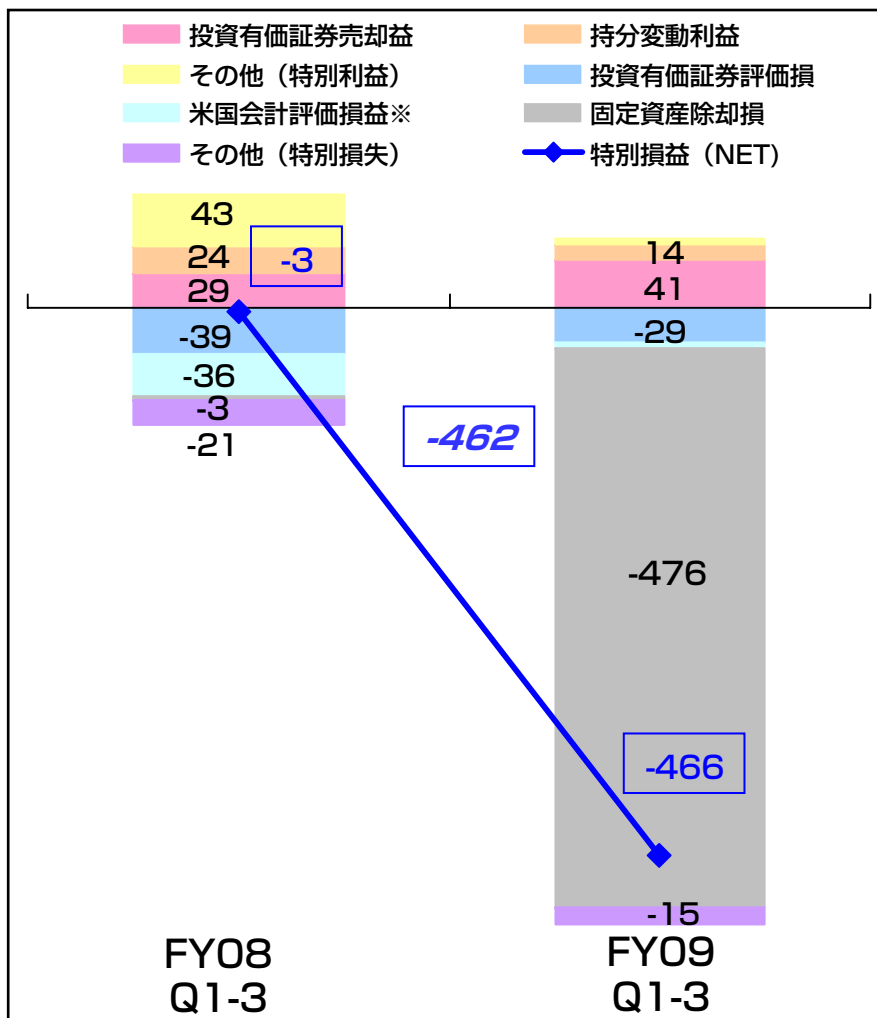
## 経常利益



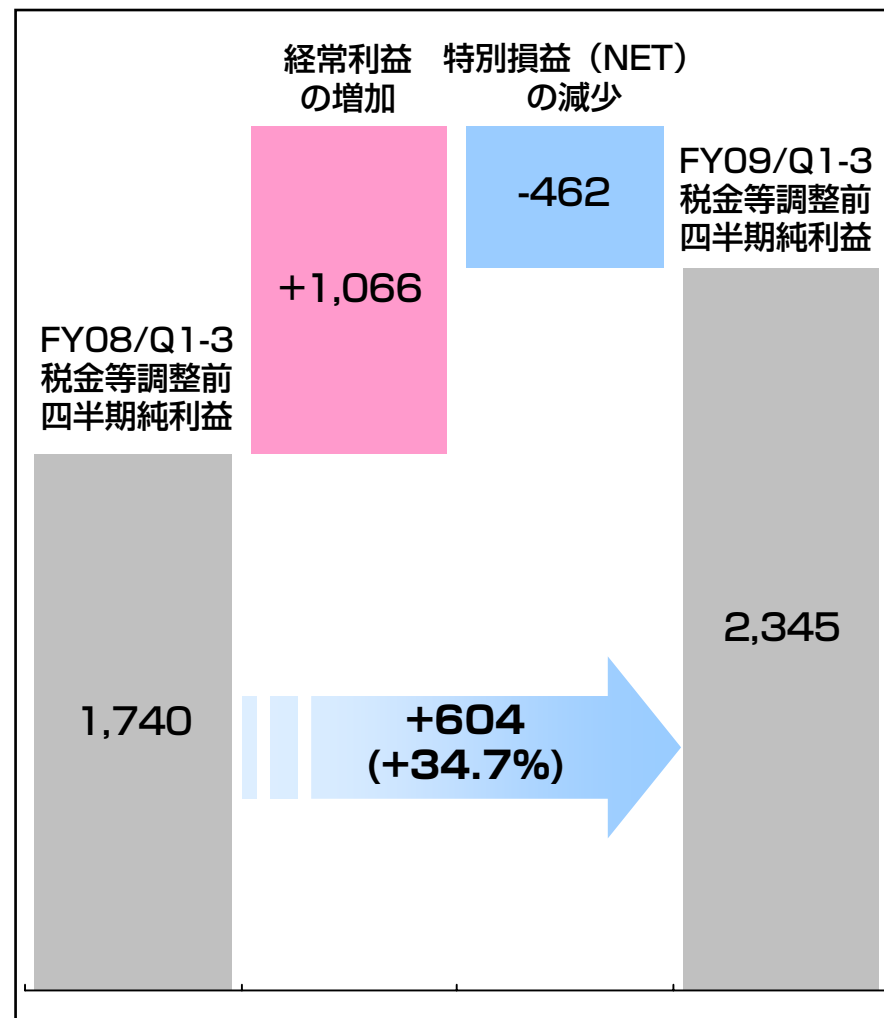
# 特別損益と税金等調整前四半期純利益

<億円>

## 特別損益



## 税金等調整前四半期純利益



※米国子会社の投資会社会計に基づく投資有価証券評価及び売却損益を純額で表示

# 税金・その他調整額の内訳

<億円>

## FY09/Q1-3 主な税金費用の内訳

<b>A</b>	<b>法人税、住民税および事業税</b>		<b>895</b>
	(主な内訳)		
	1. ヤフー	419	
	2. SBM 住民税および事業税 (BBM連結納税対象外)	268	
	3. BBM 連結納税グループ法人税 (繰越欠損金はすべて使用済み)	176	
<b>B</b>	<b>法人税等調整額</b>		<b>156</b>
	(主な内訳)		
	4. SBM 一時差異計上 (2G設備除却損など)	▲ 149	
	5. BBM 連結納税グループ 繰越欠損金利用など	242	
	6. SBM 減価償却費等調整 (SBM連結時全面時価評価に伴うものの調整)	68	
	<b>税金費用合計(A+B)</b>		<b>1,052</b>

# 税率差異

## FY09/Q1-3 主な税率差異要因

	率(%)	(参考) 金額(億円)
税金等調整前四半期純利益		2,345
法定実効税率	40.7%	954
(主な税率差異要因)		
・ のれん償却 (主にSBM)	7.7%	182
・ 評価性引当額の増減	▲2.5%	▲ 59
・ その他	▲1.0%	▲ 25
法人税等の負担率	44.9%	1,052

SBM : ソフトバンクモバイル

# 繰越欠損金 (2009年12月末)

<億円>

会社名	前期末残高 〔課税所得 ベース〕	Q1-3発生 〔課税所得 ベース〕	Q1-3使用 〔課税所得 ベース〕	その他増減	Q3末残高 〔課税所得 ベース〕	繰延税金資産 (税額ベース)	有効期限
BBモバイル	771	-	▲ 771	-	-	-	—
ソフトバンクテレコム	855	43	-	-	899	378	2013年3月~2017年3月
ソフトバンクBB	234	-	▲ 14	-	220	89	2013年3月
その他	1,291	383	▲ 99	▲ 21	1,554	618	2010年3月~2017年3月
全社合計	3,153	427	▲ 885	▲ 21	2,673	1,086	

評価性引当額 ▲932

繰越欠損金に係る繰延税金資産B/S計上額 (全社合計) 153

## 連結B/S增減分析

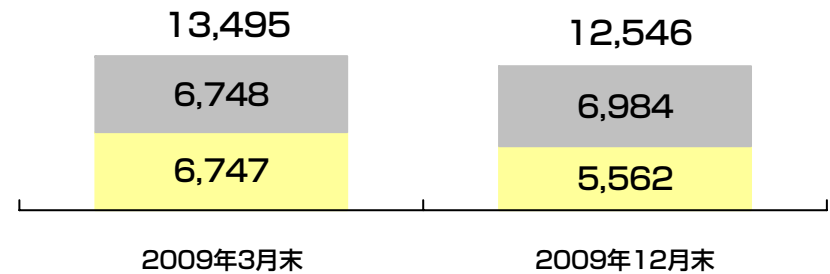
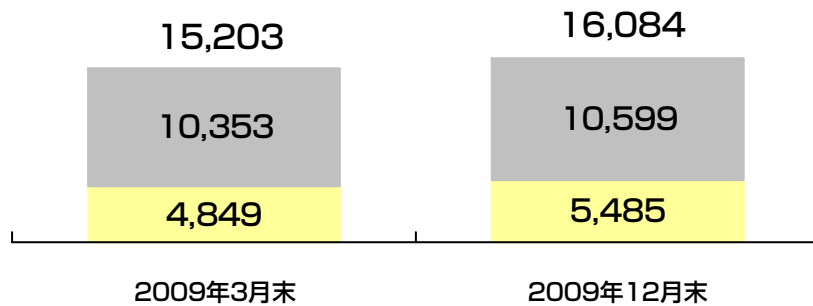
# 連結B/S 総括

■ SBM ■ SBM以外

<億円>

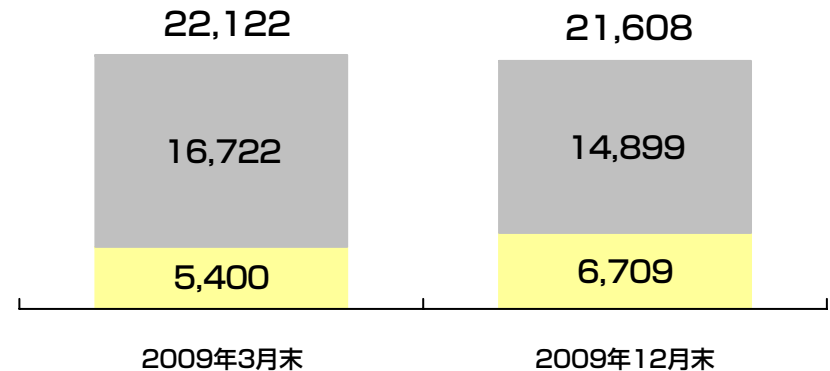
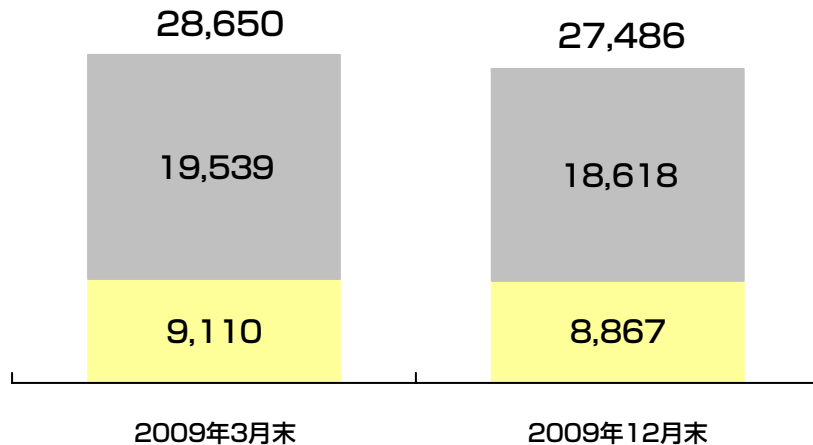
流動資産

流動負債



固定資産

固定負債





# 連結B/S (1) 流動資産

<億円>

資産	2009年3月末	2009年12月末	増減	摘要
流動資産	15,203	16,084	881	
SBM	10,353	10,599	245	
その他	4,849	5,485	635	
現金及び預金	4,579	6,057	1,477	
SBM	2,666	3,147	481	営業活動による増加 (+2,814) 割賦債権流動化 (調達+1,803、返済▲1,798) 新規取得設備のリース化による収支 (入金+451、返済▲667) 固定資産取得による支出 (▲1,461) SBM借入返済 (▲958)
その他	1,913	2,910	996	SB単体：09/3末 (939) →09/12末 (1,207) 内訳/第27・28・29回無担保普通社債発行 (+1,550) 借入金返済 (▲659) ヤフー：09/3末 (164) →09/12末 (885) SBTM：第1回無担保普通社債償還 (▲450)
受取手形及び売掛金	8,580	7,923	▲657	
SBM	6,827	6,380	▲446	携帯電話端末の割賦売掛金 09/3末 (4,878) →09/12末 (4,405) うち割賦売掛金売却 (▲206) 通信収入等売掛金 09/3末 (1,235) →09/12末 (1,347) 携帯電話端末販売 (代理店向け) 09/3末 (664) →09/12末 (580)
その他	1,753	1,543	▲210	SBB：09/3末 (688) →09/12末 (541) SBTM：09/3末 (545) →09/12末 (457)
商品及び製品	423	437	14	
SBM	323	306	▲16	
その他	100	131	31	
繰延税金資産	930	730	▲200	
SBM	425	500	75	
その他	505	229	▲275	BBM：繰越欠損金利用など(▲232) SBB：繰越欠損金利用など(▲72)
その他	1,177	1,369	191	
SBM	523	635	112	
その他	654	733	78	
貸倒引当金	▲488	▲433	55	
SBM	▲411	▲371	39	
その他	▲77	▲61	15	

# 連結B/S (2) 有形固定資産

<億円>

資産	2009年3月末	2009年12月末	増減	摘要
固定資産	28,650	27,486	▲1,163	
SBM	19,539	18,618	▲920	
その他	9,110	8,867	▲242	
有形固定資産	10,009	9,415	▲594	
SBM	6,971	6,553	▲417	
その他	3,038	2,861	▲176	
建物及び構築物	715	687	▲27	
SBM	294	266	▲27	
その他	421	421	▲0	
通信機械設備	7,389	6,970	▲418	
SBM	6,040	5,716	▲324	機械設備取得(+606)、空中線設備等取得(+63)、償却等(▲822)、2Gサービス終了および3G設備一部集約による除却(▲172)
その他	1,348	1,254	▲94	SBTM: 09/3末(1,024)→09/12末(966) SBB: 09/3末(277)→09/12末(231)
通信線路設備	796	745	▲51	
SBM	89	83	▲6	
その他	706	662	▲44	SBTM: 09/3末(706)→09/12末(662)
土地	225	225	▲0	
SBM	108	107	▲0	
その他	117	117	▲0	
建設仮勘定	374	317	▲57	
SBM	173	169	▲4	
その他	201	148	▲53	SBTM: 09/3末(140)→09/12末(115)
その他	507	468	▲38	
SBM	264	210	▲54	
その他	242	258	15	

# 連結B/S (3) 無形固定資産

資産	2009年3月末	2009年12月末	増減	摘要
固定資産	28,650	27,486	▲1,163	
無形固定資産	12,221	11,621	▲599	
SBM	10,774	10,311	▲463	
その他	1,446	1,310	▲135	
のれん	9,567	9,110	▲456	
SBM	8,785	8,399	▲385	規則的な償却による減少
その他	781	710	▲70	規則的な償却による減少
ソフトウェア	2,261	2,101	▲159	
SBM	1,897	1,766	▲131	2Gサービス終了および3G 設備一部集約による除却 (▲98)
その他	363	335	▲28	
その他	392	409	16	
SBM	91	145	53	
その他	300	264	▲36	
投資その他の資産	6,419	6,450	30	
SBM	1,793	1,754	▲39	
その他	4,626	4,696	69	
投資有価証券	3,201	3,454	253	
SBM	17	19	1	
その他	3,183	3,434	251	Yahoo! Inc.の株価上昇 (+152) Oak Pacific Interactive株式の追加取得 (+75) RockYou (US) 株式の追加取得 (+47)
繰延税金資産	1,582	1,608	25	
SBM	1,285	1,301	15	
その他	296	307	10	
その他	2,007	1,612	▲394	
SBM	810	611	▲199	
その他	1,197	1,001	▲195	SBH: デリバティブ資産 (▲193)
貸倒引当金 (長期)	▲371	▲225	145	
SBM	▲319	▲177	142	
その他	▲51	▲47	3	
繰延資産	13	20	7	
SBM	-	-	-	
その他	13	20	7	

<億円>

# 連結B/S (4) 流動負債

<億円>

負債	2009年3月末	2009年12月末	増減	摘要
流動負債	13,495	12,546	▲949	
SBM	6,748	6,984	235	
その他	6,747	5,562	▲1,185	
支払手形及び買掛金	1,603	1,418	▲185	
SBM	1,005	899	▲105	
その他	598	518	▲79	SBB：09/3末(383)→09/12末(329) SBTM：09/3末(55)→09/12末(27)
短期借入金	5,755	4,034	▲1,721	
SBM	1,857	1,806	▲51	主に割賦債権流動化による借入
その他	3,897	2,228	▲1,669	SB単体：09/3末(3,360)→09/12末(2,025) コミットメントライン返済(▲1,300) SBTM：09/3末(209)→09/12末(10) ヤフー：09/3末(200)→09/12末(100)
1年内償還予定の社債	640	734	94	
SBM	-	-	-	
その他	640	734	94	SB単体：第22・24回無担保普通社債の固定負債からの振替(+544) SBTM：第1回無担保普通社債の償還(▲450)
未払金及び未払費用	3,521	3,920	398	
SBM	2,688	2,965	277	社債のデット・アサンプションに係る追加信託義務の固定負債からの振替(+750)、代理店手数料・設備未払金などの減少(▲463)
その他	833	954	120	
リース債務	882	1,045	163	
SBM	867	972	105	固定負債からの振替(+773)、リース料支払い(▲667)
その他	15	72	57	
その他	1,092	1,393	300	
SBM	331	339	8	
その他	761	1,053	291	未払法人税等 ヤフー(+303)、BBモバイル(+176)

# 連結B/S (5) 固定負債

<億円>

負債	2009年3月末	2009年12月末	増減	摘要
固定負債	22,122	21,608	▲514	
SBM	16,722	14,899	▲1,822	
その他	5,400	6,709	1,308	
社債	3,245	4,185	939	
SBM	-	-	-	
その他	3,245	4,185	939	SB単体：第27・28・29回無担保普通社債の発行(+1,550) 第22・24回無担保普通社債の1年内償還予定の社債への振替 (▲544)
長期借入金	14,362	13,928	▲434	
SBM	13,057	12,154	▲902	SBM借入 09/3末(11,848)→09/12末(10,889) ポーダフォン劣後ローン 09/3末(845)→09/12末(845) 割賦債権流動化による借入 09/3末(362)→09/12末(418)
その他	1,305	1,773	467	SB単体：09/3末(50)→09/12末(726) ヤフー：09/3末(100)→09/12末(-)
繰延税金負債	287	265	▲22	
SBM	-	-	-	
その他	287	265	▲22	
ポイント引当金	418	422	3	
SBM	418	422	3	利用顧客に対するポイント割引
その他	-	-	-	
リース債務	2,333	2,043	▲290	
SBM	2,276	1,955	▲321	新規調達(+451)、1年内へ振替(▲773)
その他	56	87	31	
その他	1,475	764	▲710	
SBM	970	367	▲603	社債のデット・アサンプションに係る追加信託義務の未払金及び未払費用 への振替(▲750)
その他	504	397	▲107	

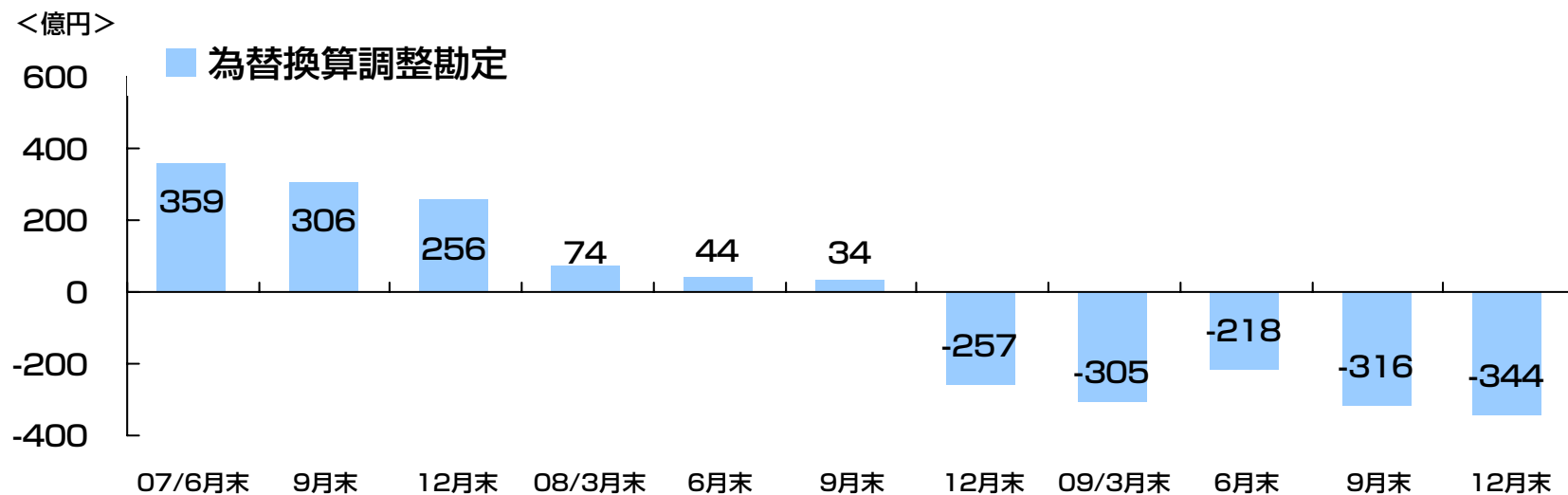
SB：ソフトバンク SBM：ソフトバンクモバイル

# 連結B/S (6) 純資産

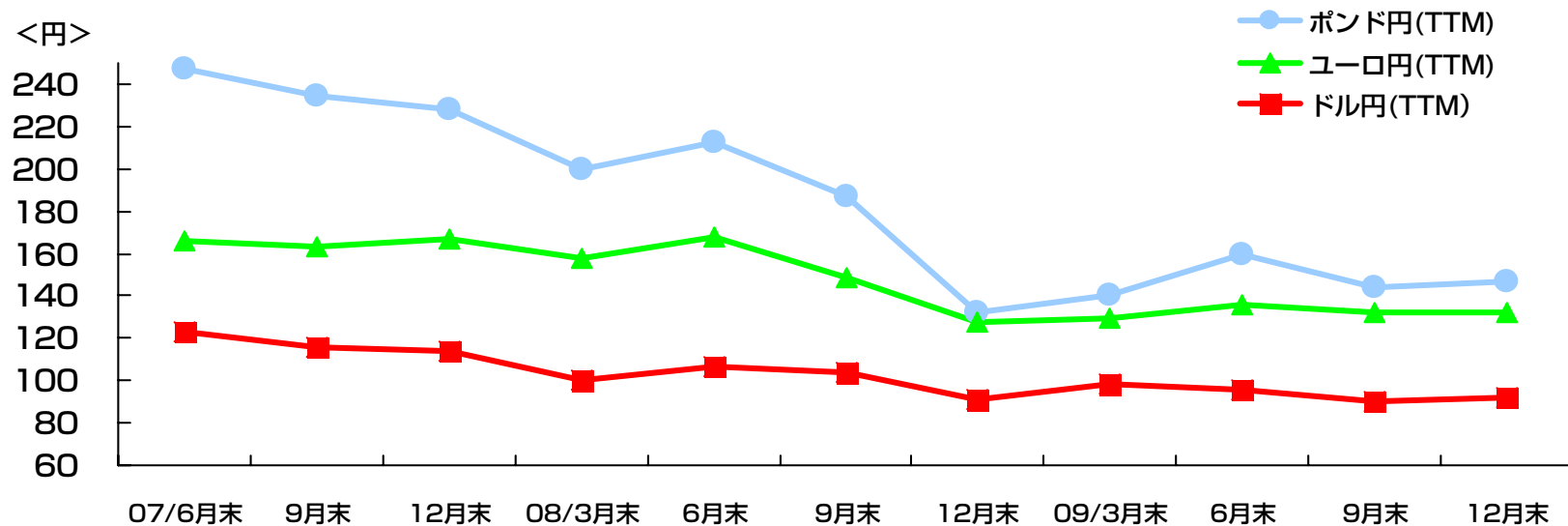
<億円>

純資産	2009年3月末	2009年12月末	増減	摘要
純資産の部	8,247	9,436	1,188	
株主資本	3,481	4,427	945	
資本金	1,876	1,887	10	
資本剰余金	2,119	2,130	10	
利益剰余金	▲512	412	924	四半期純利益 (+948)、配当金 (▲27)
自己株式	▲2	▲2	▲0	
評価・換算差額等	258	213	▲45	
その他有価証券評価差額金	313	425	112	Yahoo! Inc.の株価上昇など
繰延ヘッジ損益	251	132	▲118	
為替換算調整勘定	▲305	▲344	▲38	
新株予約権	2	4	1	
少数株主持分	4,504	4,791	287	BBM 09/12末 (3,000) ※Vodafone International Holdings B.V.に対する優先株 ヤフー 09/3末 (1,322) →09/12末 (1,613)

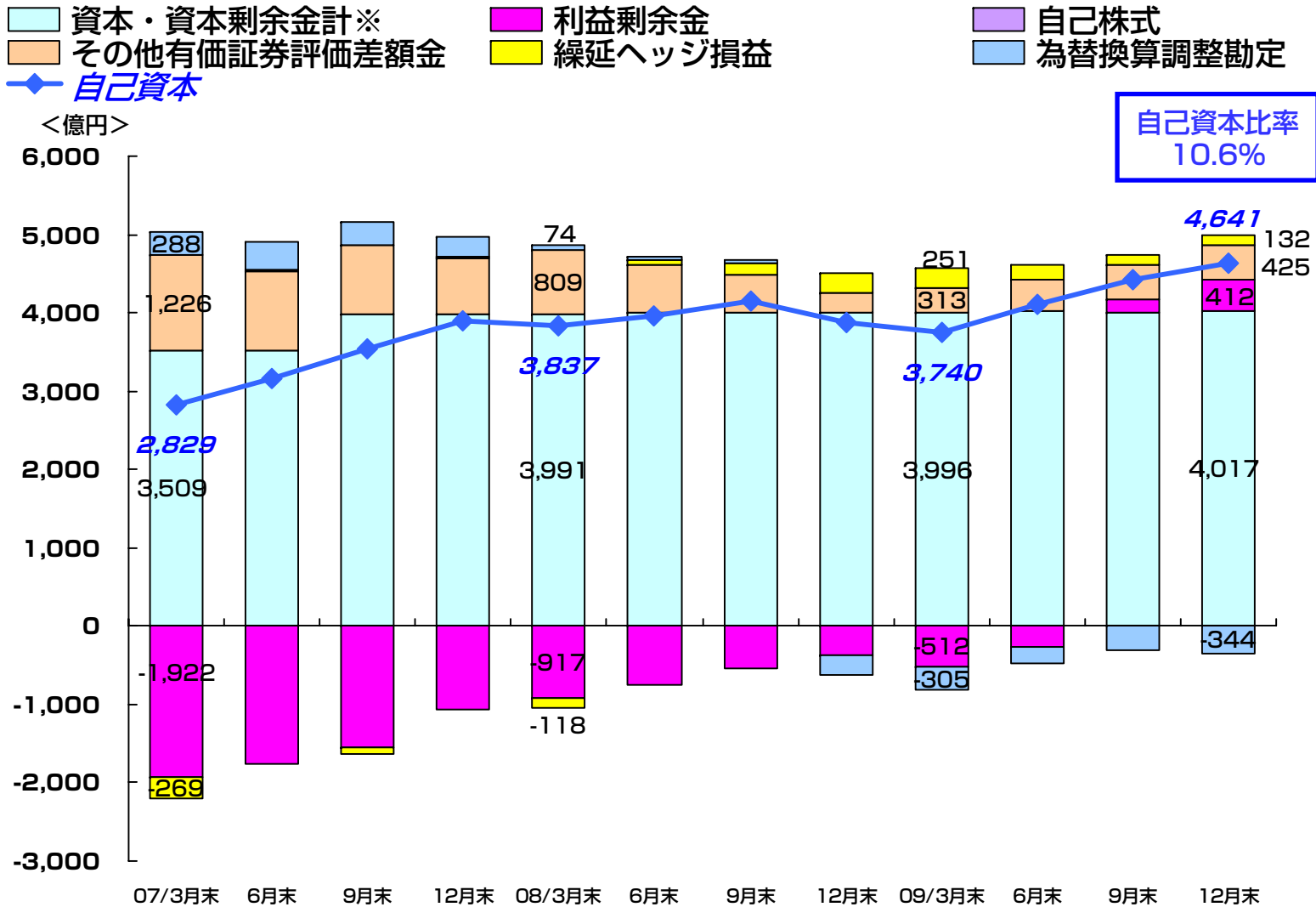
# [純資産]為替変動による為替換算調整勘定への影響



## <参考> 主要な為替レートの推移



# [純資産]自己資本の推移

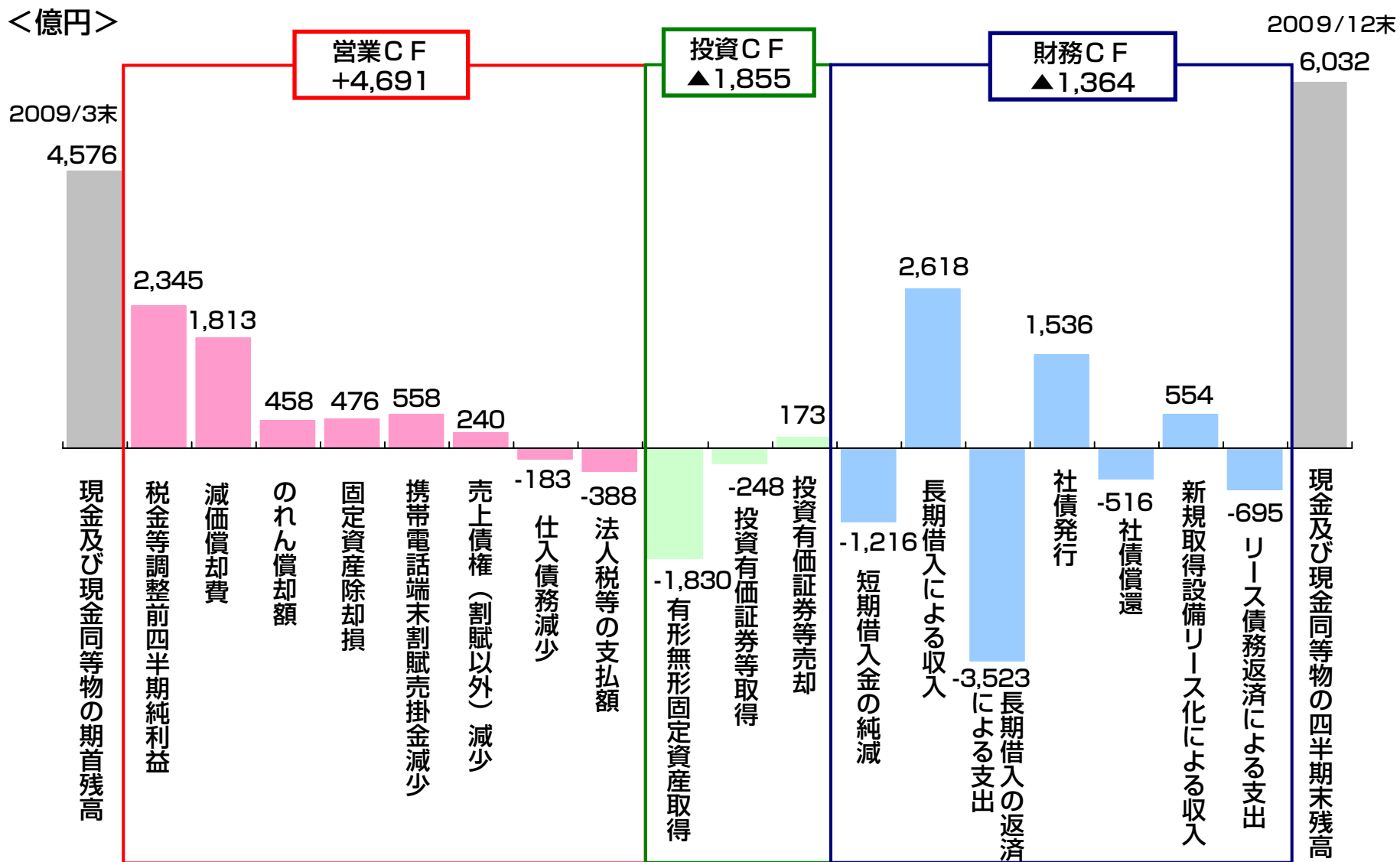


※新株式申込証拠金を含む。



## 連結C/F增減分析

# 連結キャッシュフロー 主な内訳

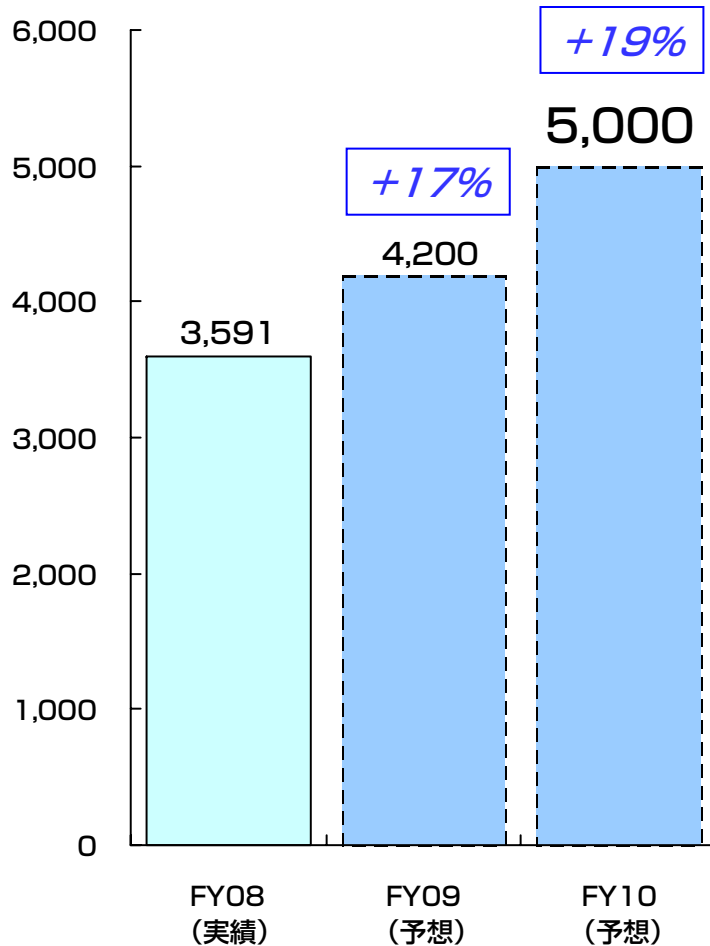


※連結キャッシュフロー計算書に記載している項目のうち、主なものを記載しています。

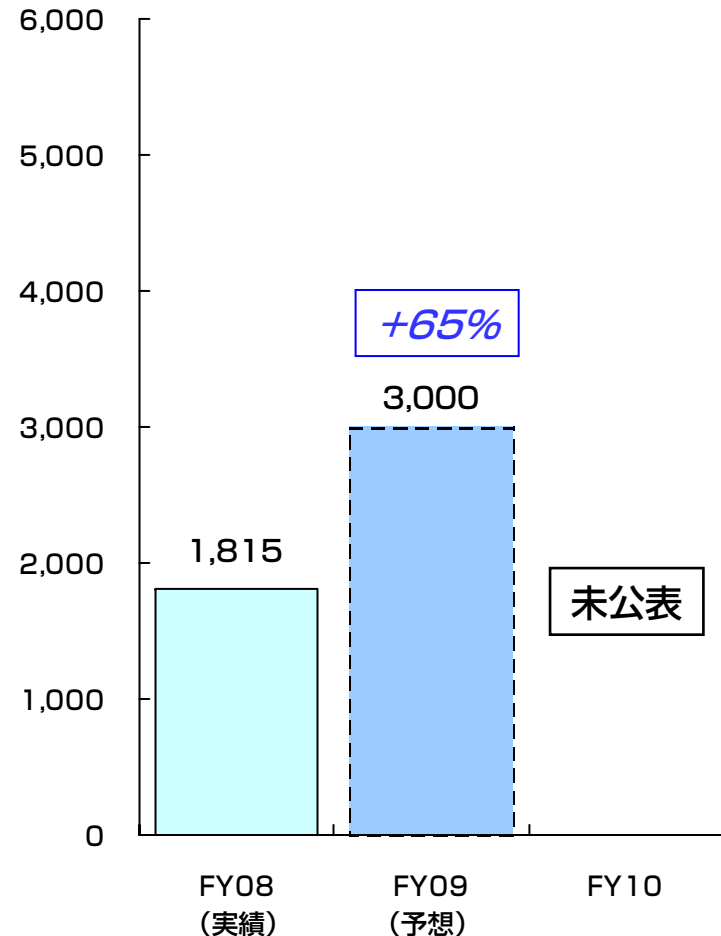
# 連結業績予想

<億円>

## 営業利益



## フリーキャッシュフロー



※フリーキャッシュフロー(FCF、純現金収支) = 営業キャッシュフロー + 投資キャッシュフロー

# 連結範囲および持分法適用の範囲

	社数	主な会社名
連結子会社数	109	ソフトバンクモバイル、ソフトバンクBB、ソフトバンクテレコム、ヤフー、ソフトバンク・テクノロジー、アイティメディアなど
新たに連結子会社となった会社数	5	
連結の範囲から除外された会社数	4	オーバーチュア（ヤフーとの合併による）
非連結子会社数 (③=①+②)	64	重要性の低い小規模な会社
持分法適用非連結子会社数 ①	5	
新たに持分法適用となった会社数	1	
持分法適用関連会社数	58	ガンホー・オンライン・エンターテイメント、マイスペース、Alibaba Group Holding Limitedなど
新たに持分法適用となった会社数	2	Oak Pacific Interactive、RockYou (US)
持分法適用から除外された会社数	14	
持分法非適用非連結子会社数 ②	59	重要性の低い小規模な会社
持分法非適用関連会社数④	25	重要性の低い小規模な会社

## 非連結子会社、持分法非適用関連会社の損益および有利子負債の状況

	社数	純利益 (持分割合考慮後)	有利子負債 (グループ外部)
非連結子会社③	64	▲1.3 億円	1.9 億円
持分法非適用関連会社④	25	▲3.0 億円	—



# 財務編

---

ソフトバンク株式会社  
財務部長

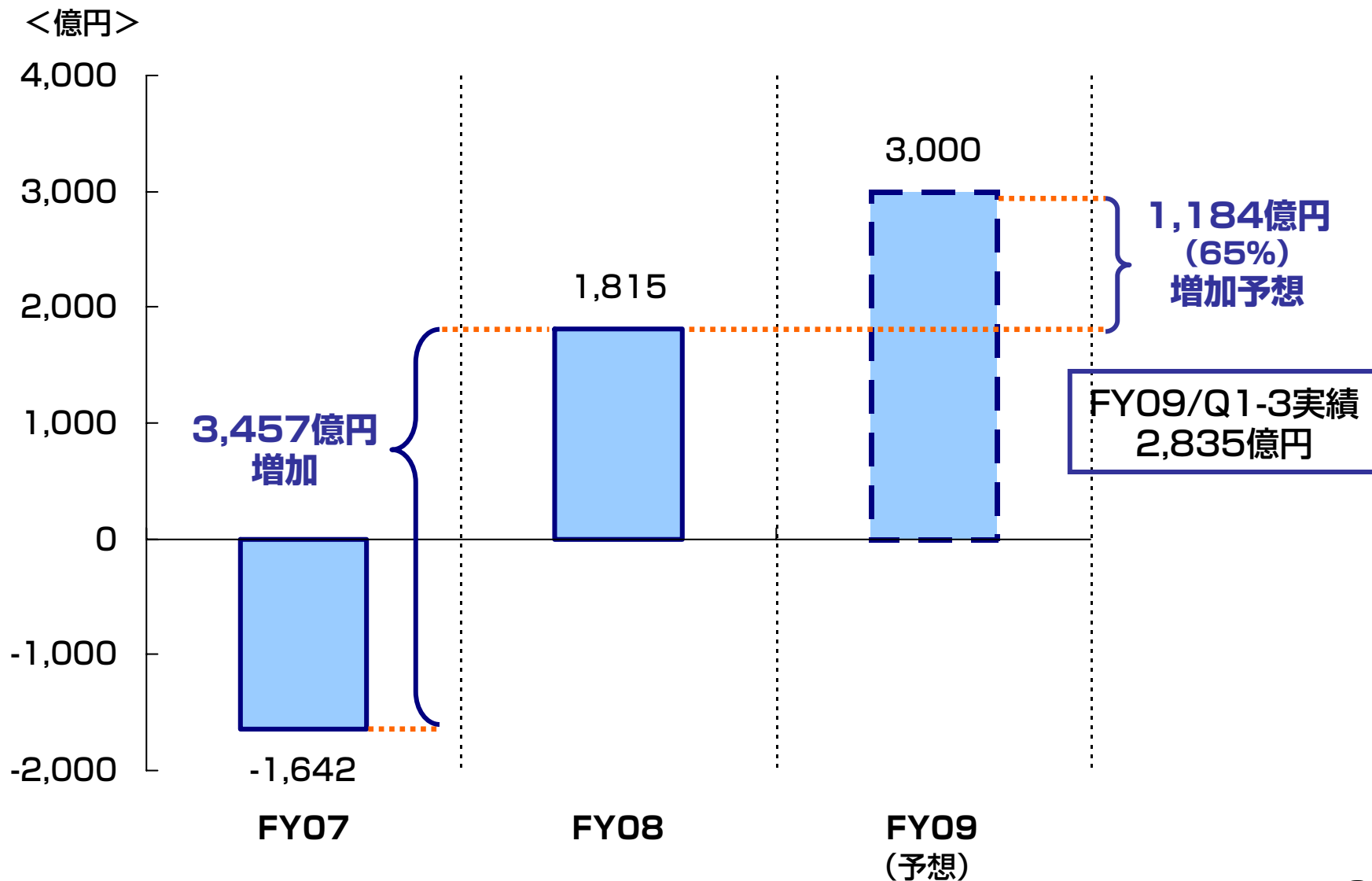
後藤 芳光

# 2009年4～12月期の主な財務活動

<億円>

年月	内容	金額
2009年6月	第27回無担保普通社債発行 (福岡ソフトバンクホークスbond)	600
6月	携帯電話端末割賦債権の流動化による調達	702
7月	第28回無担保普通社債発行	300
9月	第29回無担保普通社債発行 (福岡ソフトバンクホークスbond)	650
9月	コミットメントライン更改	2,356
9月	携帯電話端末割賦債権の流動化による調達	499
12月	携帯電話端末割賦債権の流動化による調達	600

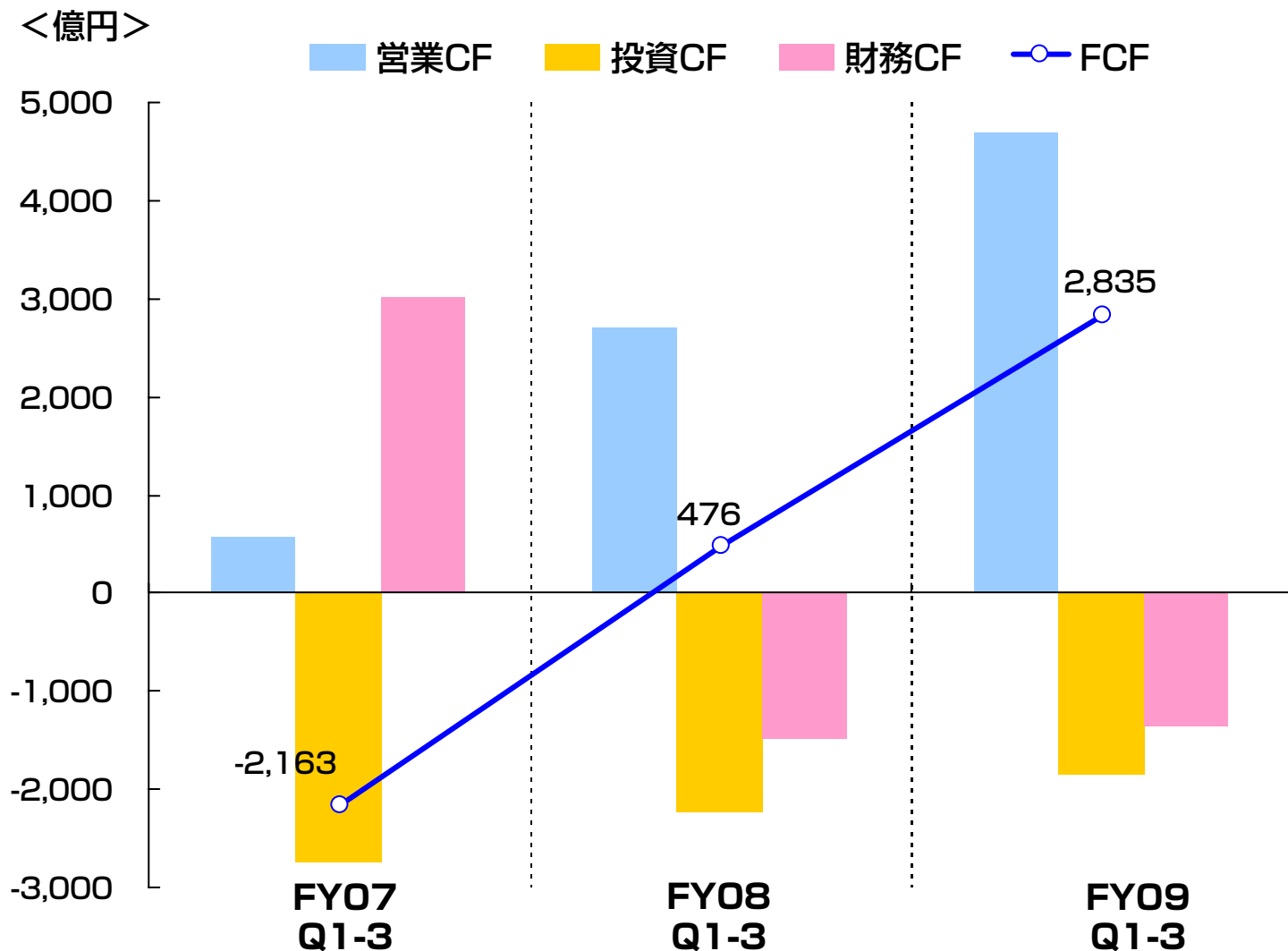
# フリーキャッシュフロー実績/予想



※フリーキャッシュフロー(FCF、純現金収支) = 営業キャッシュフロー + 投資キャッシュフロー



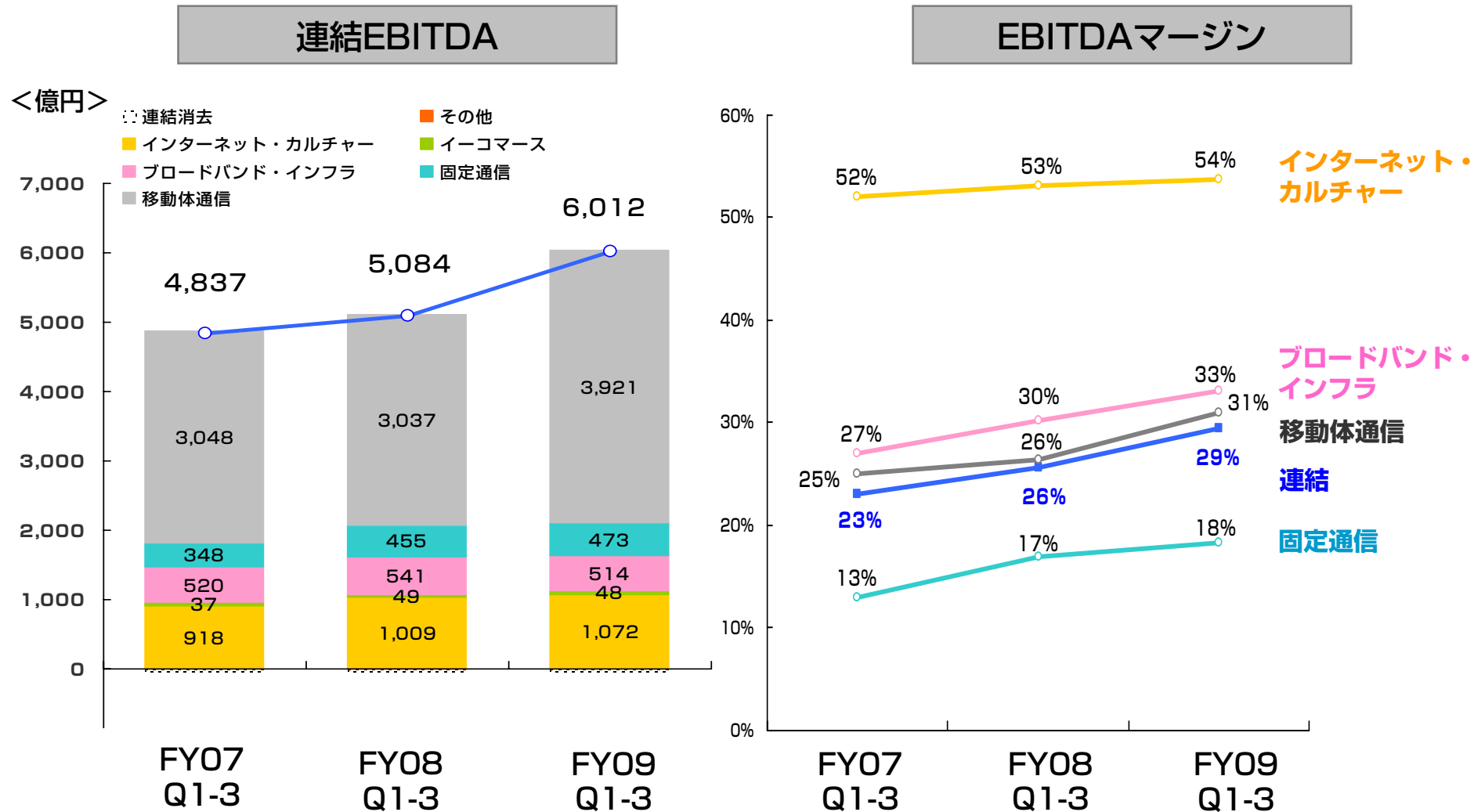
# キャッシュフローの推移



※フリーキャッシュフロー(FCF、純現金収支) = 営業キャッシュフロー + 投資キャッシュフロー

# EBITDA・EBITDAマージン（セグメント別）

## ■各セグメントともにEBITDAは着実に増加

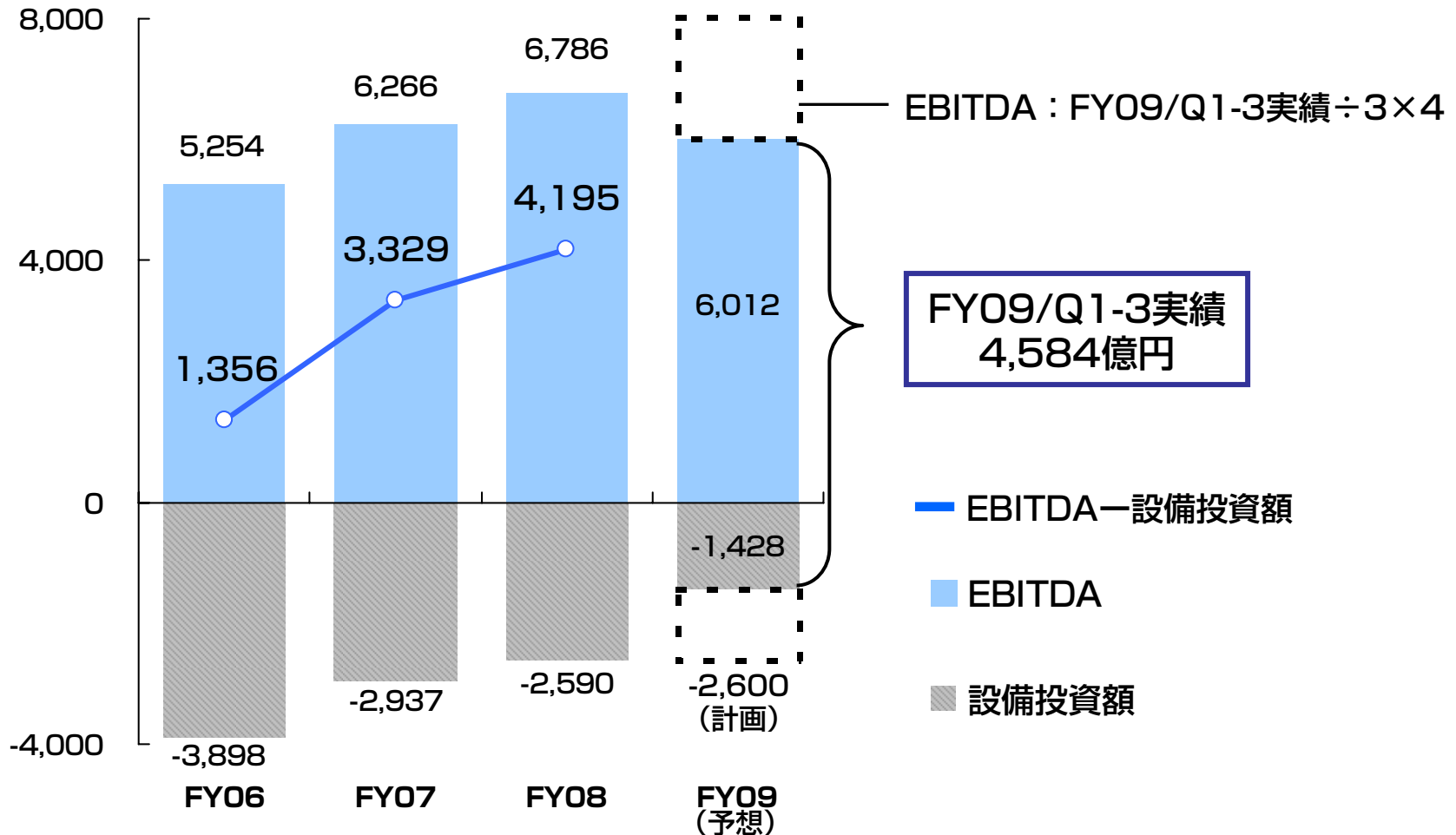


※ EBITDA = 営業損益 + 減価償却費 + のれん償却額 + 営業費用に含まれる固定資産除却損

# EBITDA－設備投資額

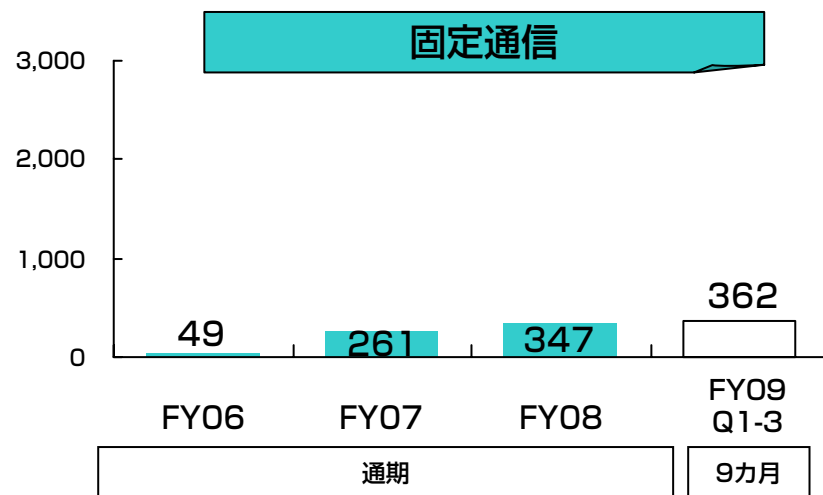
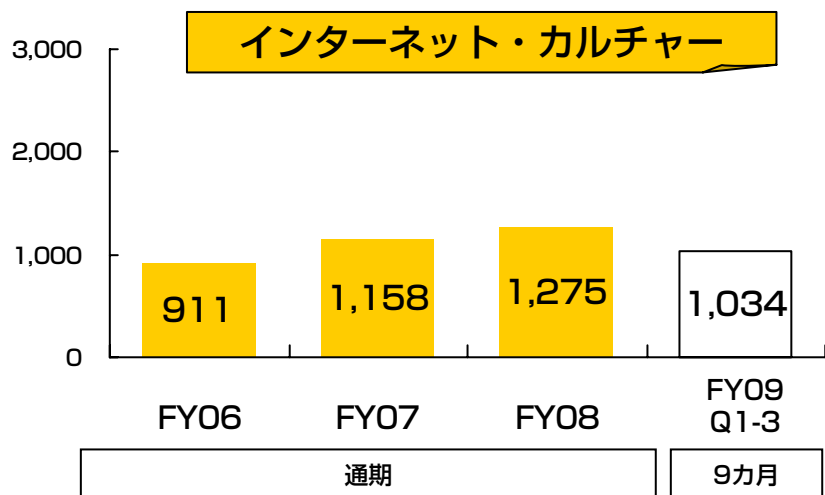
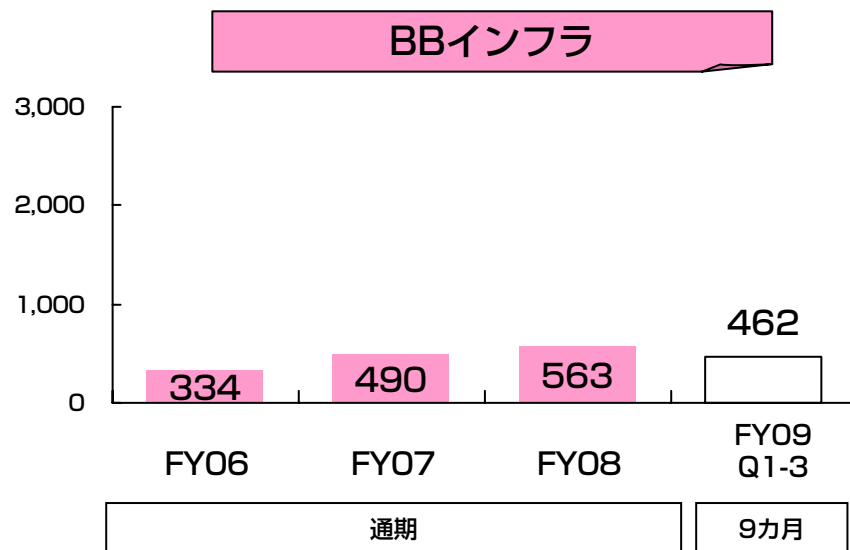
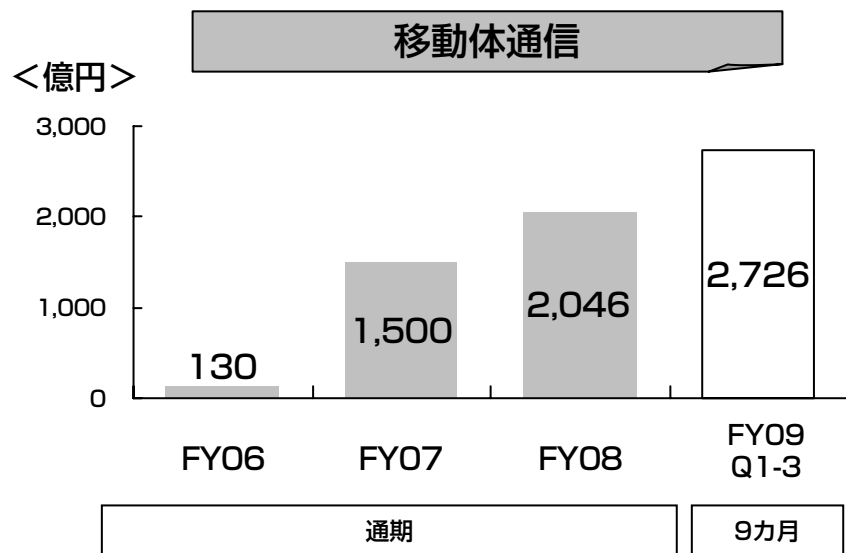
## EBITDAの拡大により着実に増加

<億円>



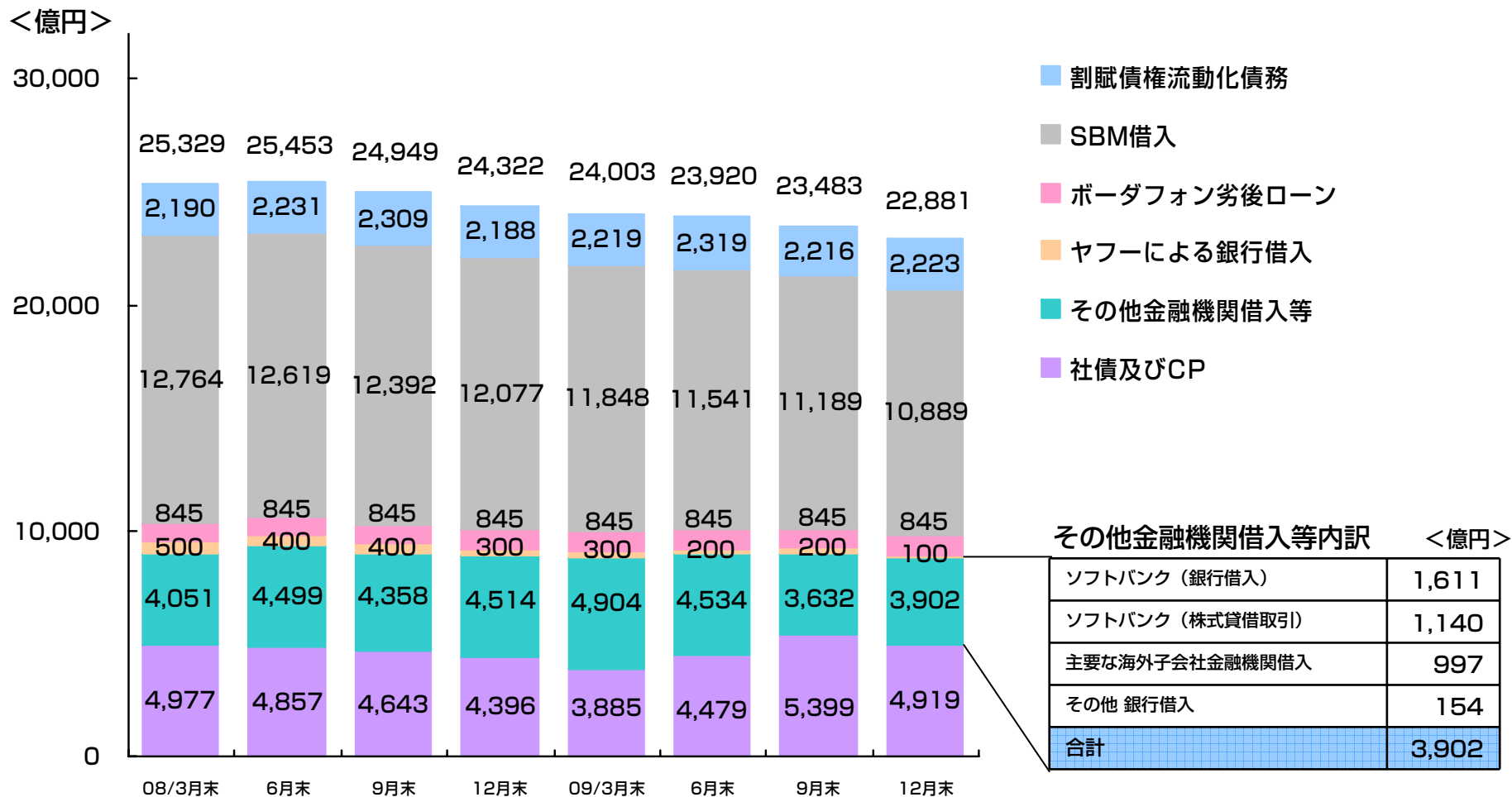
※ 1. EBITDA＝営業損益＋減価償却費＋のれん償却額＋営業費用に含まれる固定資産除却損  
2. 設備投資額は検収ベース

# EBITDA－設備投資額（主要セグメント別）



- ※ 1. EBITDA＝営業損益＋減価償却費＋のれん償却額＋営業費用に含まれる固定資産除却損
- 2. 設備投資額は検収ベース
- 3. BBインフラ：ブロードバンド・インフラ

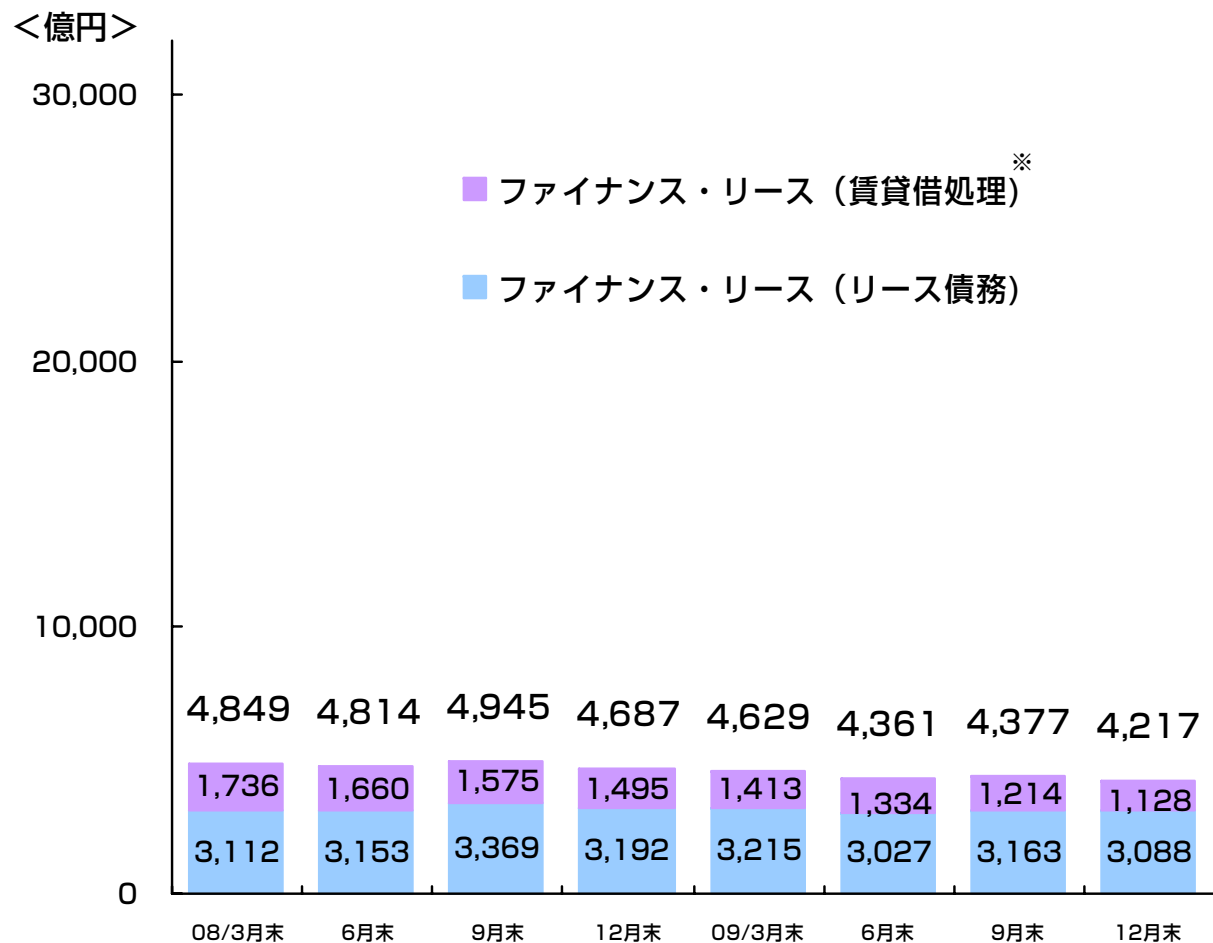
# 有利子負債（調達手段別）



※ 1. リース債務を含まず。リース債務は次ページ参照

2. SBM借入：ボーダフォン日本法人の買収のために調達した資金を、2006年11月に事業証券化（Whole Business Securitization）の手法によりリファイナンスしたもの。

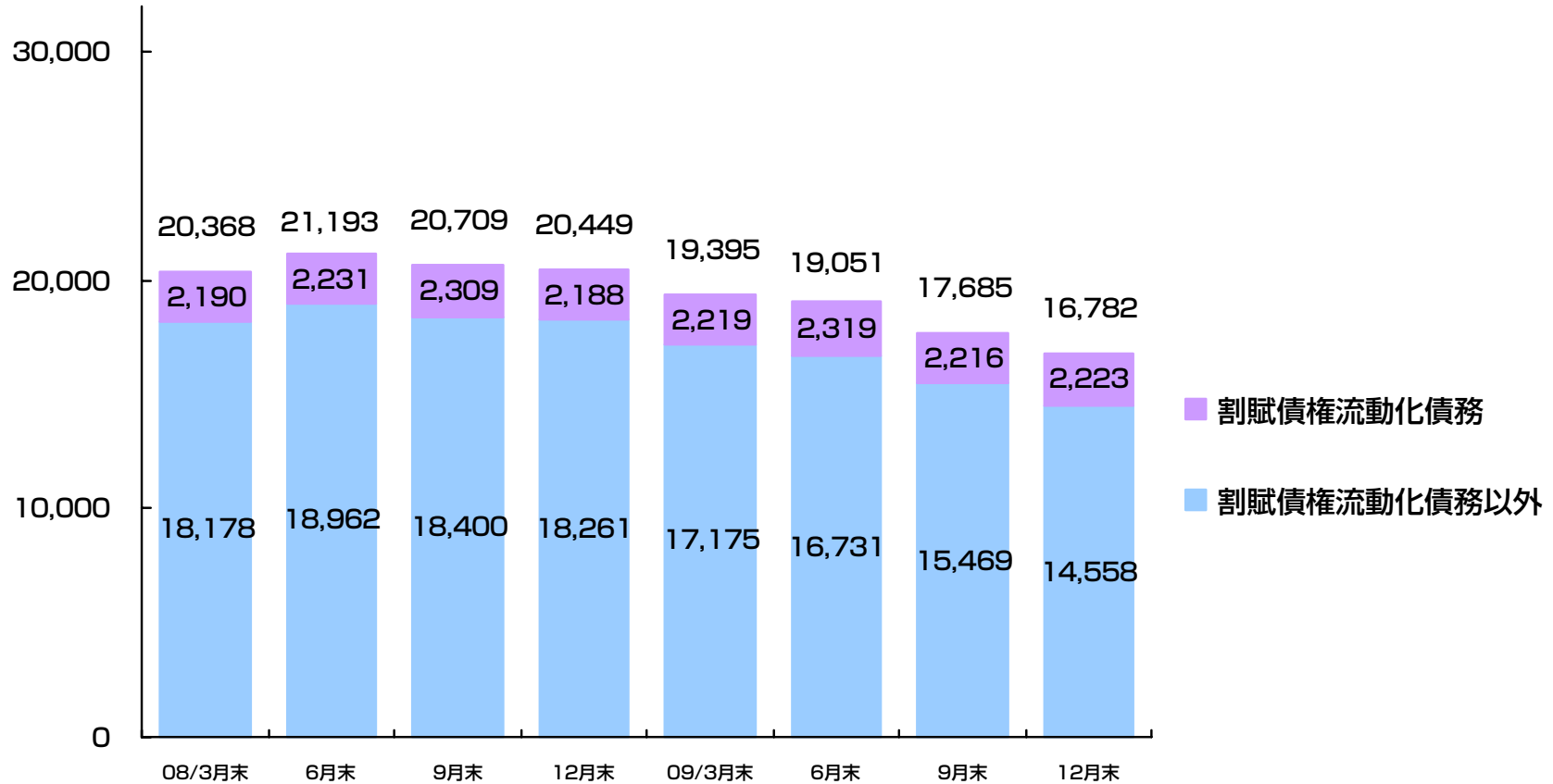
# リース債務



※リース取引契約日が2008年4月1日より前の所有権移転外ファイナンス・リース取引

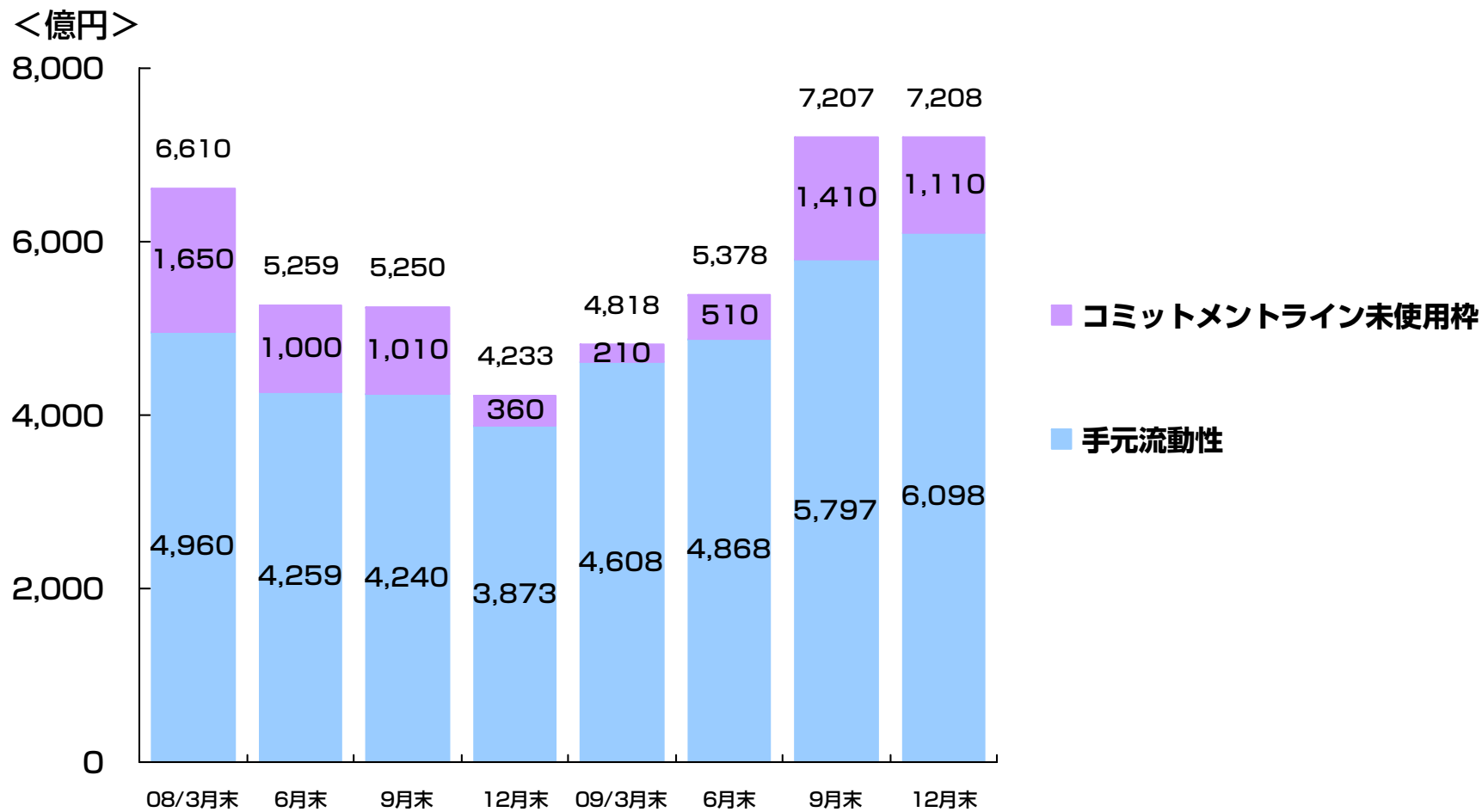
# 純有利子負債

<億円>



※ 純有利子負債 = 有利子負債(リース債務を含まず) - 手元流動性  
 手元流動性 = 現金及び預金 + 流動資産に含まれる有価証券

# 手元流動性



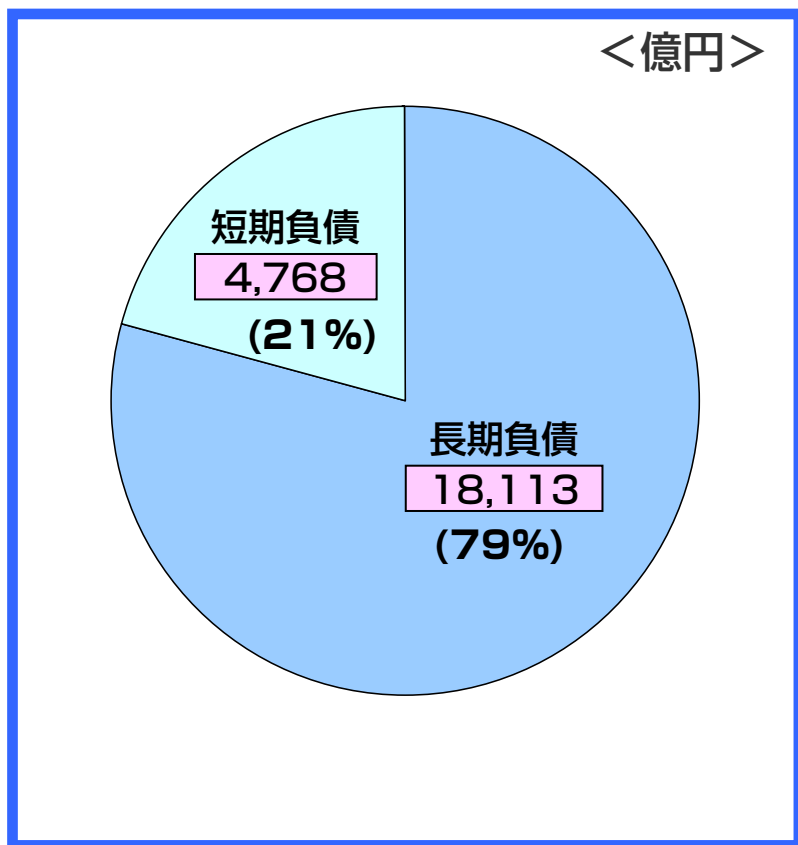
※ 1. 手元流動性=現金及び預金 + 流動資産に含まれる有価証券

2. コミットメントライン未使用枠=コミットメントライン枠総額-コミットメントライン借入額

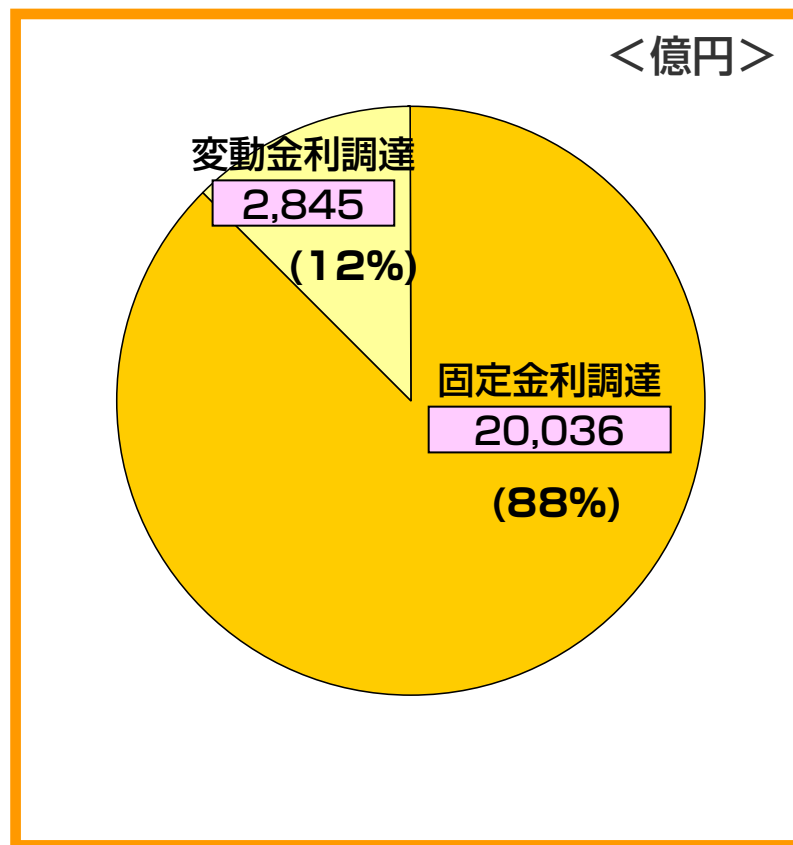


# 有利子負債の長短・固変比率 (09年12月末)

有利子負債  
長短比率



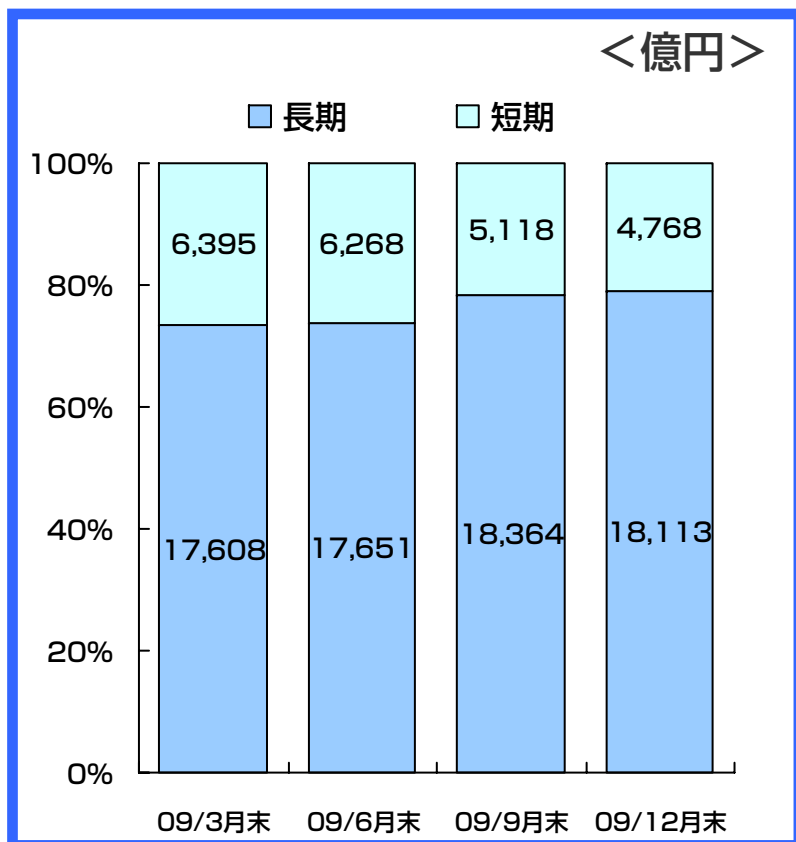
有利子負債  
固定変動比率



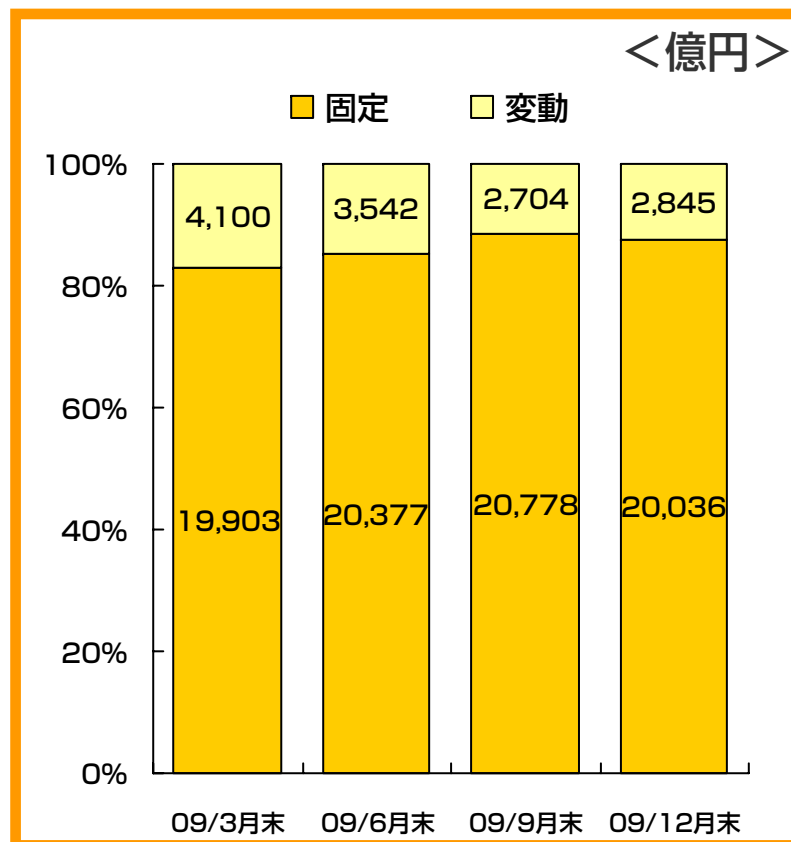
※有利子負債はリース債務を含まず

# 有利子負債の長短・固定変動比率推移

有利子負債  
長短比率

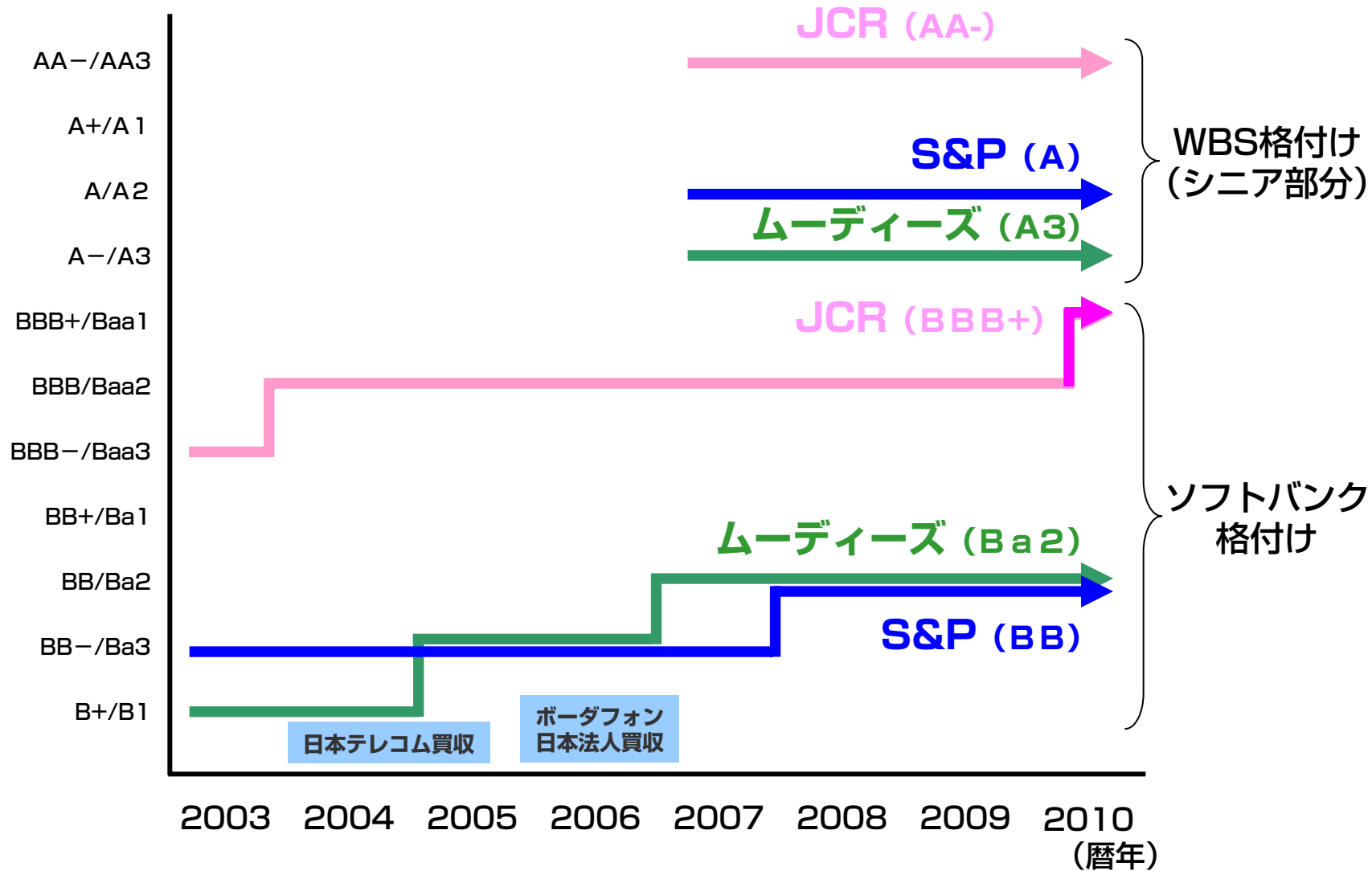


有利子負債  
固定変動比率



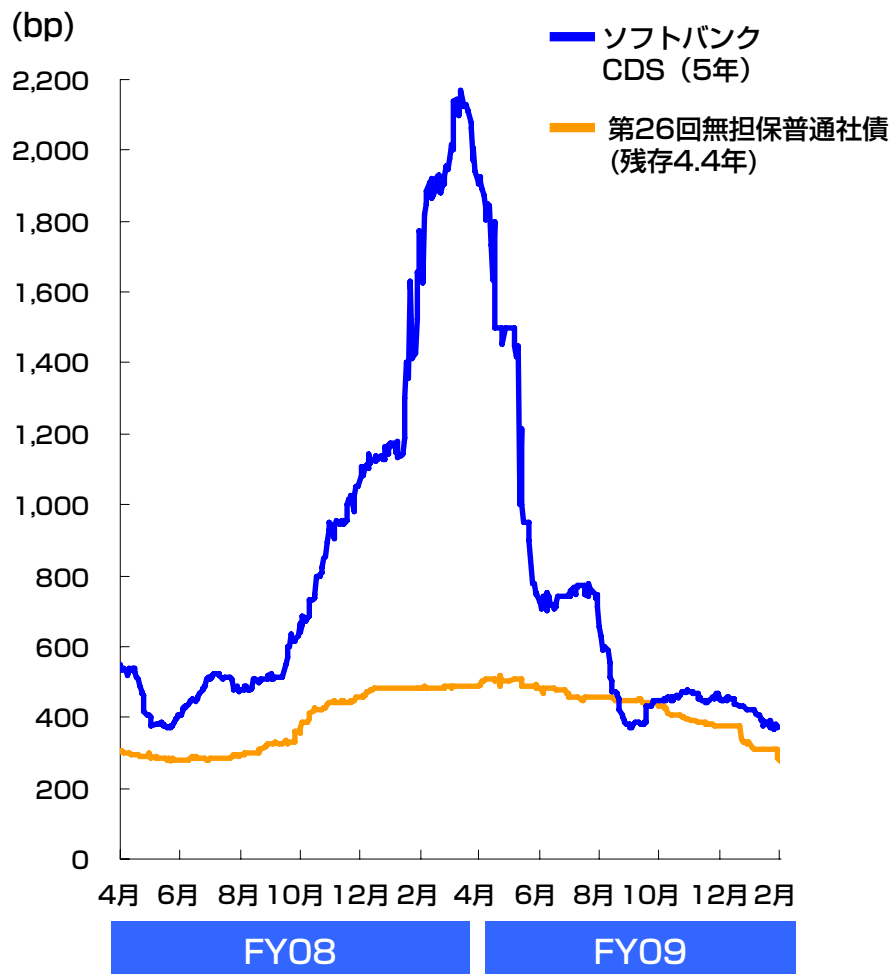
※有利子負債はリース債務を含まず

# 格付けの推移

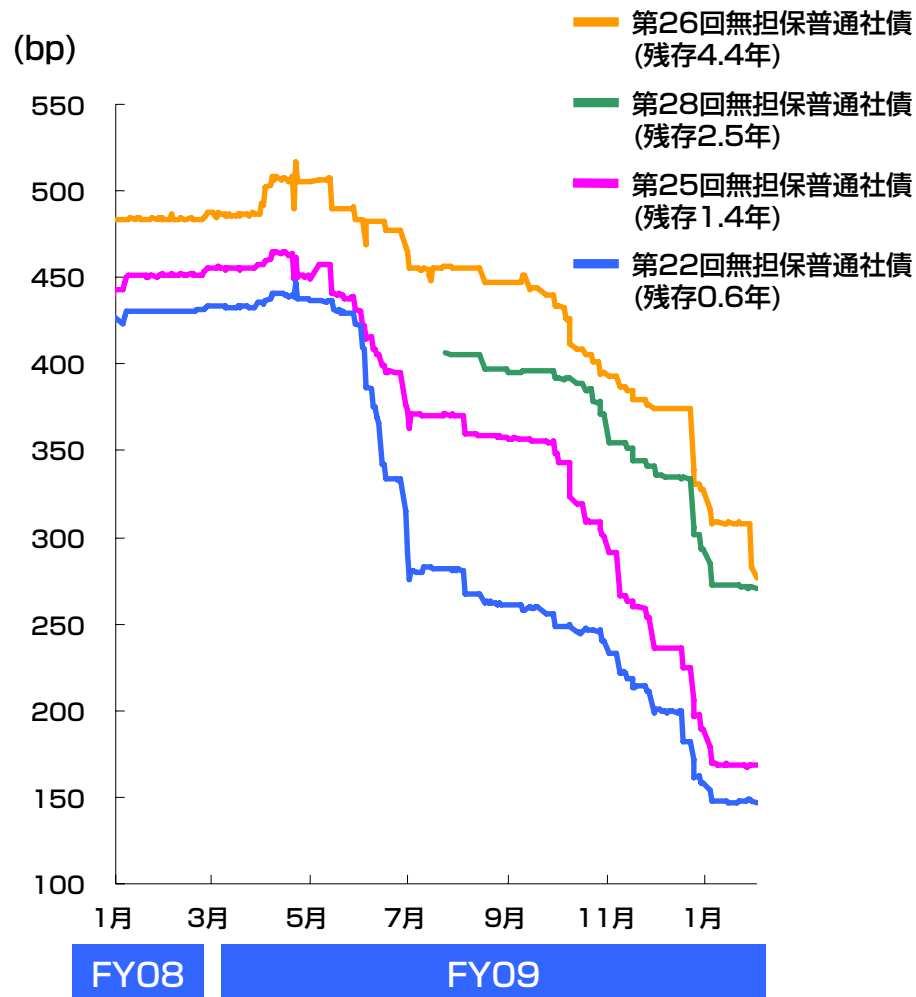


# CDSおよび社債スプレッド

## CDS

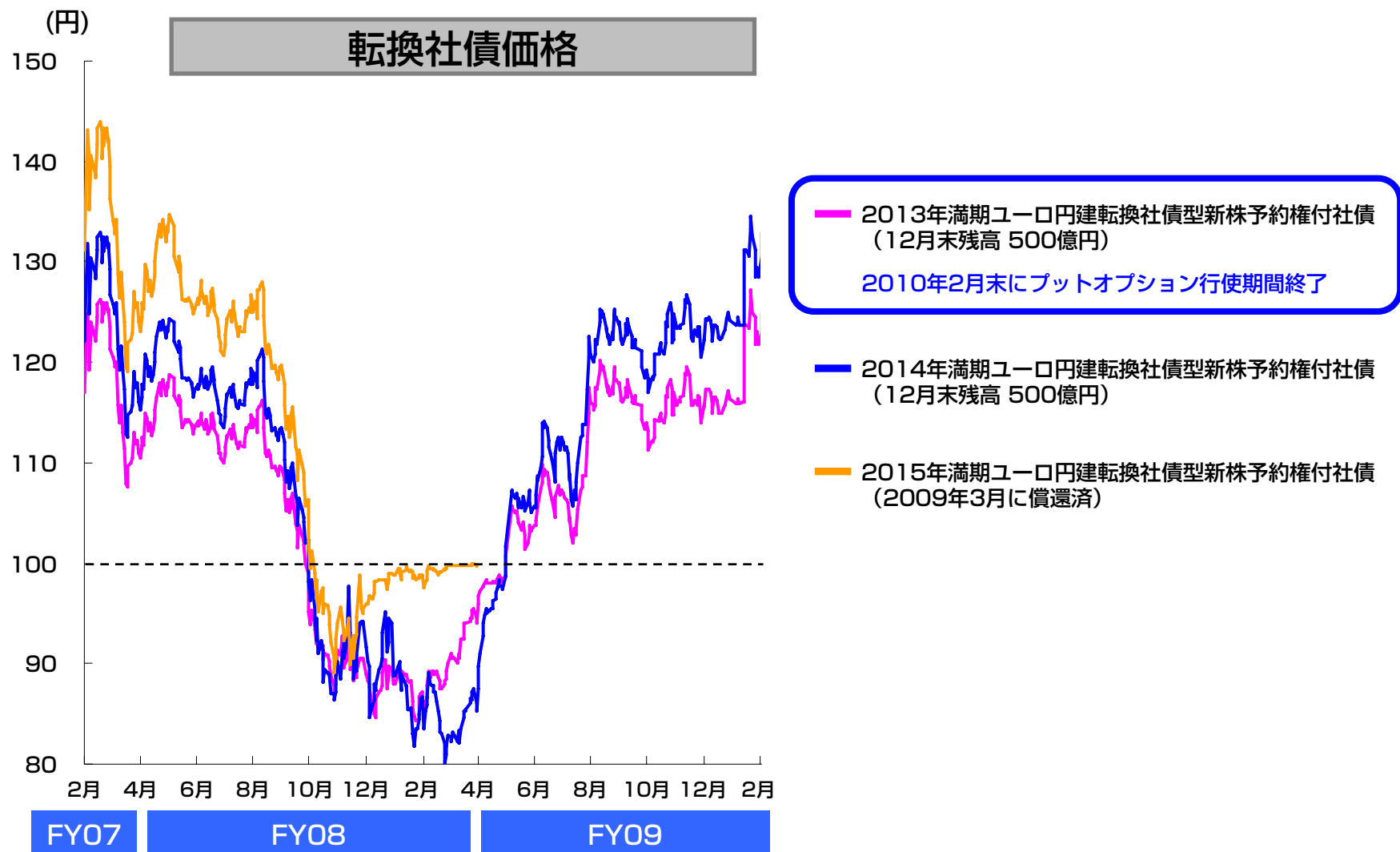


## 社債スプレッド



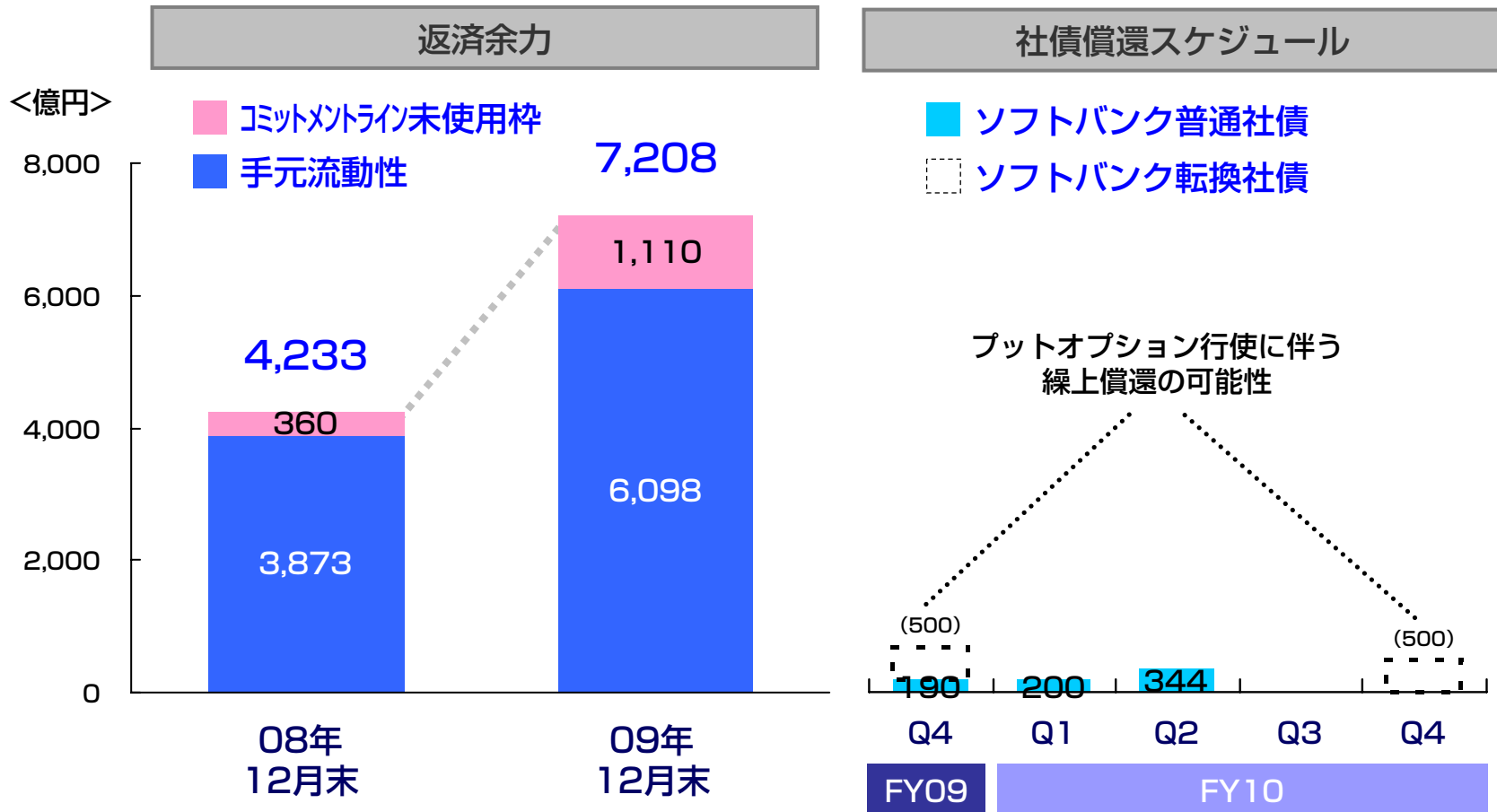
出所: ・ CDSはBloomberg  
 ・ 社債スプレッドは日本証券業協会の売買参考統計値を基に当社算出  
 ※ CDS (Credit Default Swap)

# 轉換社債 価格推移



※ 債券保有者の請求により、2013年満期轉換社債は2010年3月に、2014年満期轉換社債は2011年3月に、それぞれ繰上償還の可能性がある。  
出所：Bloomberg

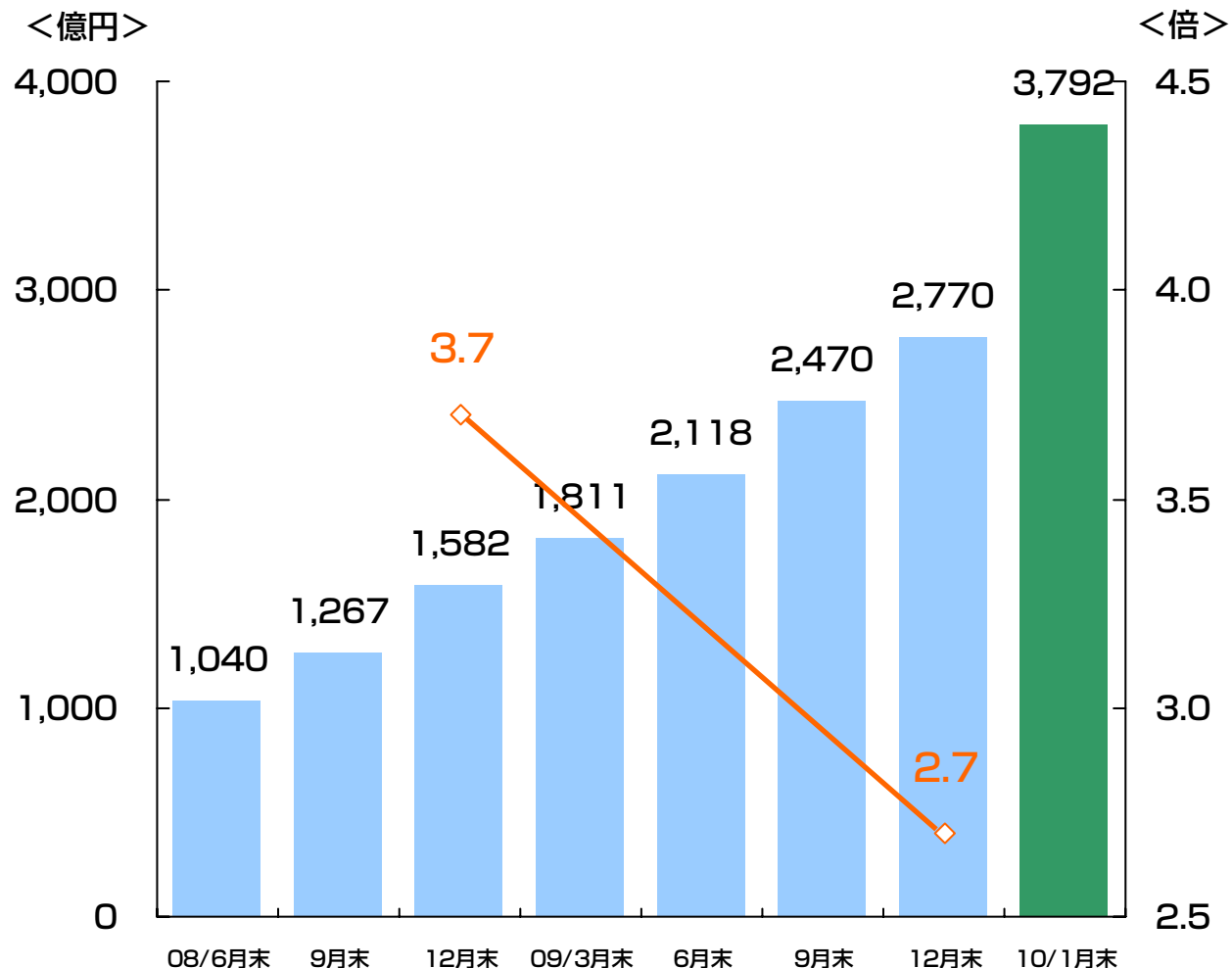
## ■十分な返済余力を保有



※ 1. ソフトバンク転換社債：債券保有者の請求により、2013年満期転換社債は2010年3月に、2014年満期転換社債は2011年3月に、それぞれ繰上償還の可能性がある。上表ではそれらが行使された場合を想定して表示。  
 2. コミットメントライン未使用枠=コミットメントライン枠総額-コミットメントライン借入額  
 3. 09年度Q4のソフトバンク普通社債190億円については2010年1月29日に償還済。

# SBM借入累積償還額

## ■計画を上回るペースで返済中



移動体通信事業  
レバレッジレシオ  
**2.7倍**  
(09/12月末)

純有利子負債ベース  
**2.1倍**

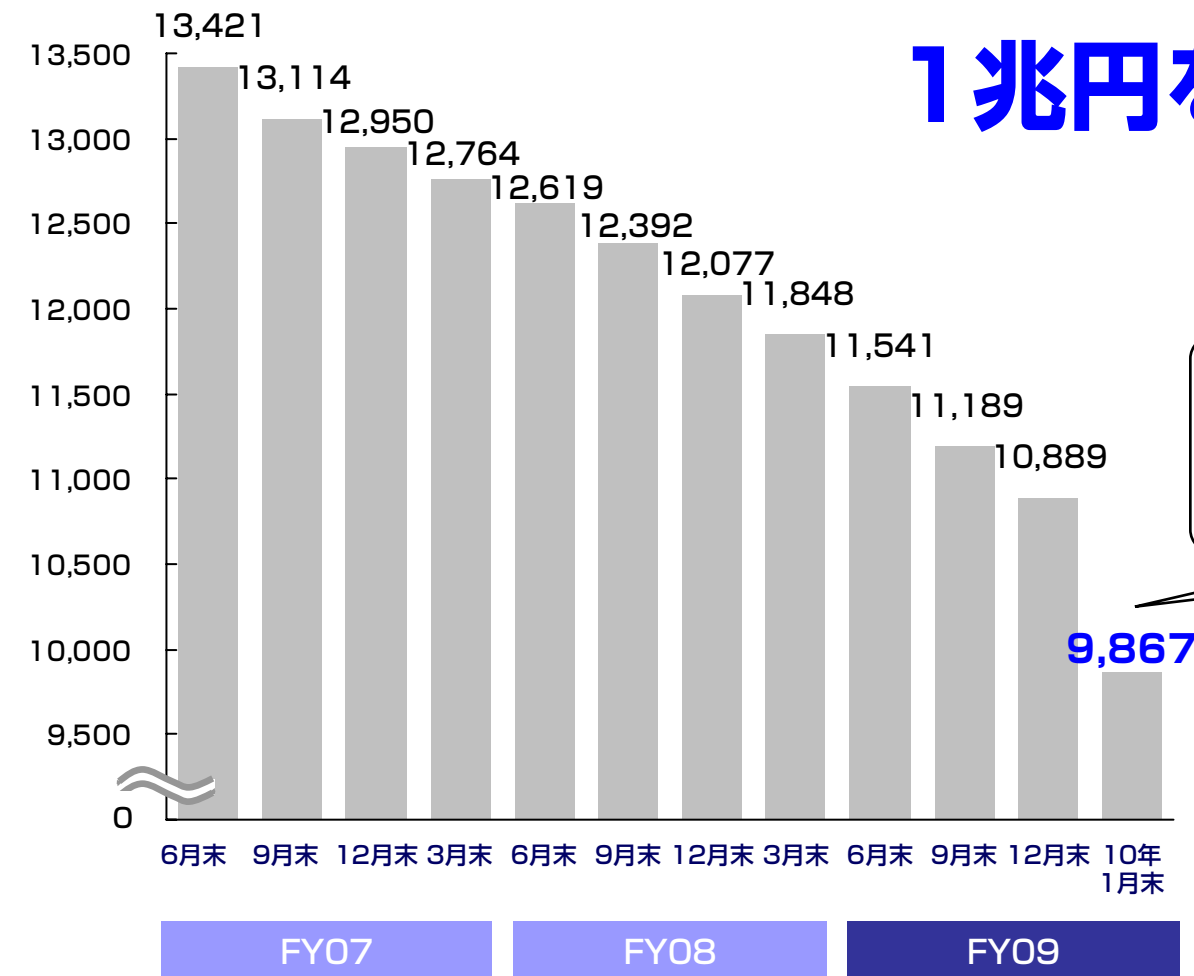
※ 1. レバレッジレシオ = 有利子負債 (リース債務を含まず) ÷ EBITDA (Q1-3実績 ÷ 3 × 4) (移動体通信事業)

※ 2. 純有利子負債 = 有利子負債 (リース債務を含まず) - 手元流動性  
手元流動性 = 現金及び預金 + 流動資産に含まれる有価証券

※ 3. SBM借入: ボーダフォン日本法人の買収のために調達した資金を、平成18年11月に事業証券化 (Whole Business Securitization) の手法によりリファイナンスしたもの。

# SBM借入残高

<億円>



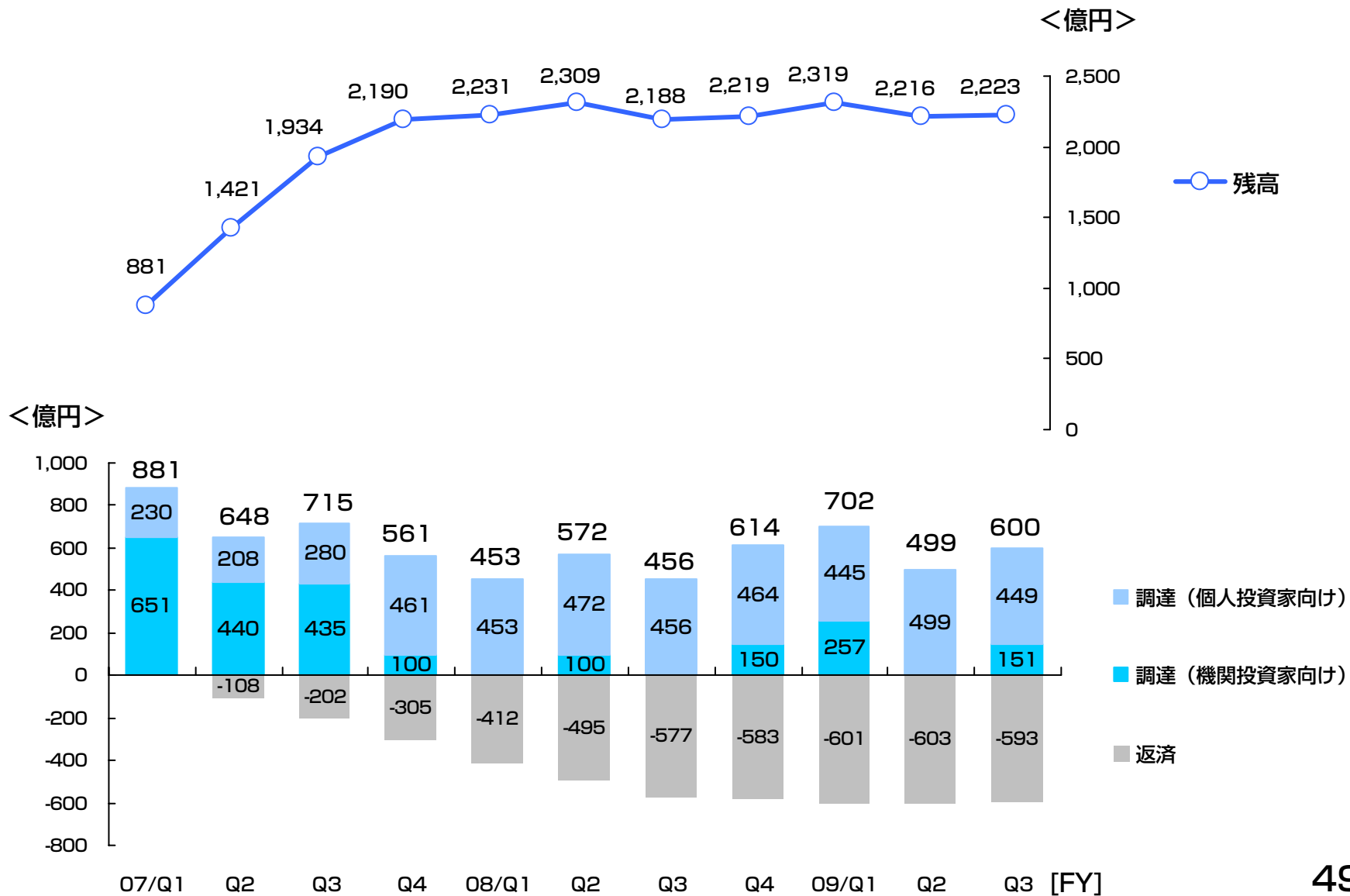
1兆円を切る水準へ

2010年1月に  
1,022億円返済

※ SBMが借入主体のWBS借入残高



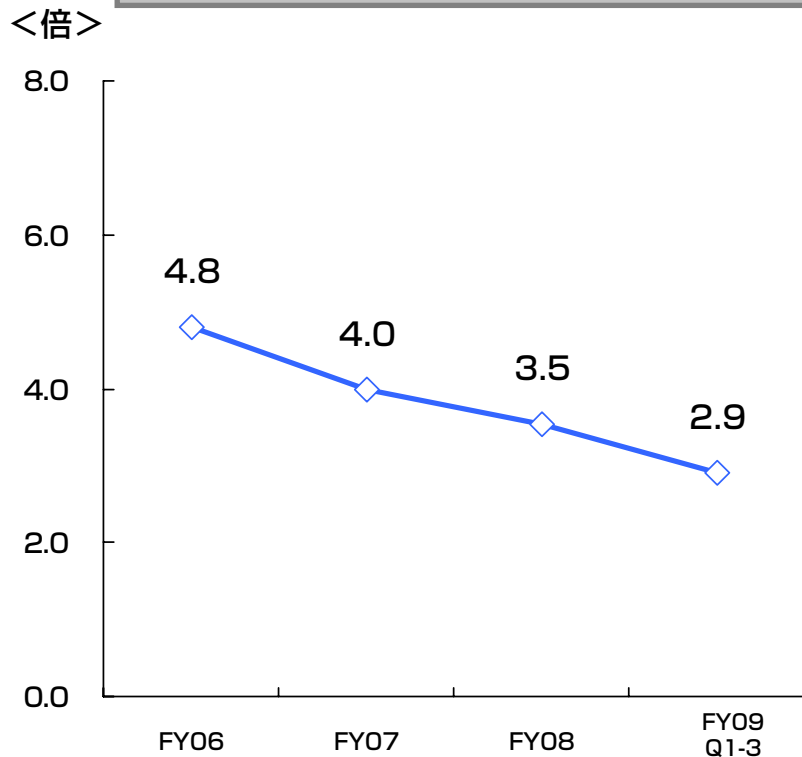
# 移動体通信事業の割賦債権流動化（借入金）



# 指標改善① 有利子負債／EBITDA倍率

## EBITDAが拡大し有利子負債削減へ

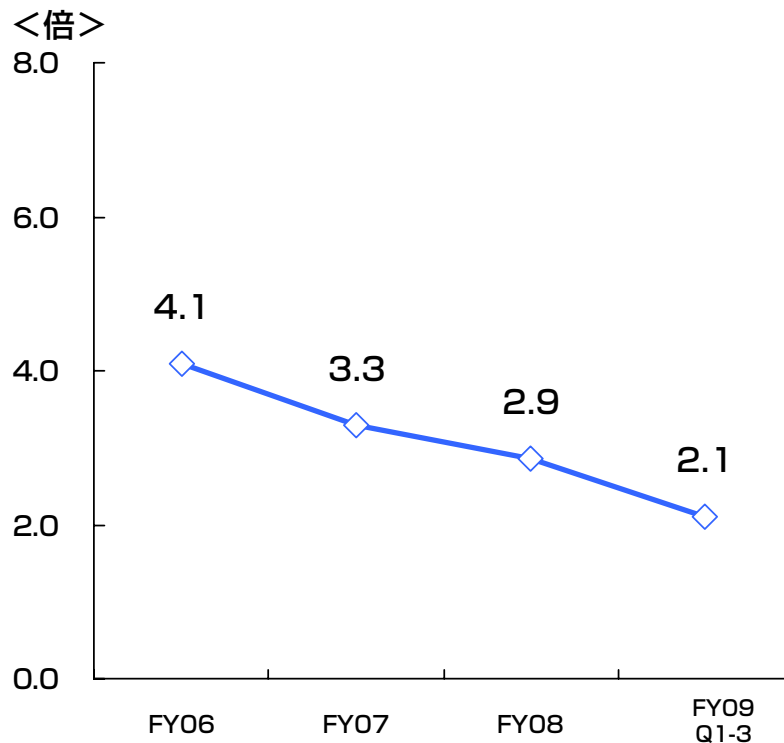
有利子負債／EBITDA倍率



通期

9ヵ月

(ご参考) 純有利子負債／EBITDA倍率



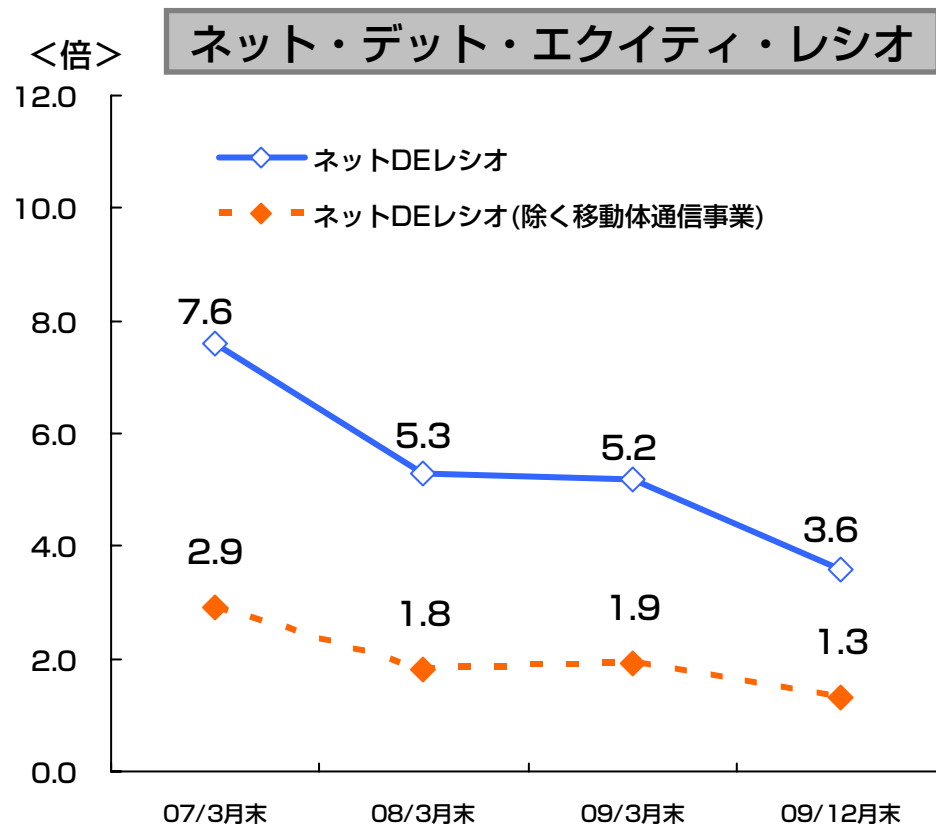
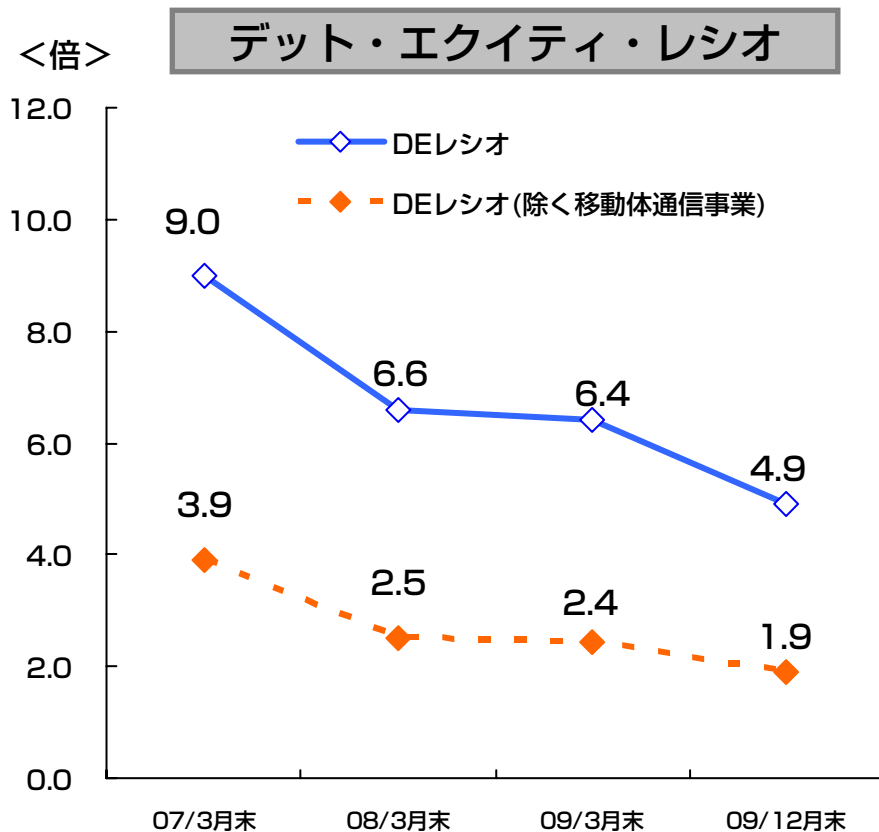
通期

9ヵ月

- ※ 1. FY06の有利子負債・純有利子負債は株券寄託取引に係る預り担保金残高を加算して遡及修正
- 2. 有利子負債はリース債務を含まず
- 3. EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却費+営業費用に含まれる固定資産除却損
- 4. FY09のEBITDAは年換算 (Q1-3実績÷3×4)
- 5. 純有利子負債=有利子負債(リース債務を含まず)-手元流動性  
手元流動性=現金及び預金+流動資産に含まれる有価証券

# 指標改善② デット・エクイティ・レシオ

## ■着実に改善



※1. デット・エクイティ・レシオ=有利子負債÷自己資本

2. 07/3月末の有利子負債・純有利子負債は株券寄託取引に係る預り担保金残高を加算して遡及修正

3. 有利子負債はリース債務を含まず

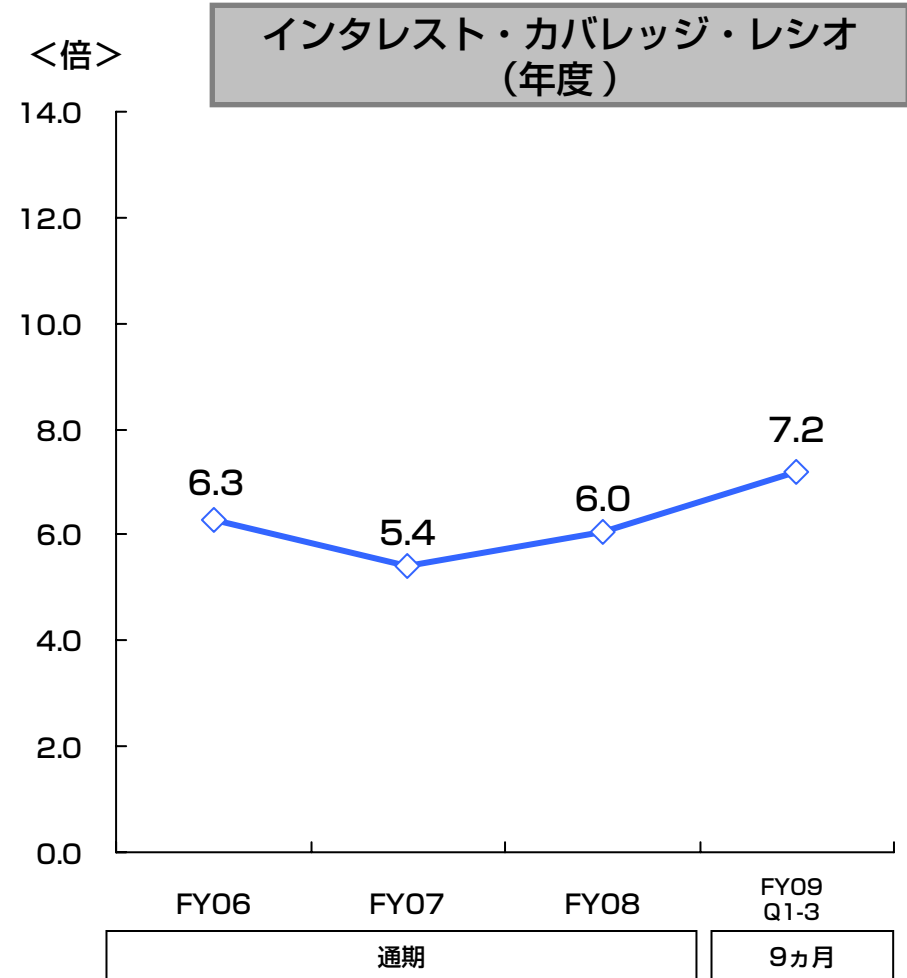
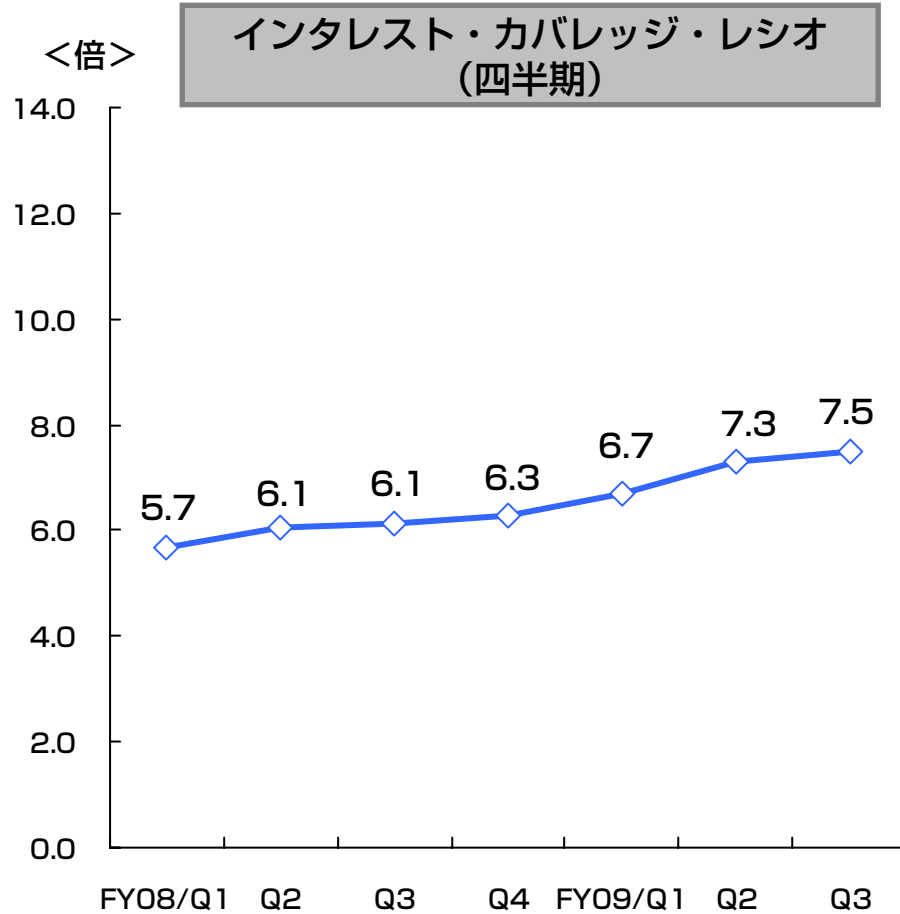
4. 除く移動体通信事業：連結有利子負債および純有利子負債残高から移動体通信事業の残高をそれぞれ控除

5. 純有利子負債=有利子負債(リース債務を含まず)-手元流動性

手元流動性=現金及び預金 + 流動資産に含まれる有価証券

# 指標改善③ インタレスト・カバレッジ・レシオ

## ■安定的な水準を維持

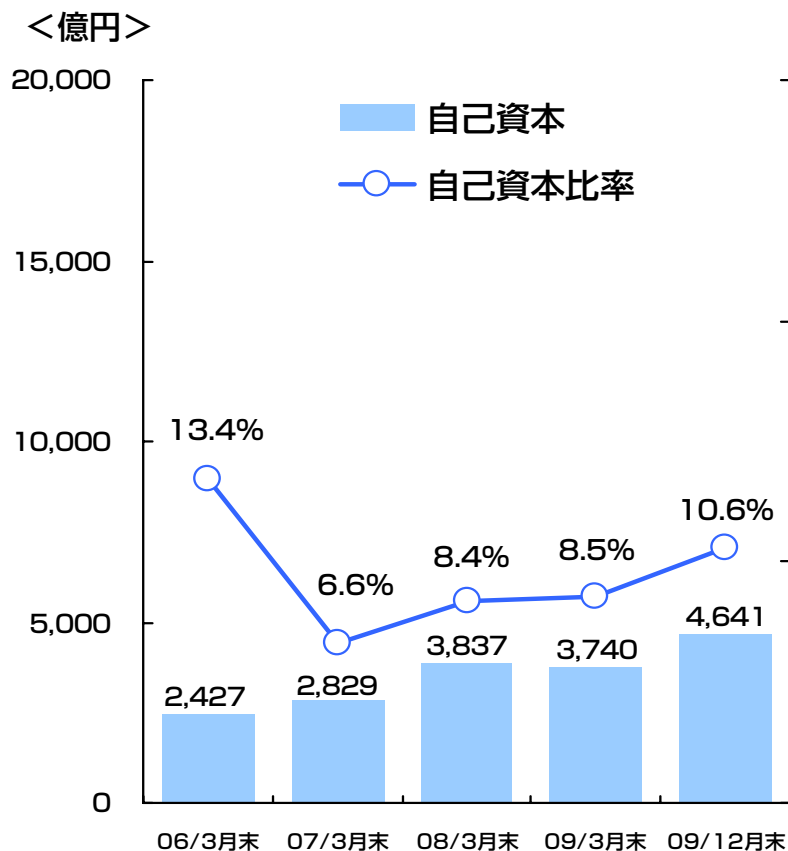


- ※ 1. インタレスト・カバレッジ・レシオ=EBITDA÷支払利息
- 2. EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却費+営業費用に含まれる固定資産除却損
- 3. FY09のEBITDAは年換算 (Q1-3実績÷3×4)
- 4. FY06の支払利息には株券等寄託取引手数料を遡及修正

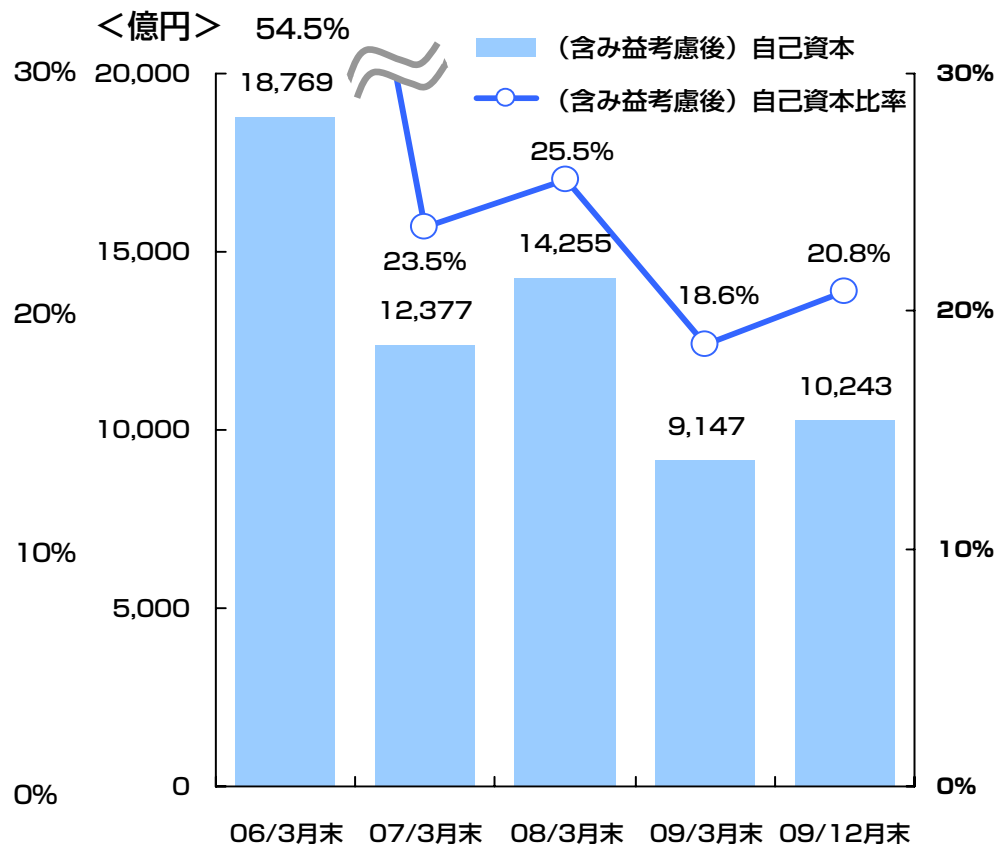
# 指標改善④ 自己資本比率

## ■自己資本比率は10%台に回復

自己資本比率



(ご参考) 自己資本比率<sup>※</sup>  
 <株式含み益考慮後>



※ 計算根拠については補足資料の8ページをご参照ください。

# 2009年度の財務戦略（変更なし）

## 「純有利子負債ゼロ」に向けて

- ◆営業CFの増大、投資CFの適正化によるフリーキャッシュフローの最大化
- ◆着実な負債削減による各種財務指標の継続的改善
- ◆財務体質強化の結果としての格付向上

## 市場環境に応じた保守的な財務運営

- ◆多様な調達手段の深耕および昨今の金融環境下における最適選択
- ◆長期安定資金の確保および長期負債比率の改善
- ◆潤沢な手元流動性の維持

## トップレベルのIR活動の実現

- ◆デット／エクイティ両マーケットのあらゆる投資家層へのアプローチ
- ◆業績予想の開示を伴った成長シナリオの明示
- ◆更なる開示内容の充実化

# 社債明細表

<百万円>

会社名	銘柄	発行年月日	償還期限	利率 (%、年)	担保	09年3月末	09年12月末	対前期末比
ソフトバンク	第19回無担保普通社債	2005年1月31日	2010年1月29日	1.97	なし	19,000	19,000	—
	第24回無担保普通社債 (第3回福岡ソフトバンクホークスホント)	2007年4月26日	2010年4月26日	2.72	なし	20,000	20,000	—
	第22回無担保普通社債	2005年9月14日	2010年9月14日	1.98	なし	36,400	34,400	▲ 2,000
	第27回無担保普通社債 (第4回福岡ソフトバンクホークスホント)	2009年6月11日	2011年6月10日	5.10	なし	—	60,000	60,000
	第25回無担保普通社債	2007年6月19日	2011年6月17日	3.39	なし	53,900	53,500	▲ 400
	第28回無担保普通社債	2009年7月24日	2012年7月24日	4.72	なし	—	30,000	30,000
	第29回無担保普通社債 (第5回福岡ソフトバンクホークスホント)	2009年9月18日	2012年9月18日	4.52	なし	—	65,000	65,000
	2013年満期ユーロ円建 転換社債型新株予約権付社債 <sup>(※1)</sup>	2003年12月30日	2013年3月31日	1.50	なし	50,000	50,000	—
	2013年満期ユーロ建普通社債	2006年10月12日	2013年10月15日	7.75	なし	51,766 (388Mユーロ)	47,614 (355Mユーロ)	▲ 4,151
	2014年満期ユーロ円建 転換社債型新株予約権付社債 <sup>(※1)</sup>	2003年12月30日	2014年3月31日	1.75	なし	50,000	50,000	—
	第26回無担保普通社債	2007年6月19日	2014年6月19日	4.36	なし	15,000	14,900	▲ 100
ソフトバンクテレコム	第1回無担保普通社債	2004年12月7日	2009年12月7日	2.00	なし	45,000	—	▲ 45,000
	第2回無担保普通社債	2004年12月7日	2011年12月7日	2.88	なし	15,000	15,000	—
Phoenix JT	Subordinated Notes Due 2016	2004年12月24日	2016年12月15日	5.95	なし	32,400	32,400	—
その他の社債	—	—	—	—	—	100	100	—
合計	—	—	—	—	—	388,566	491,914	103,348

※ 1. 2013年満期転換社債、2014年満期転換社債は、債券保有者の請求により、それぞれ2010年3月、2011年3月に繰上償還の可能性がある  
また、一定の条件を満たした場合、当社の請求による繰上償還の可能性がある

2. 実質的ディファイザンスを実施したソフトバンクモバイルの普通社債は含まず。当該社債の償還資金についてはみずほコーポレート銀行により信用補完

3. ソフトバンクの第19回無担保普通社債19,000百万円については2010年1月29日に償還済。





# 事業編

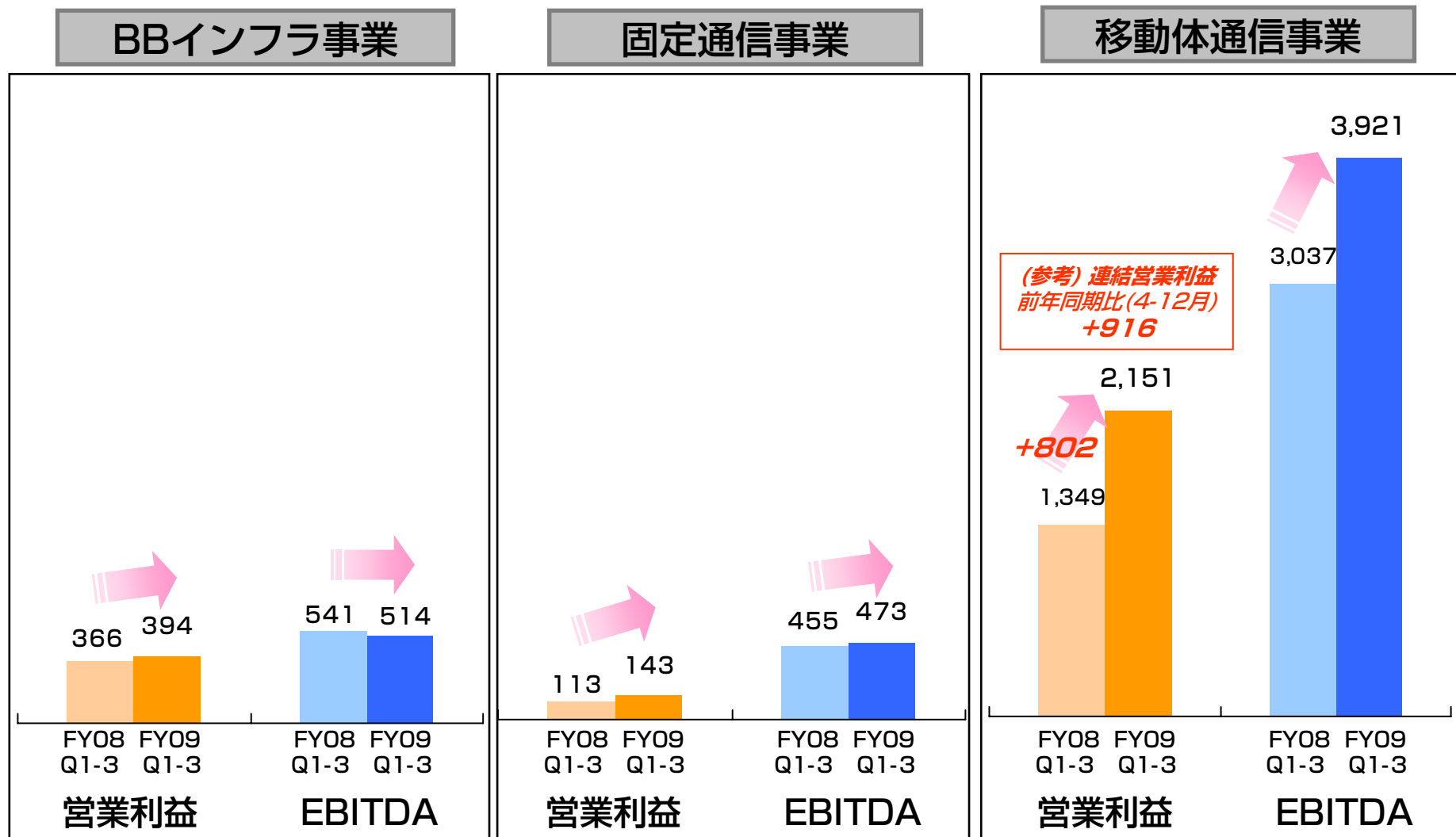
---

ソフトバンクモバイル株式会社 取締役 常務執行役員 財務統括 兼 CFO  
ソフトバンクBB株式会社 取締役 常務執行役員 財務統括 兼 CFO  
ソフトバンクテレコム株式会社 取締役 常務執行役員 財務統括

ふじはら  
**藤原 和彦**

# 通信関連事業の業績概要

■いずれも順調に推移。移動体通信事業が大幅増益で連結最高益を牽引 <億円>



※ 1. EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却額+営業費用に含まれる固定資産除却損

2. BBインフラ事業：ブロードバンド・インフラ事業

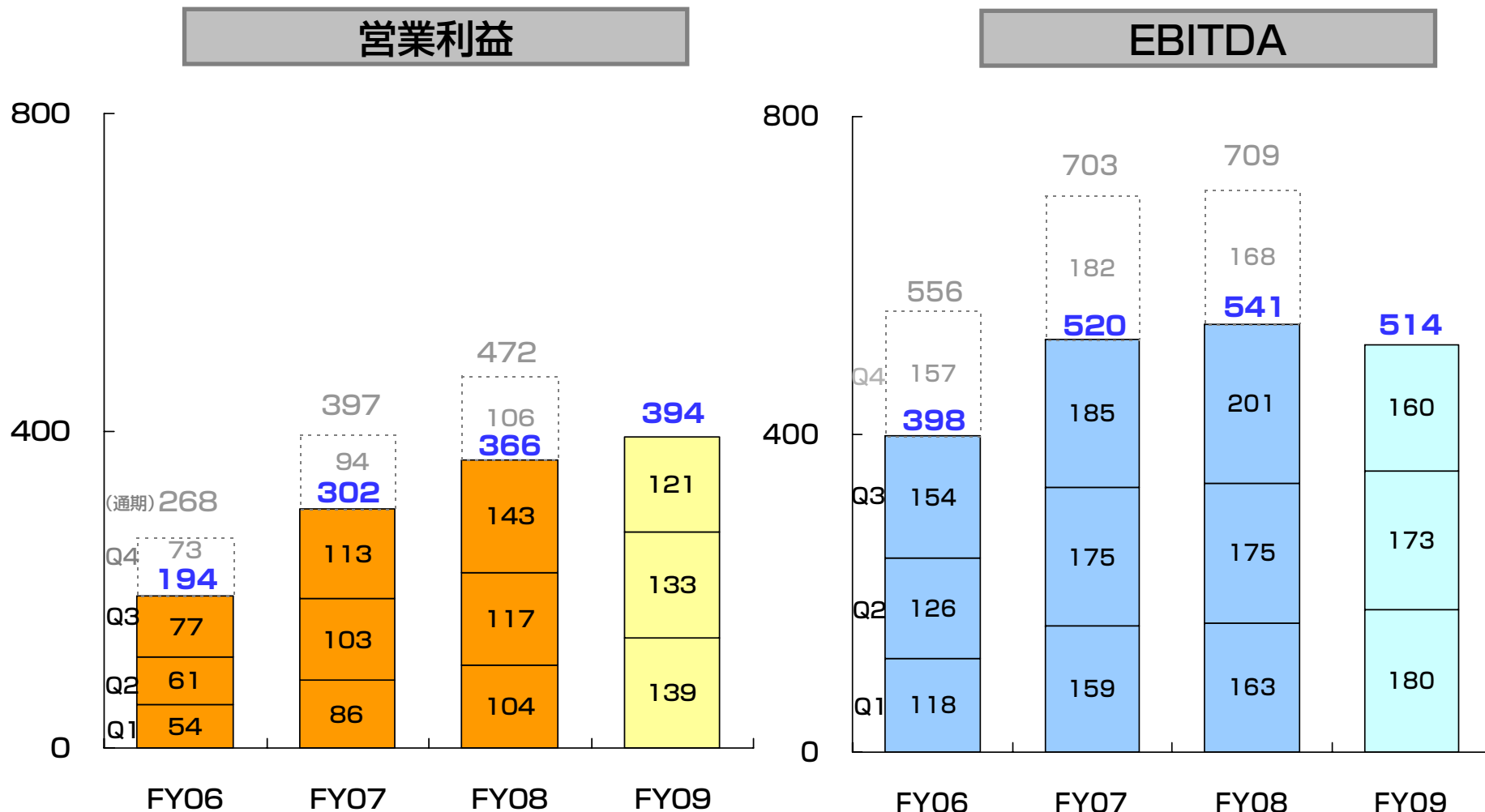
## ブロードバンド・インフラ事業

# 営業利益・EBITDA

<BB>

## ■コスト削減に取り組み増益トレンドを維持

<億円>



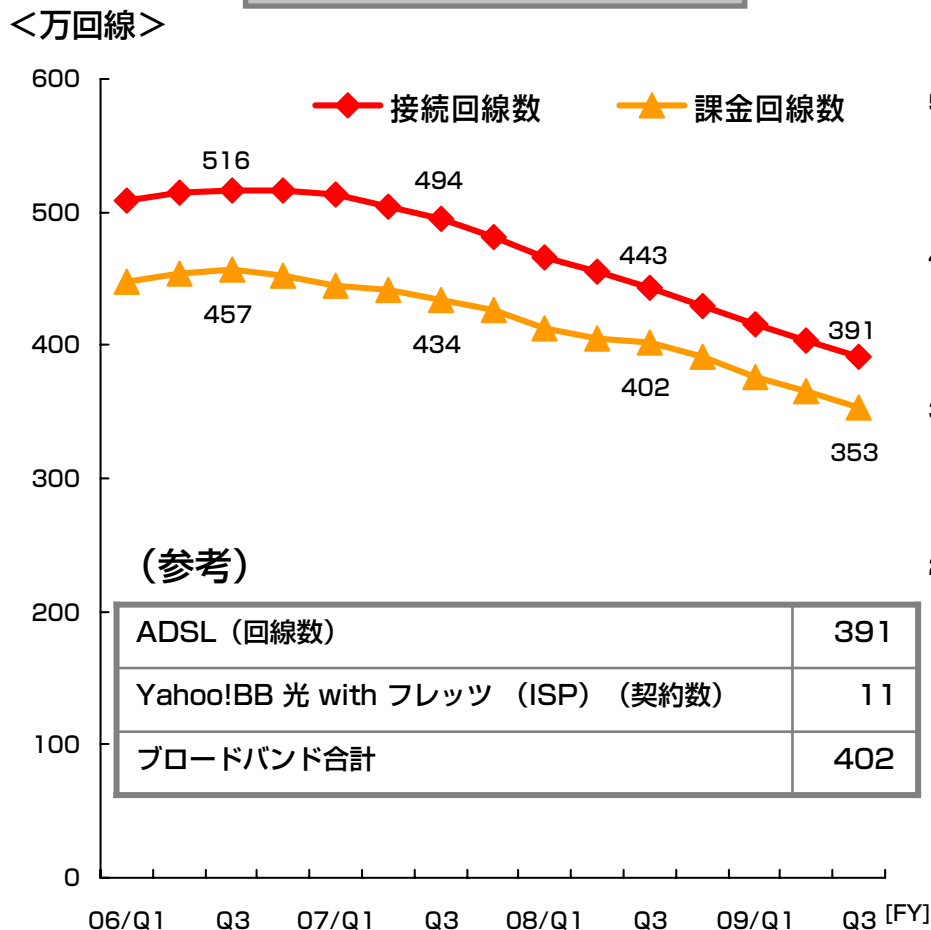
※EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却額+営業費用に含まれる固定資産除却損

# Yahoo! BB ADSL 回線数とARPU

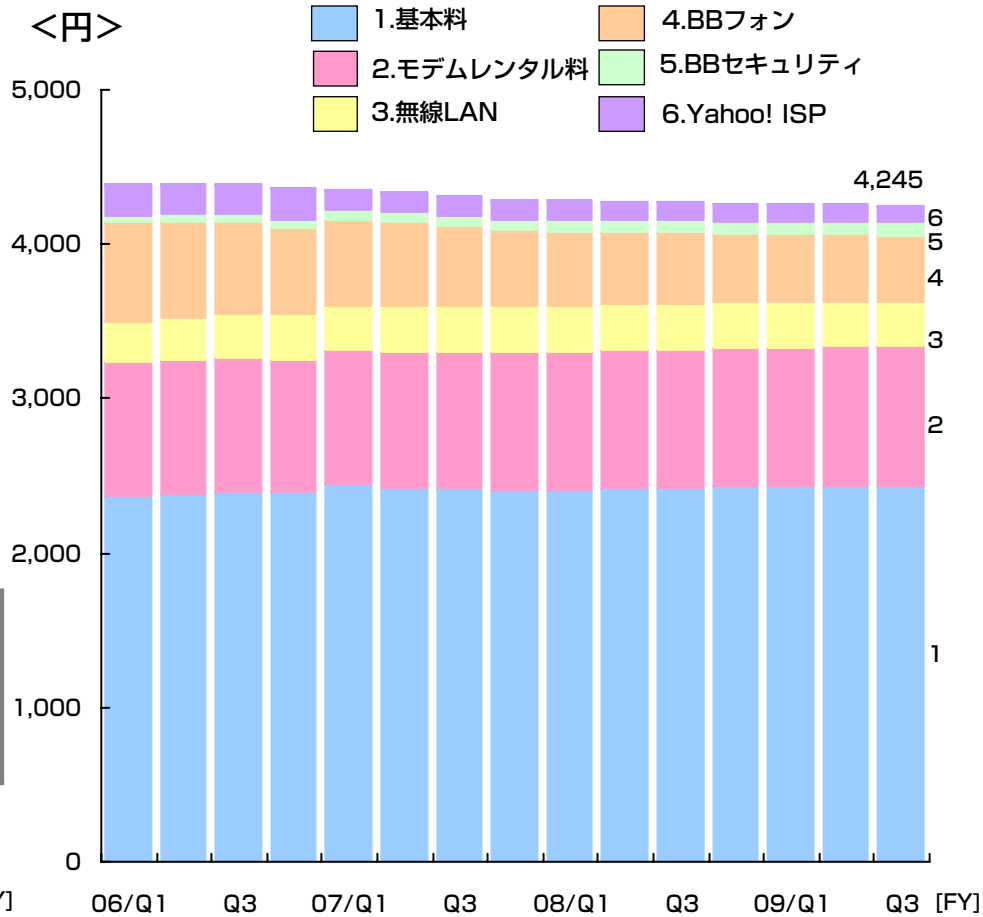
<BB>

■ADSL回線数は減少傾向、ARPUは横ばい

回線数



ARPU



※ 1. 接続回線数：NTT東日本およびNTT西日本の局舎において、ADSL回線の接続工事が完了している回線数。課金回線数：キャンペーン等の施策により、基本料金を無料にしている顧客の回線を除いた接続回線数。

2. ISP (Internet Service Provider)：インターネット接続事業者

3. インターネット接続サービス「Yahoo! BB」と、東日本電信電話株式会社(以下「NTT東日本」)と西日本電信電話株式会社(以下「NTT西日本」)の提供する光回線「フレッツ光」を組み合わせたブロードバンド接続サービス。「フレッツ」および「フレッツ光」はNTT東日本およびNTT西日本の商標です。

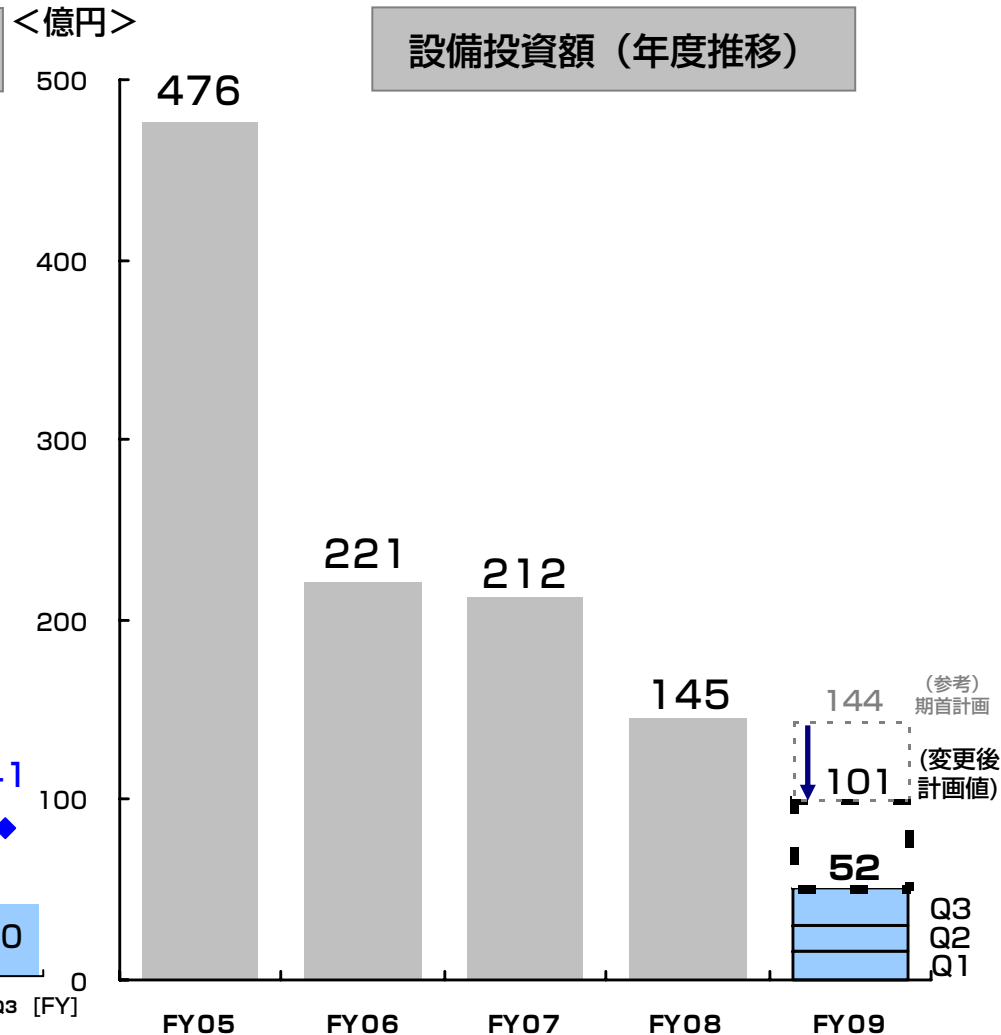
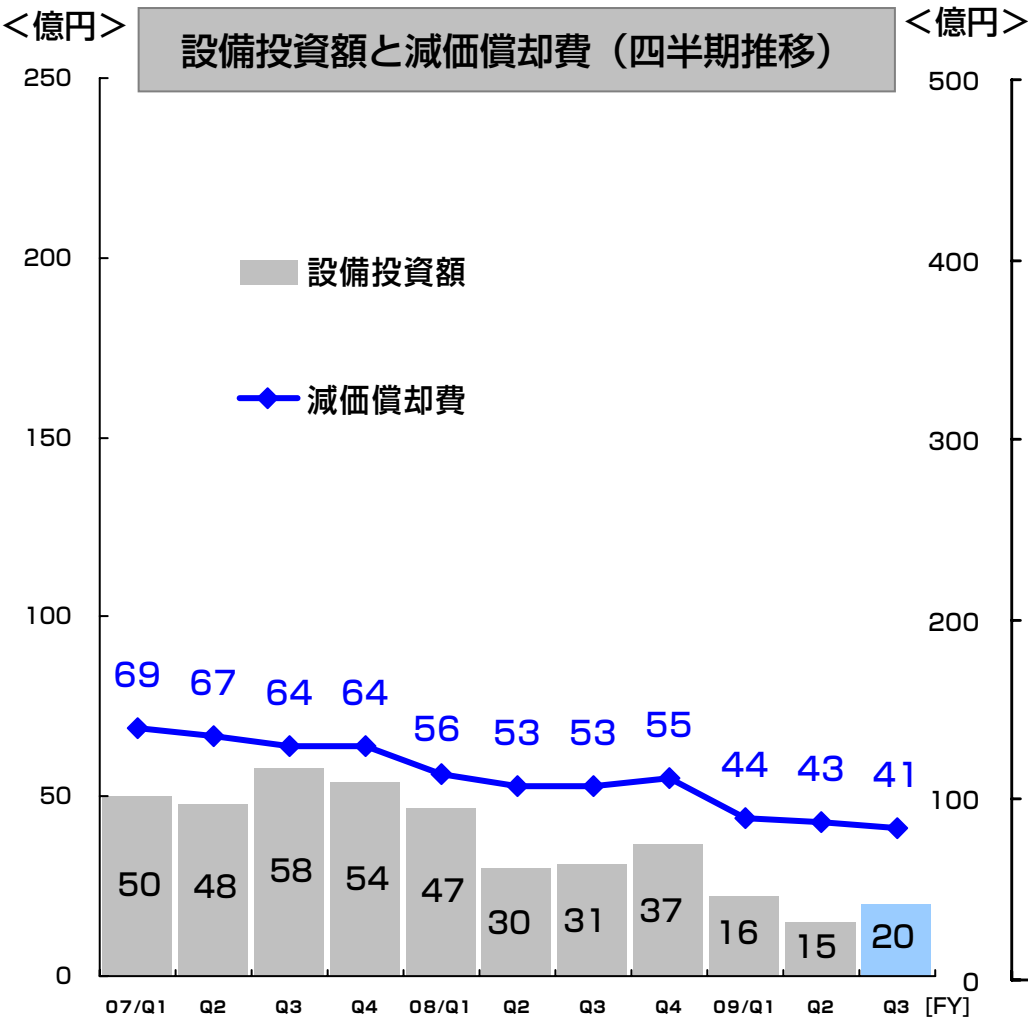
4. ARPU (Average Revenue Per User)：1課金回線あたりの平均支払額。

ヤフーとの契約変更により、FY07/Q1からYahoo! ISP収入の一部を基本料部分に計上(ユーザー負担に変更なし)。

# 設備投資（検収ベース）

<BB>

■年間計画値は期首計画対比43億円減額（09/Q2決算で発表済）



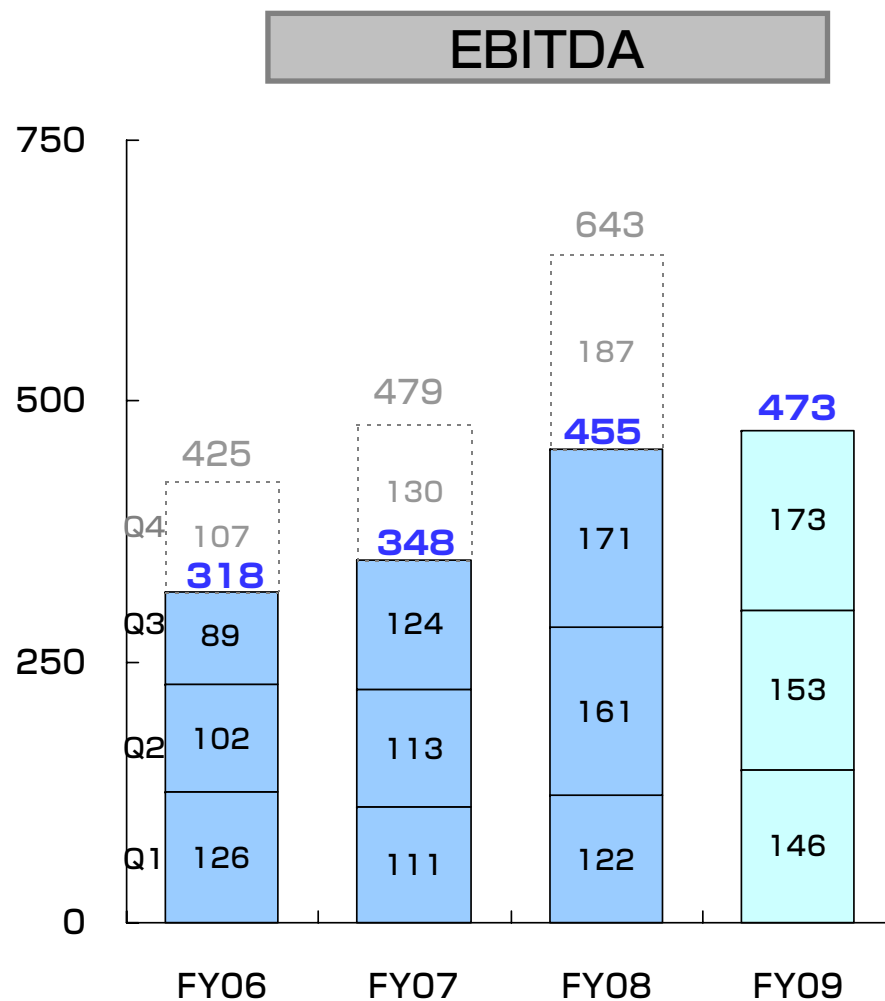
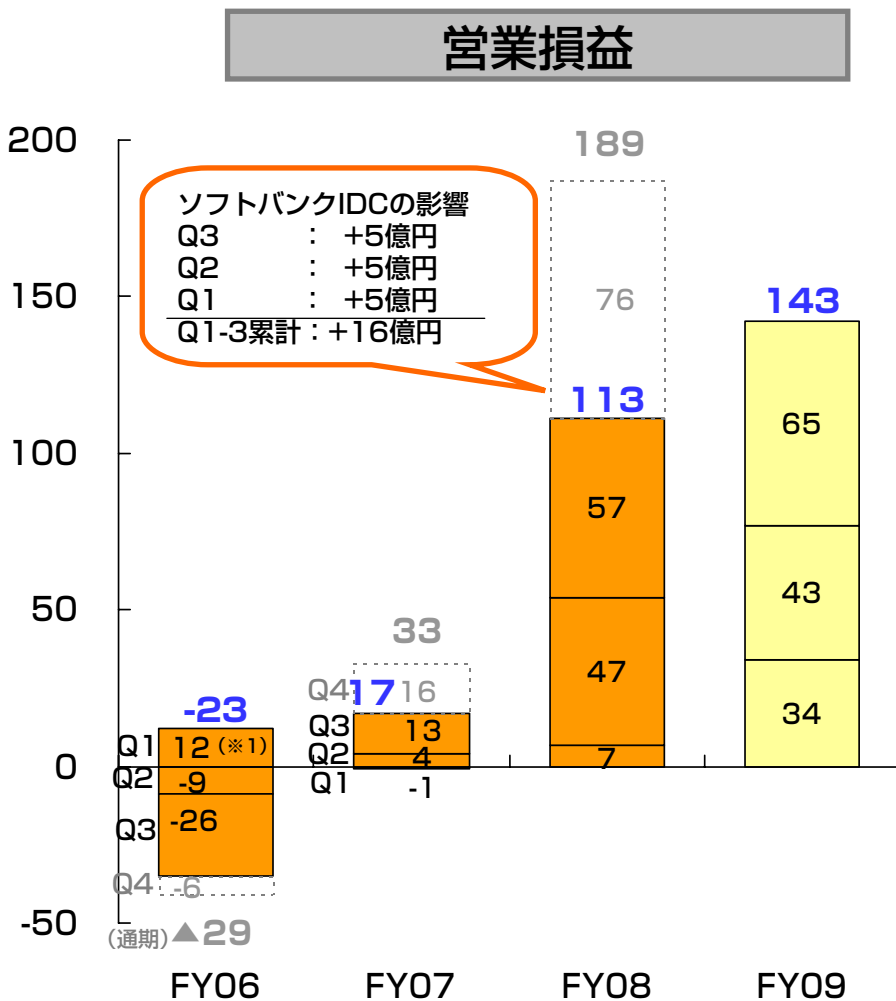
## 固定通信事業

# 営業損益・EBITDA

<固定>

## ■法人強化と経営効率化で増益のトレンドを維持

<億円>



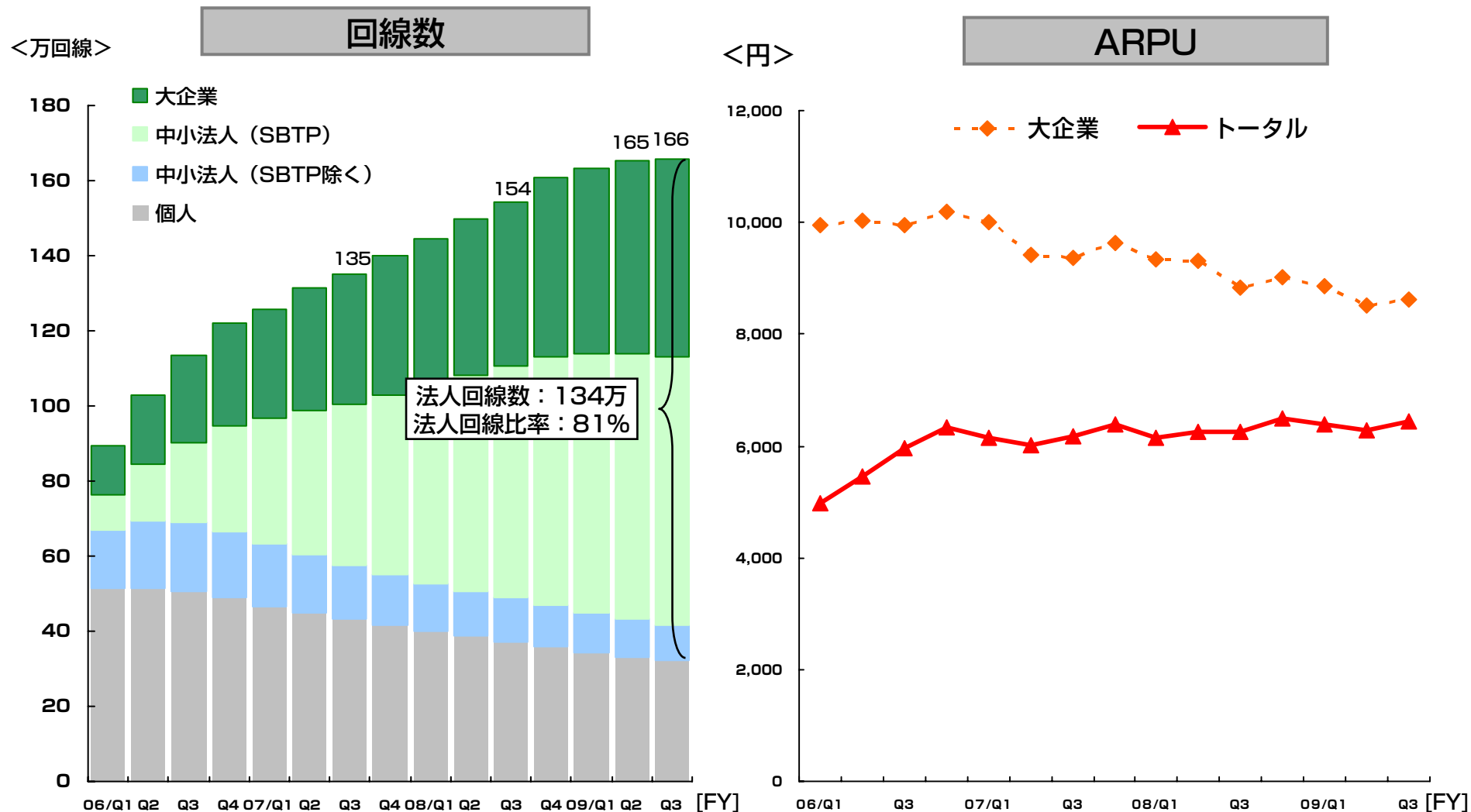
※1. 06/Q1：一時的要因（退職給付戻入）25億を含む  
 2. EBITDA = 営業損益 + 減価償却費 + のれん償却額 + 営業費用に含まれる固定資産除却損



# おとくライン 回線数とARPU

<固定>

## ■回線数とARPUは法人向けの強化で堅調に推移



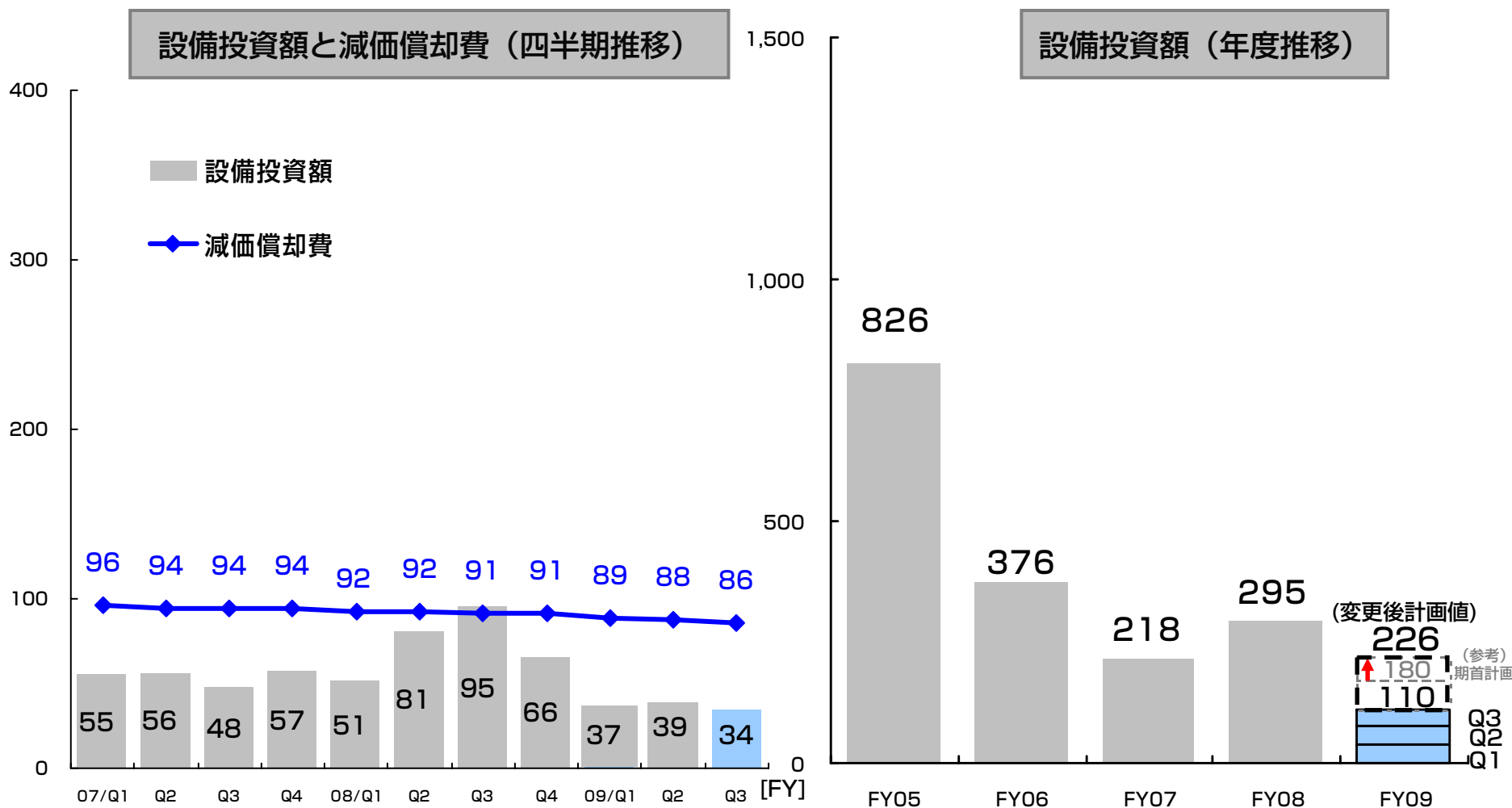
※ 1. ARPU (Average Revenue Per User) : 1回線当たりの平均収入  
2. SBTP : ソフトバンクテレコムパートナーズ

# 設備投資（検収ベース）

<固定>

■年間計画値は期首計画対比46億円増額（09/Q2決算で発表済）

<億円>



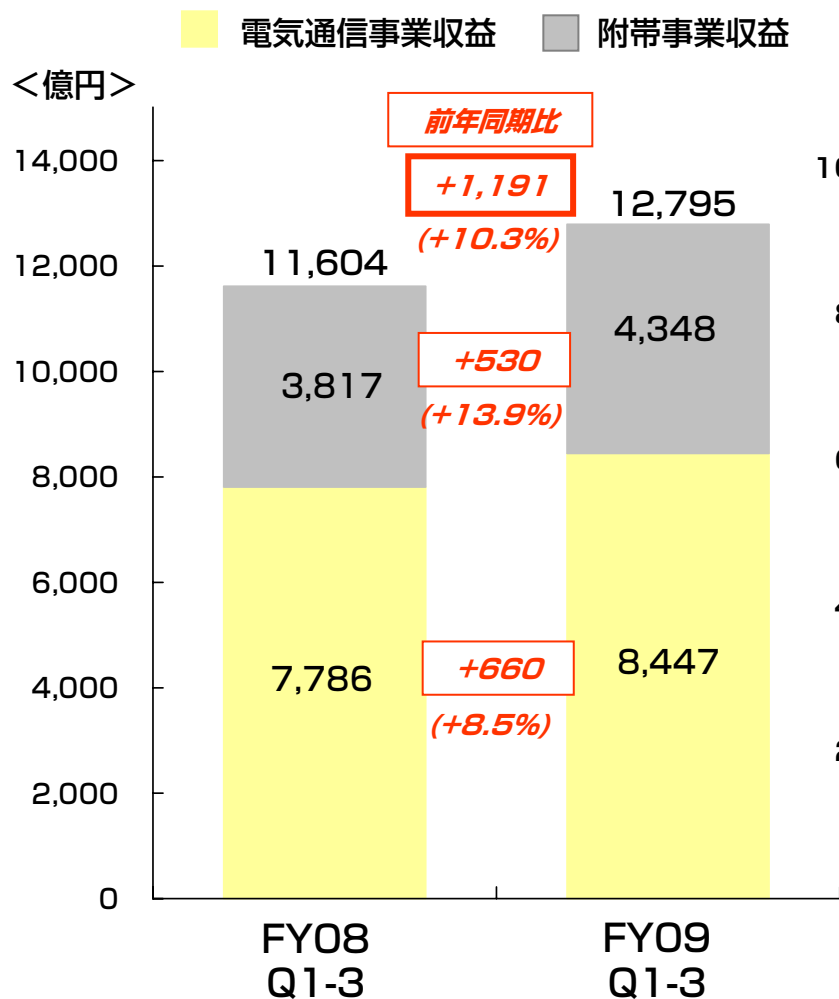
## 移動体通信事業

# SBM連結 売上高

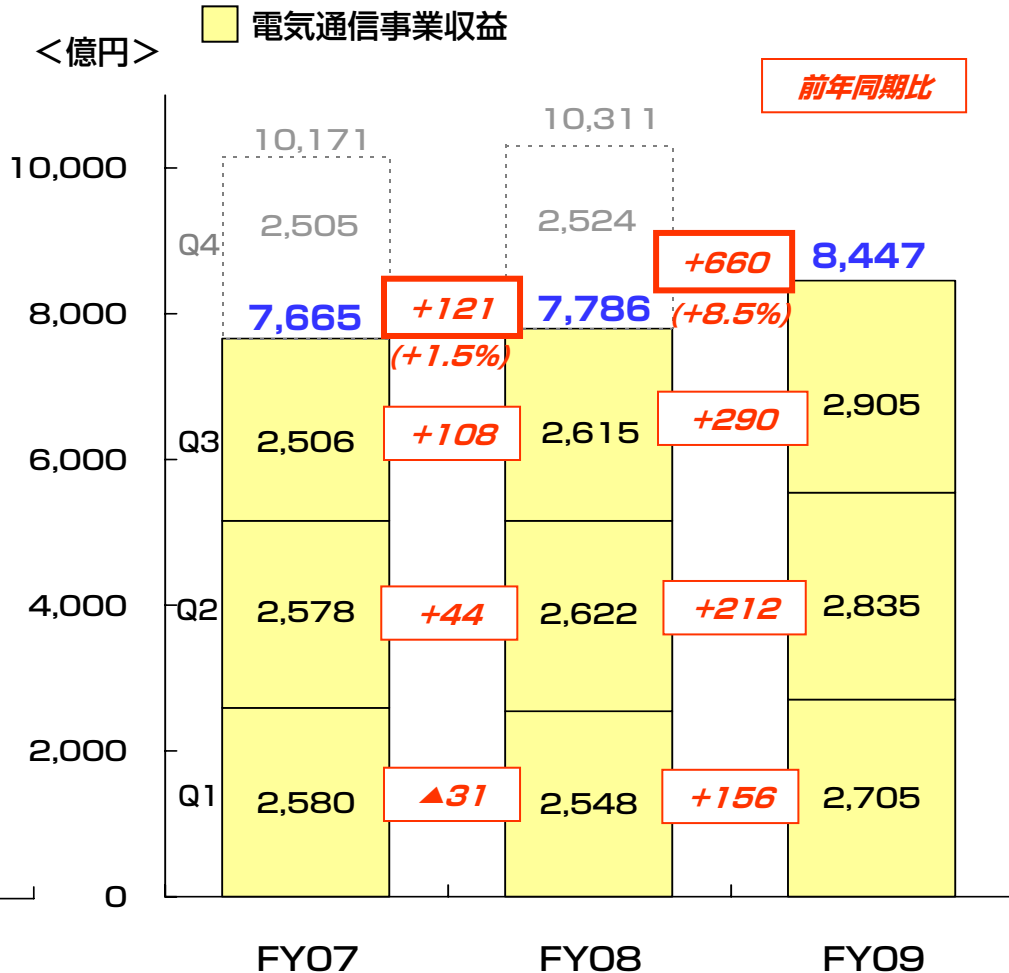
<移動体>

## ■電通事業収益、附帯事業収益ともに増収(前年同期比)

SBM連結 営業収益 (累計)



SBM連結 電通収益 (四半期比較)



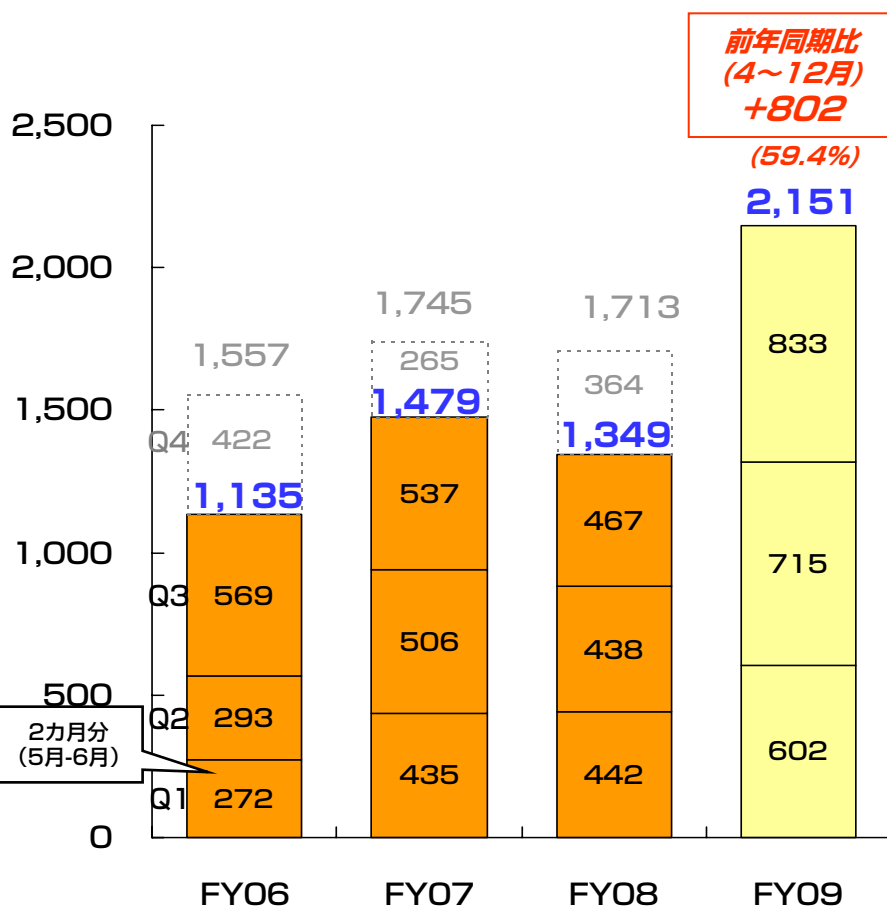
# 営業利益（SB連結・SBM連結）

<移動体>

■売上増と経営効率化の両立で約60%増益、連結最高益を牽引

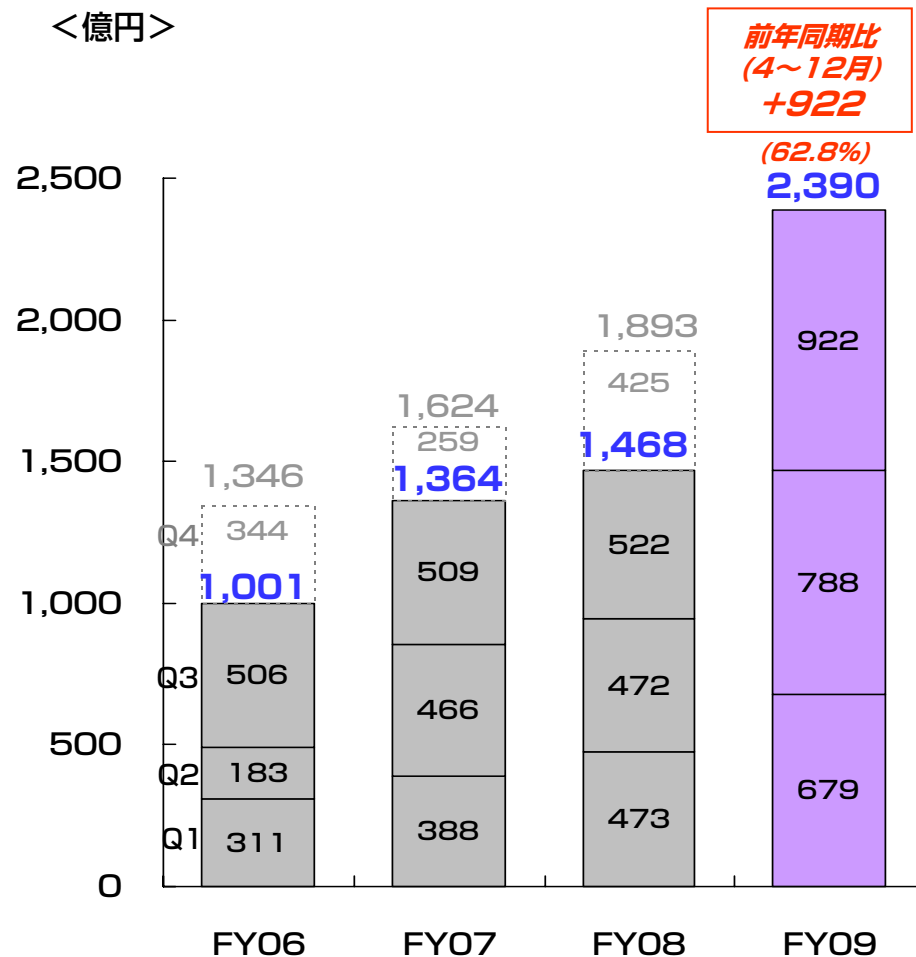
SB連結 移動体通信事業

<億円>



SBM連結

<億円>



# EBITDA (SB連結・SBM連結)

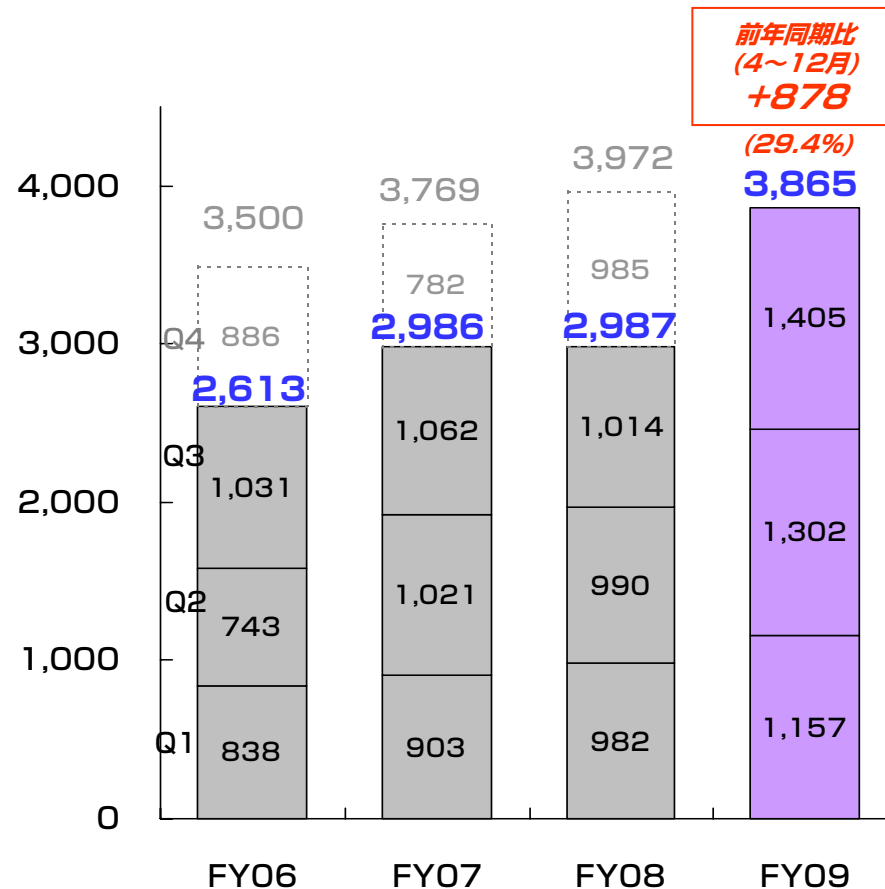
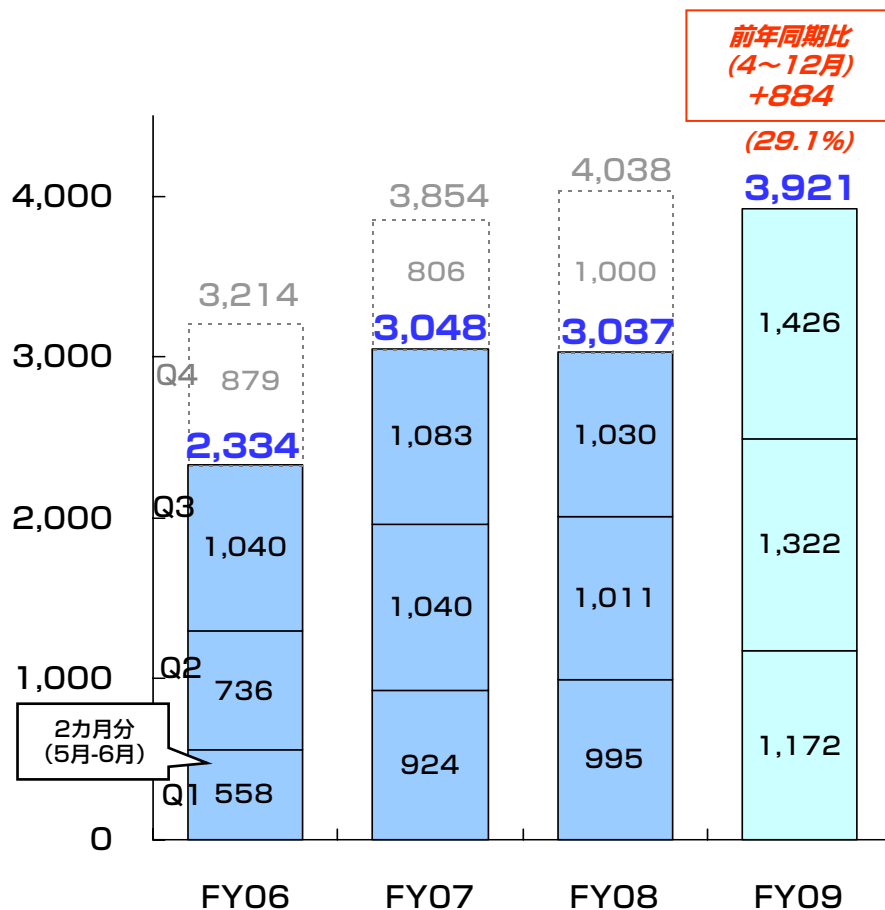
<移動体>

■売上増と経営効率化が進展し堅調に推移

<億円>

SB連結 移動体通信事業

SBM連結



※ 1. EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却額+営業費用に含まれる固定資産除却損

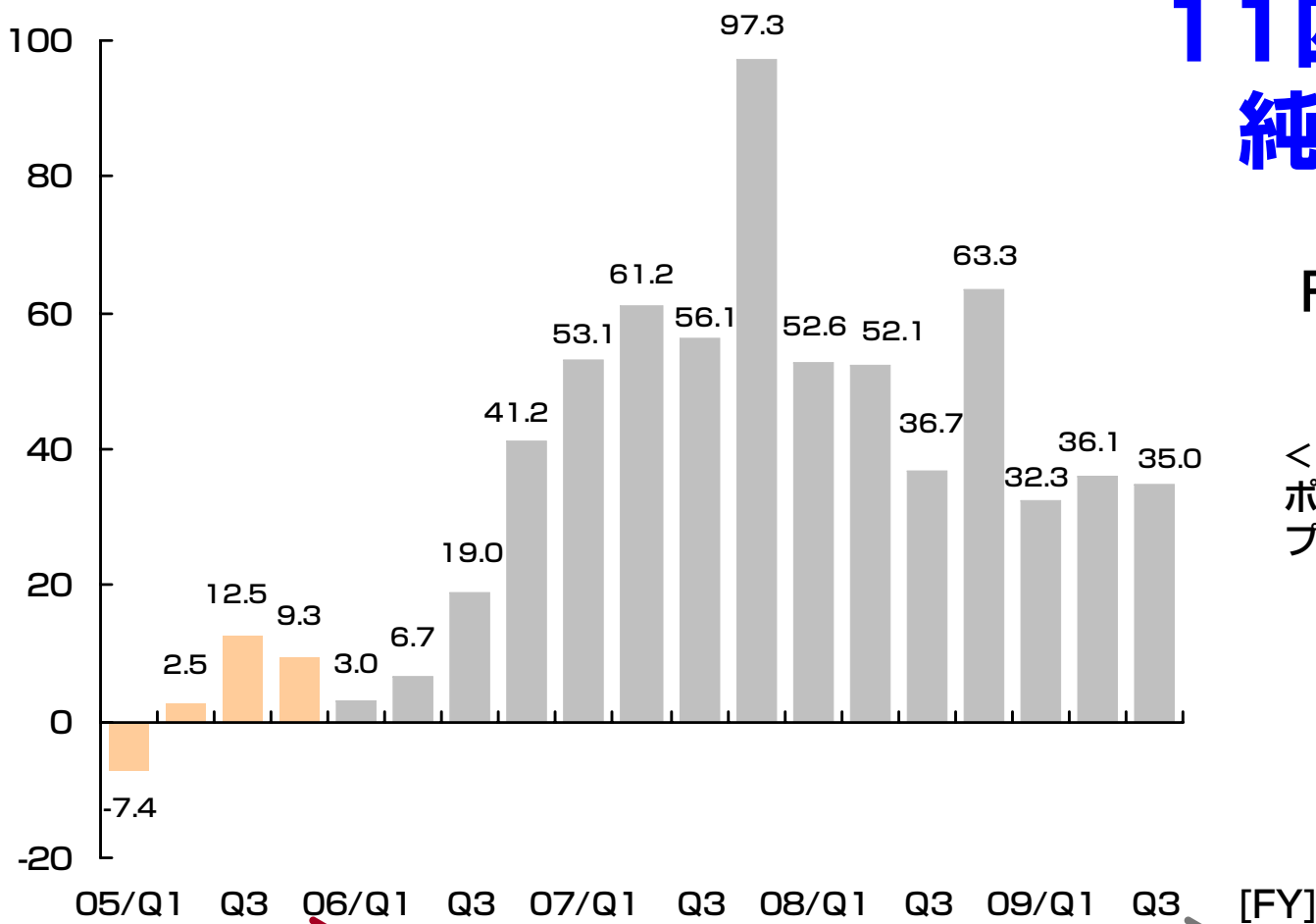
2. SB: ソフトバンク、SBM: ソフトバンクモバイル

# 純増契約数（四半期）

<移動体>

## ■順調に純増を継続

<万件>



**11四半期連続  
純増No.1\***

FY09/Q3 純増数  
**35.0万**

<内訳>  
 ポストペイド +38.3万  
 プリペイド ▲3.3万

**Vodafone**

SoftBank

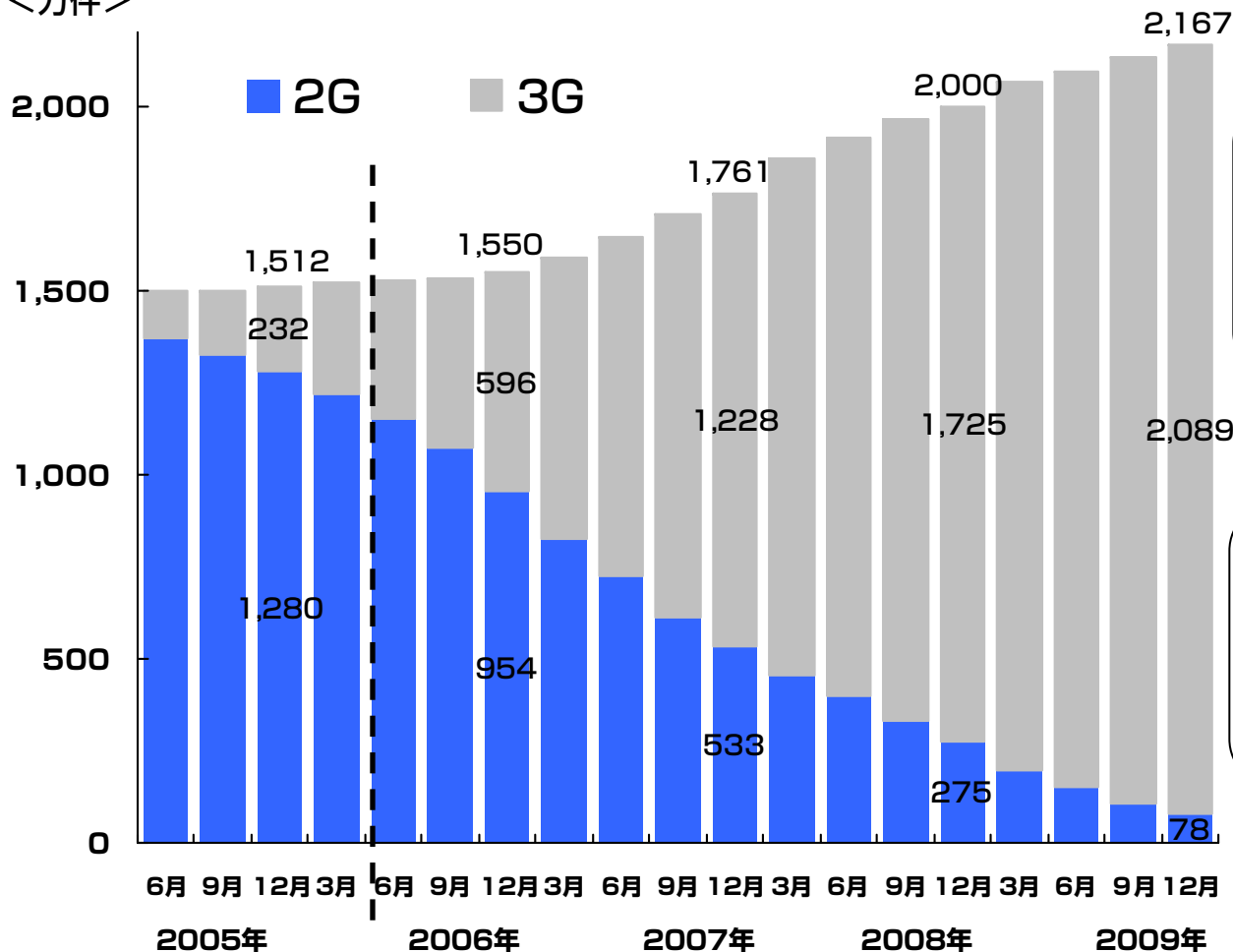
※ (社)電気通信事業者協会の統計資料を基に当社算出  
 通信モジュールの契約数を含む

# 累計契約数・3G契約数の推移

<移動体>

■累計契約数は順調に拡大。3G比率も96.4%まで上昇

<万件>



## 累計契約数

2009年12月	2,167万
2006年6月	1,524万
増加	+643万

## 3G比率

2009年12月	96.4%
2006年6月	24.4%
増加	+72.0%

**Vodafone**

※通信モジュールの契約数を含む

**SoftBank**



# 2G契約者の状況

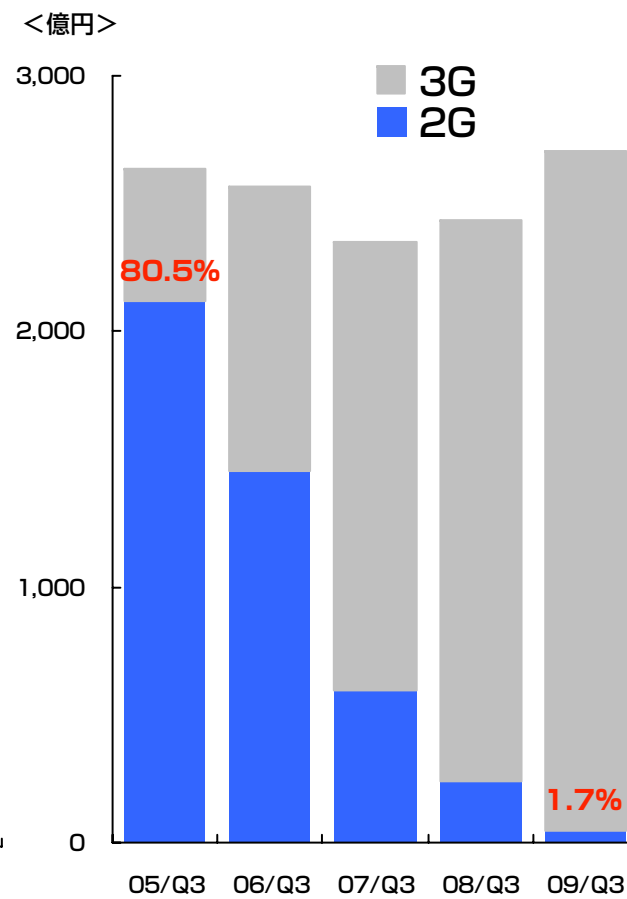
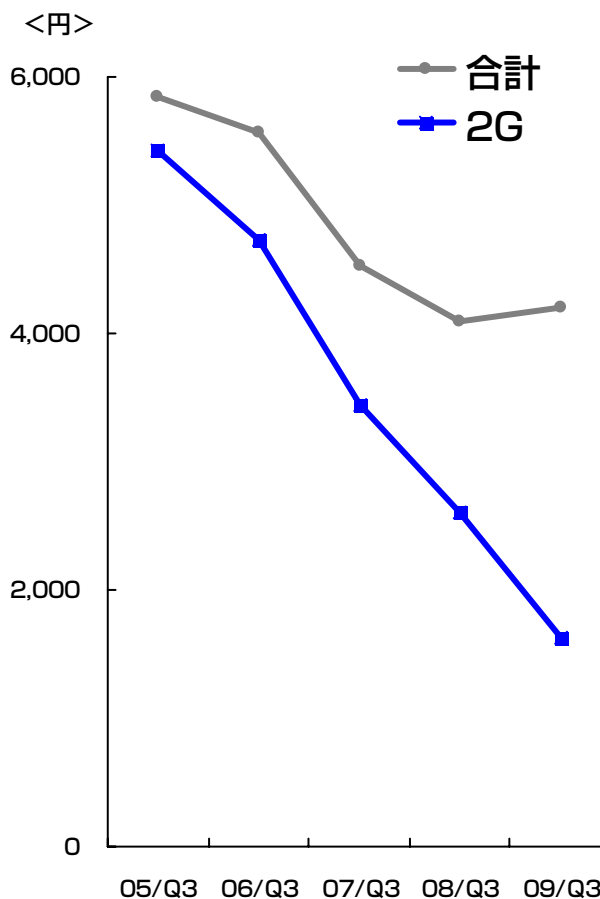
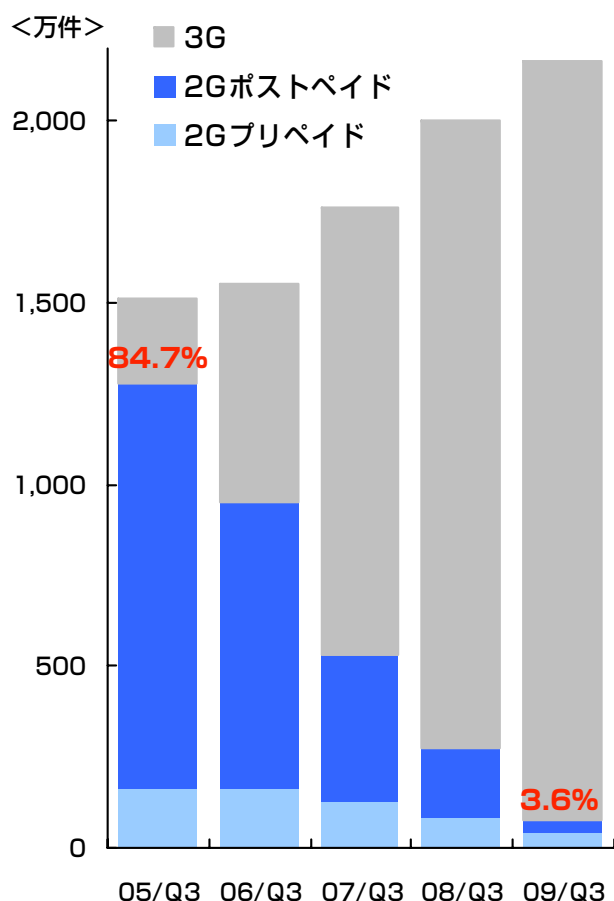
<移動体>

- 09/Q3の2G契約者うち半数がプリペイドユーザー。ARPUは減少傾向
- 09/Q3の2G契約者からの通信料収入は全体の1.7%。収入インパクト小

契約者数

ARPU

通信料収入



# 設備除却の計上と業績への影響

<移動体>

	金額 (億円)	備考
2G携帯電話設備	243	・ サービス終了に伴う設備撤去費、除却損など ・ 2G専用設備については、ボーダフォン(株)の 買収時以降サービス終了時までの定額法で償却
3G携帯電話設備	225	・ 通信機器の一部についてのメーカー集約に伴う 設備の除却および撤去
合計	468	09/Q3の特別損失に計上

## <来期業績への影響>

**プラス要因** 2G専用設備ならびに除却資産の減価償却費の減少

**プラス要因** 2G設備の維持費の減少、3Gのメーカー集約効果

**マイナス要因** 1.5GHzの展開、3Gネットワーク強化による減価償却費の増加

**マイナス要因** // による保守費等の増加

合計では**増益要因**の見込み

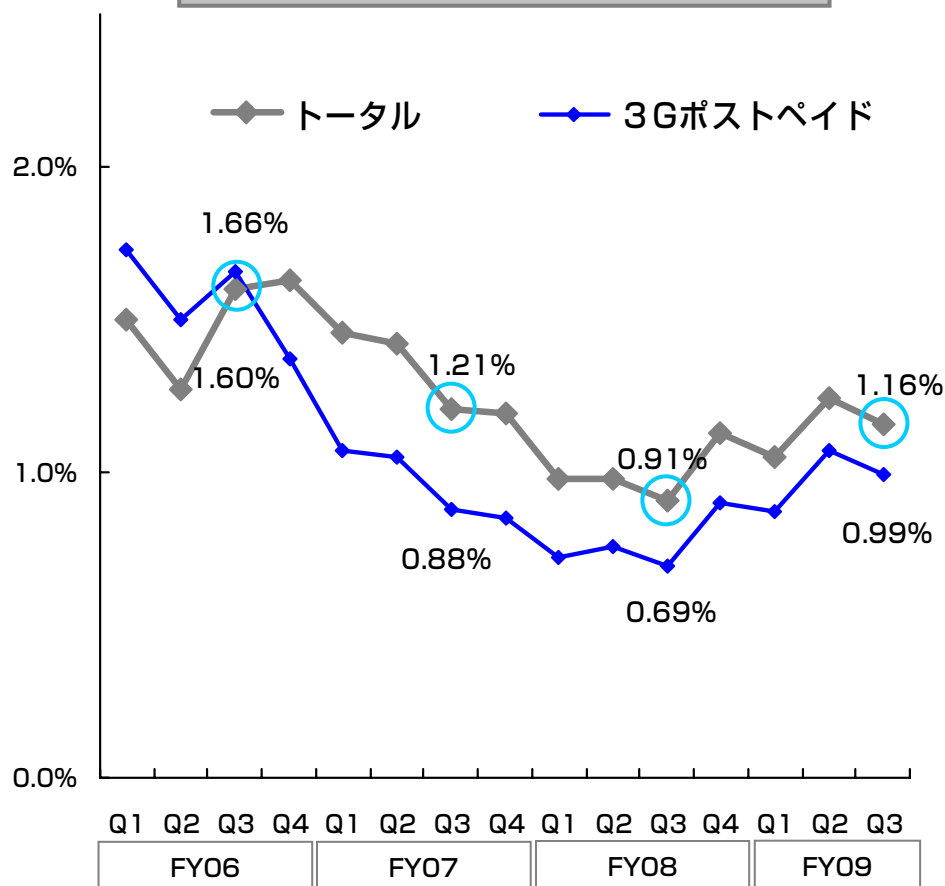
# 解約率と買替率

<移動体>

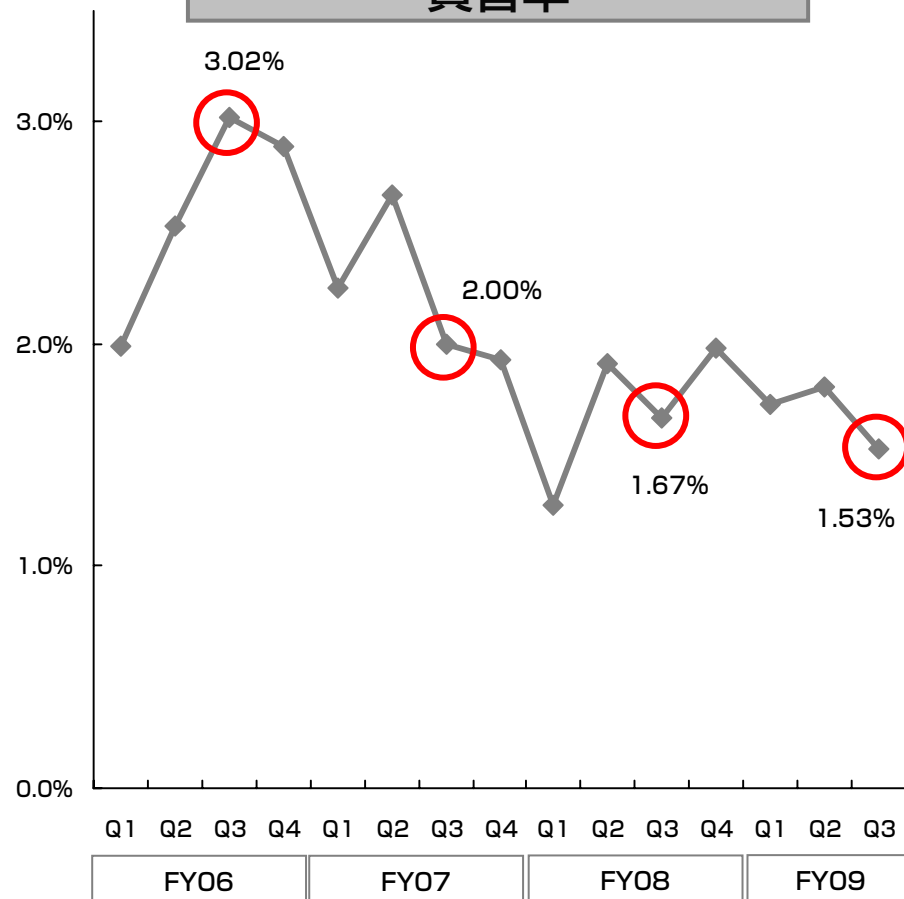
■解約率は割賦期間満了の影響もあり前年同期比上昇、直前四半期では改善

■買替率は前年同期比で減少、買替件数はほぼ横ばい

## 解約率



## 買替率



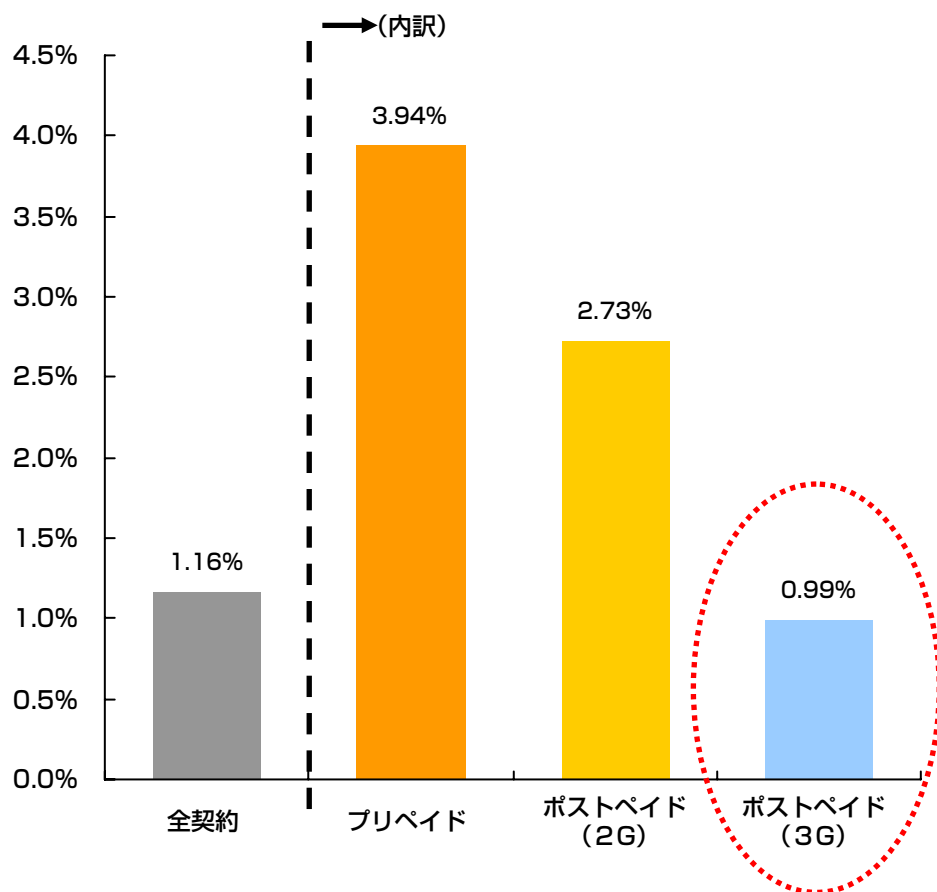
※解約率、買替率は通信モジュールおよびプリペイド式携帯電話を含む。

# 解約率詳細

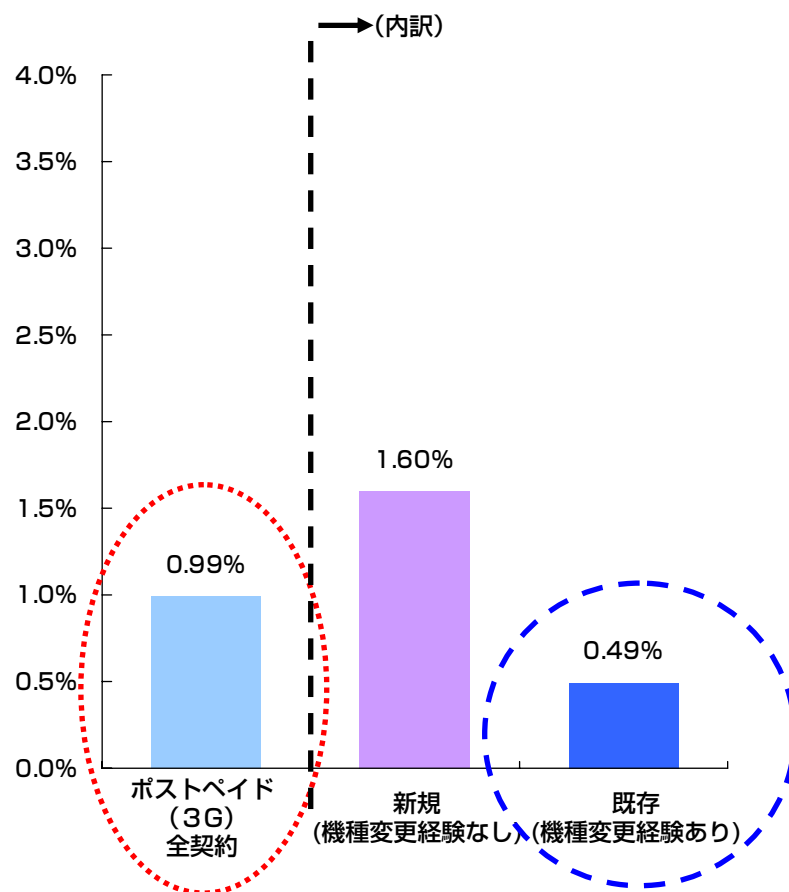
<移動体>

## ■契約別、機種変更経験の有無で解約率に大きな差あり

契約別解約率 (FY09/Q3)



機種変更有無別解約率 (FY09/Q3)  
<ポストペイド(3G)>



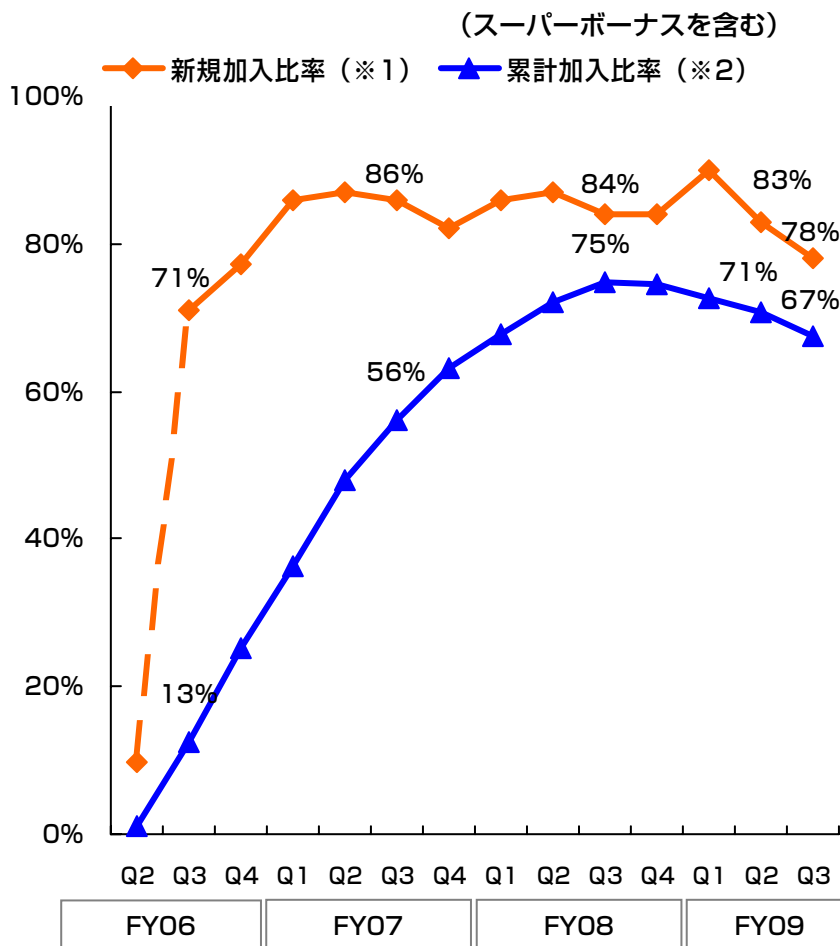
※解約率、買替率は通信モジュールおよびプリペイド式携帯電話を含む。

# 新スーパーボーナス加入率と割賦債権残高

<移動体>

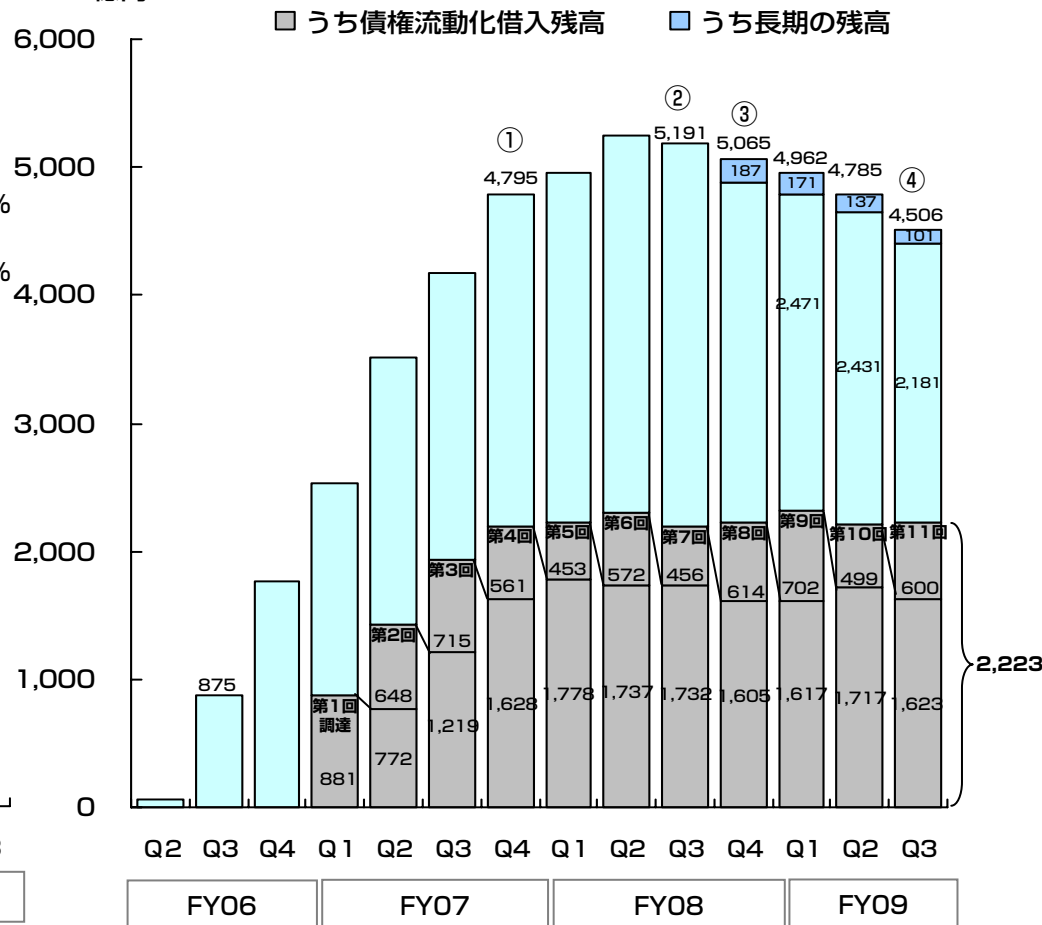
## ■高加入率維持、割賦債権残高はピークアウト

### 新スーパーボーナス加入率



### 割賦債権残高

<億円>



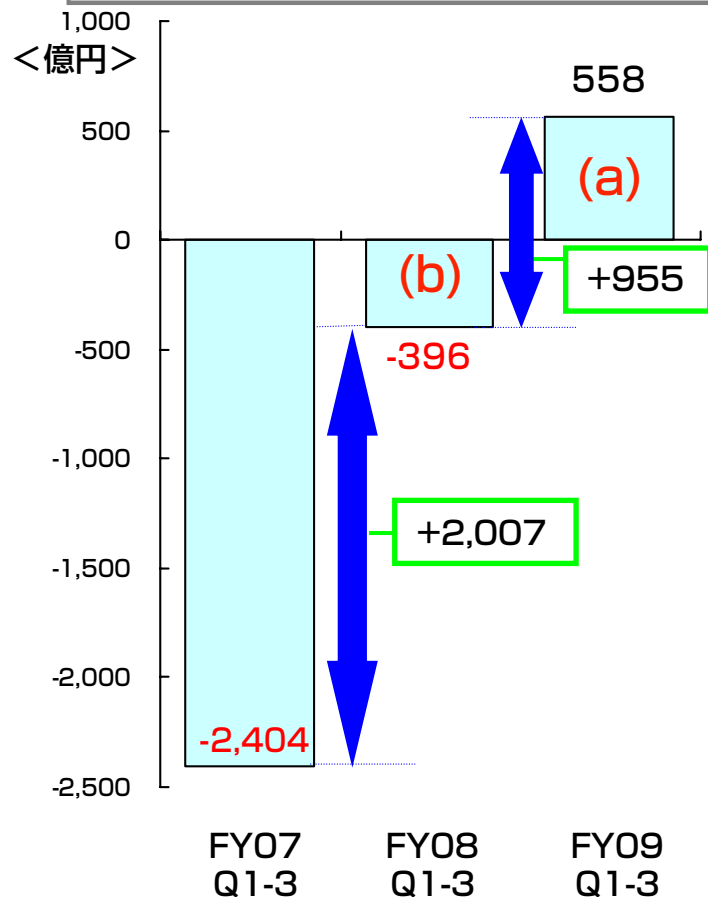
※1. 新規加入比率=期中の新規契約数(ポストペイド)および機種変更件数に占める新スーパーボーナス加入比率  
 ※2. 累計加入比率=ポストペイド契約数に占める新スーパーボーナス契約数(月月割が終了した契約を除く)の比率

# 割賦債権増減のキャッシュフローへの影響

■FY09 Q1-3：営業CFへの影響額は955億円  
 (営業CFへのインパクトは縮小傾向)

<移動体>

営業CFへの影響の増減 (累計)



	割賦債権 期首残高	割賦債権 期末残高	割賦債権 の増加	営業CFへの影響
FY09 Q1-3	③ 5,065	④ 4,506	▲558	(a) +558
FY08 Q1-3	① 4,795	② 5,191	+396	(b) ▲396
差額			▲955	<b>+955</b>

割賦債権の減少による営業CFの増加

(参考)

	08/Q1-3	09/Q1-3	差額
SB連結FCF	476	2,835	<b>+2,359</b>

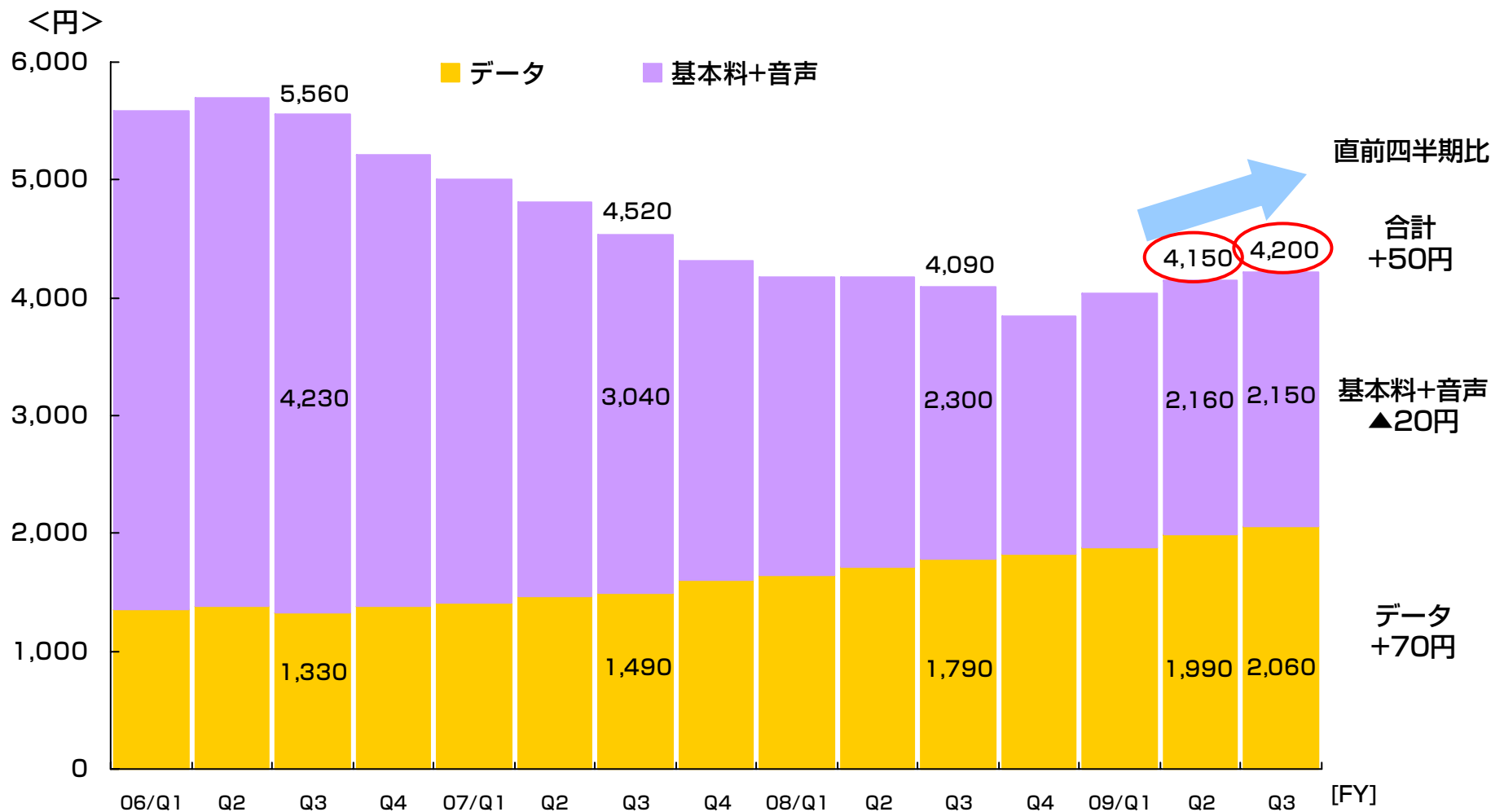
※ 1. 割賦債権残高グラフ内①、②、③、④については前ページ割賦債権残高グラフ参照  
 2. FY09/Q1-3の売掛金の減少には割賦債権売却206億円を含む。(FCFへの影響額は196億円)

# ARPU（1契約当たり通信料収入）

<移動体>

■ARPUはFY08/Q4を底に順調に回復。データARPUは初の2,000円超え

■直前四半期比：データARPUの増加が寄与し、50円増加。



※ARPU (Average Revenue Per User)：1契約当たりの平均収入。プリペイド式携帯電話、通信モジュールを含む。

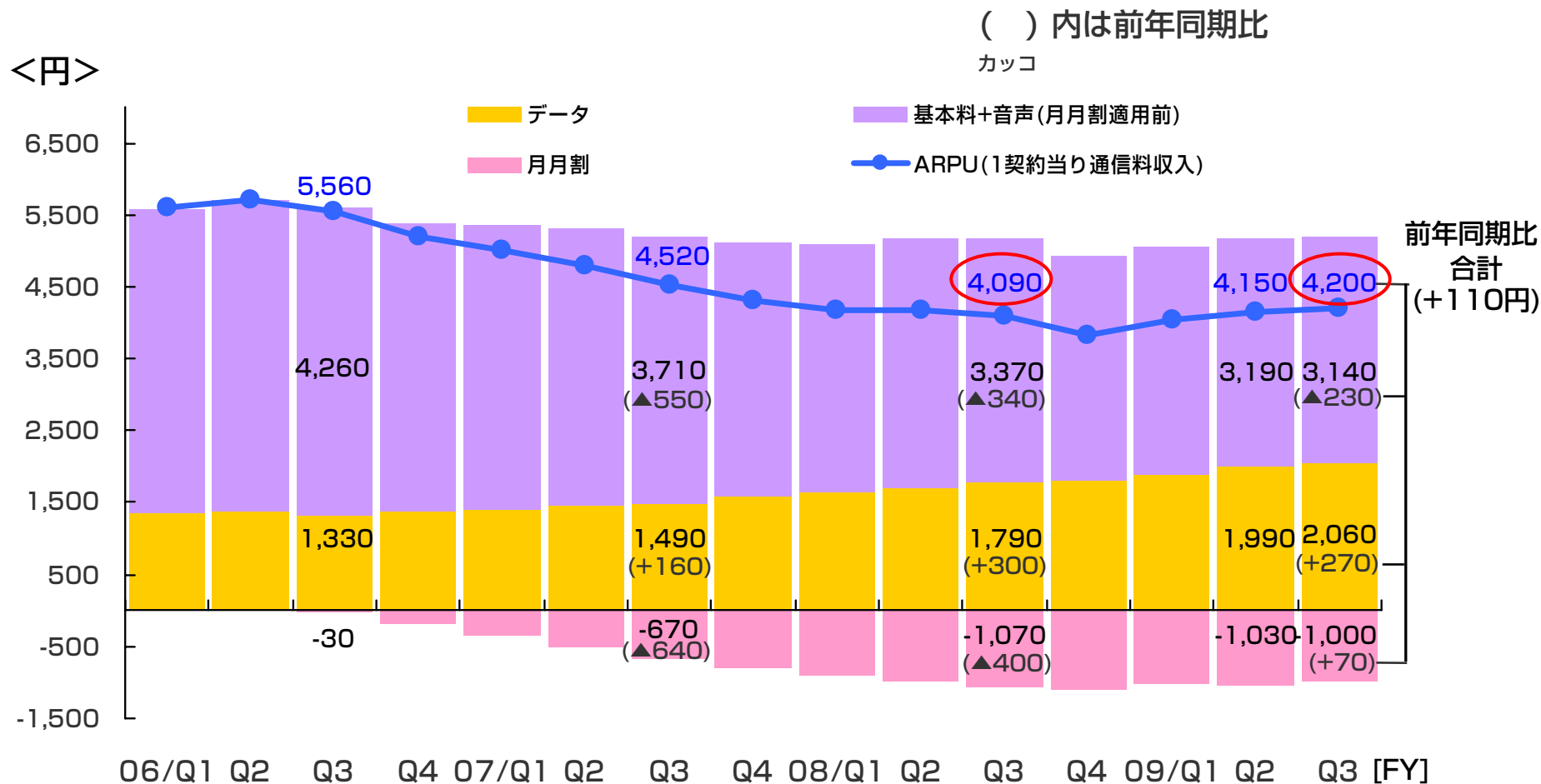
ARPU (1契約当たり通信料収入) = 基本使用料 + 月額使用料 + 通話料・通信料など - 月月割

# ARPU（1契約当たり通信料収入）

<移動体>

■ ARPU合計が前年同期比で初のプラス（+110円）

■ 前年同期比：音声は減少傾向が続くが減少幅は縮小、データは270円(約15%)増加



※ARPU（Average Revenue Per User）：1契約当たりの平均収入。プリペイド式携帯電話、通信モジュールを含む。

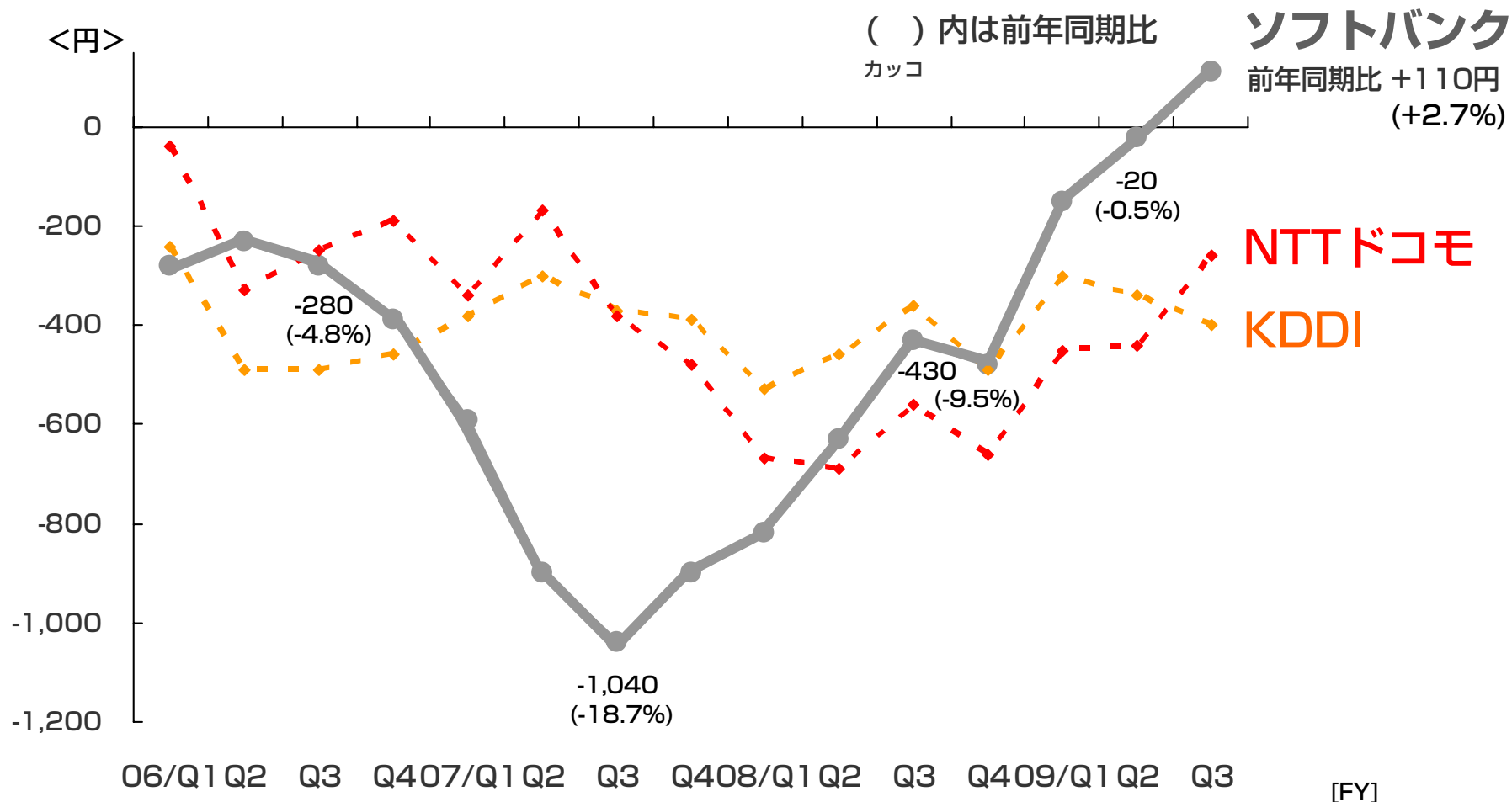
ARPU（1契約当たり通信料収入）＝基本使用料＋月額使用料＋通話料・通信料など－月月割



# ARPU（1契約あたり通信料収入）増減前年同期比

## ■ ARPUが前年同期比で初のプラス（+110円）

<移動体>



※ARPU (Average Revenue Per User) : 1契約当たりの平均収入。プリペイド式携帯電話、通信モジュールを含む。

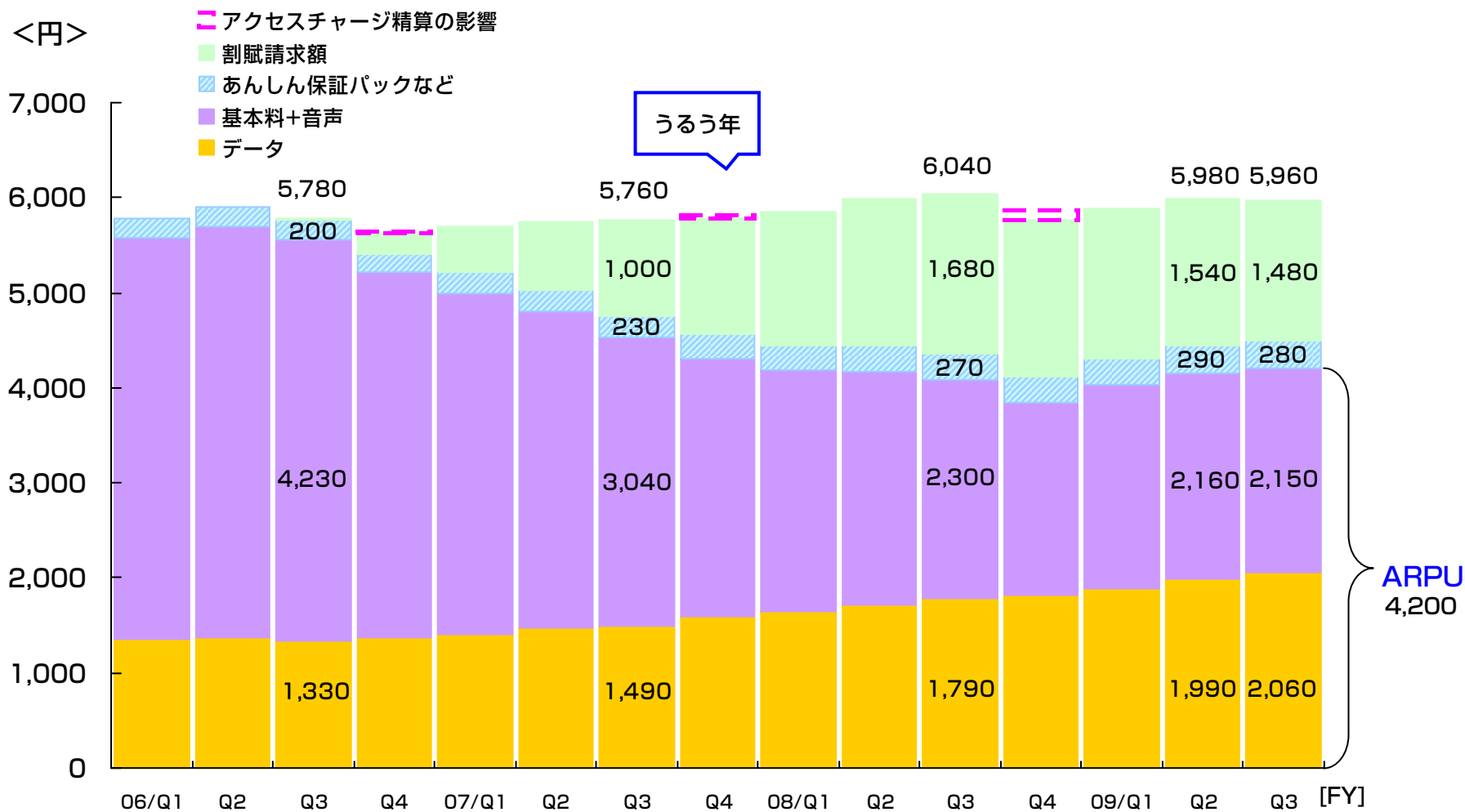
ARPU (1契約あたり通信料収入) = 基本使用料 + 月額使用料 + 通話料・通信料など - 月月割

※各社の開示資料を基に当社作成

# 1 契約当たり現金収入

<移動体>

## ■ 1 契約当たり現金収入 (割賦請求額含む) は堅調に推移



※ 1 契約当たり現金収入 = ARPU + 端末割賦請求分 + あんしん保証パックなど

# 設備投資 (検収ベース)

<移動体>

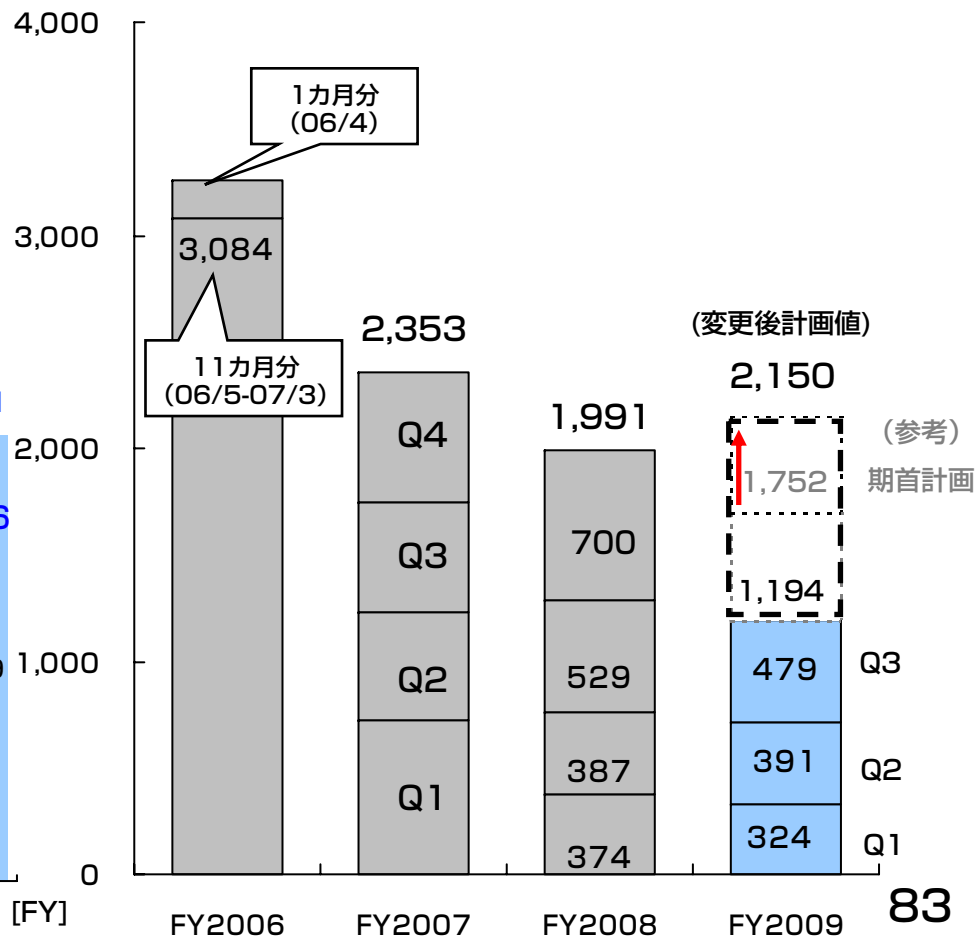
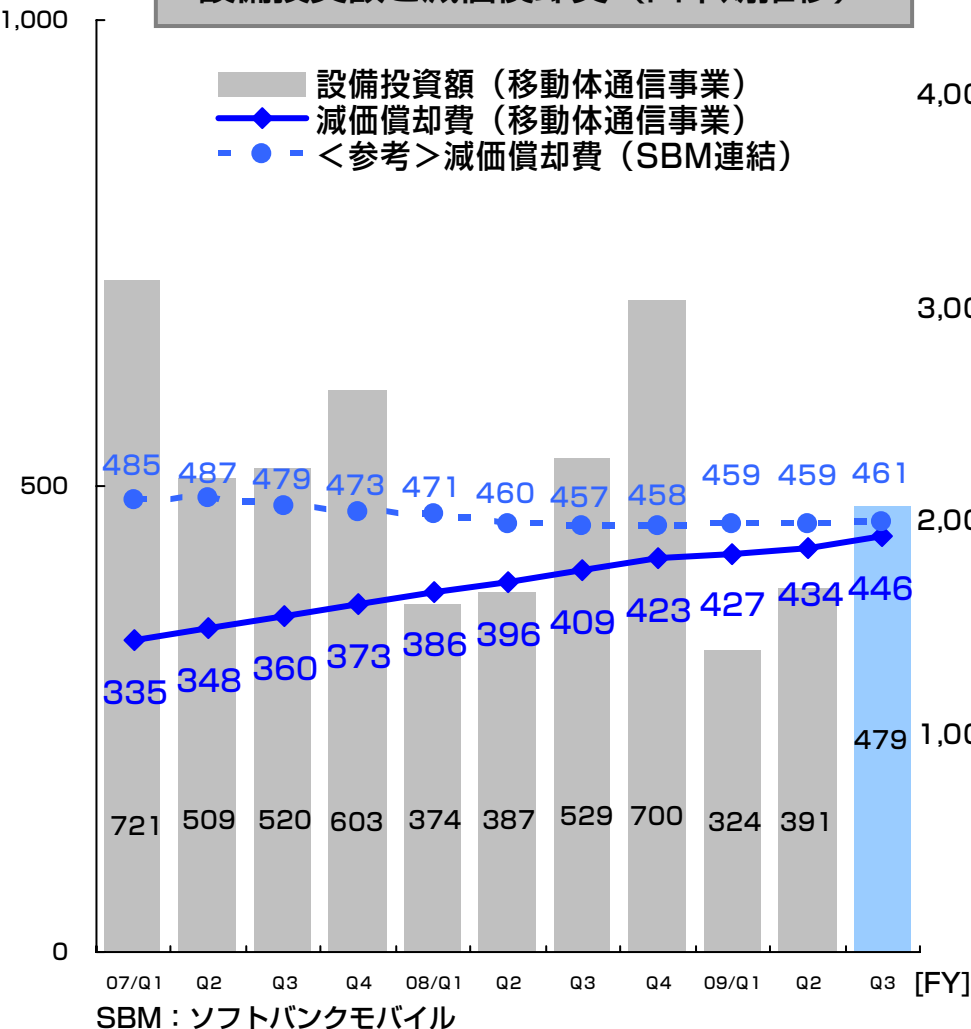
■年間計画値は期首計画対比398億円増額 (09/Q2決算で発表済)

<億円>

設備投資額と減価償却費 (四半期推移)

設備投資額 (年度推移)

- 設備投資額 (移動体通信事業)
- ◆ 減価償却費 (移動体通信事業)
- <参考> 減価償却費 (SBM連結)

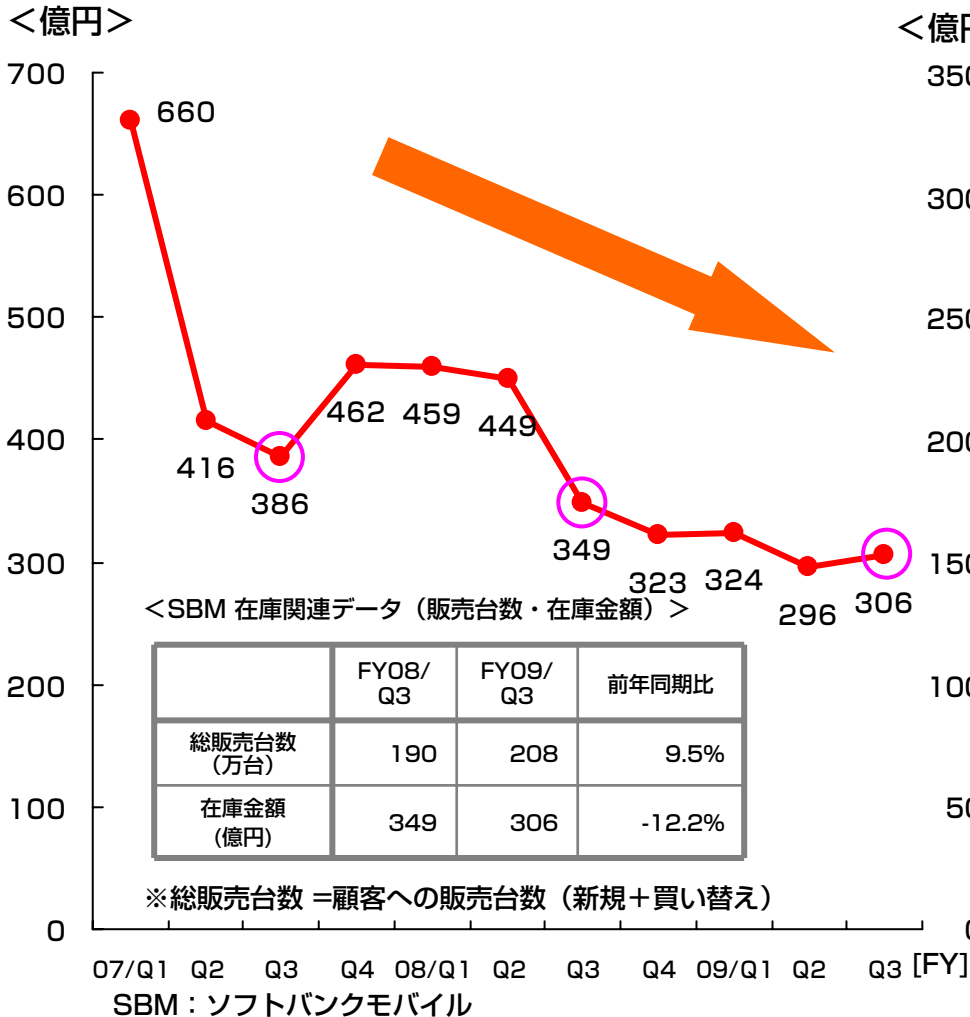


# 経営の効率化推進

<移動体>

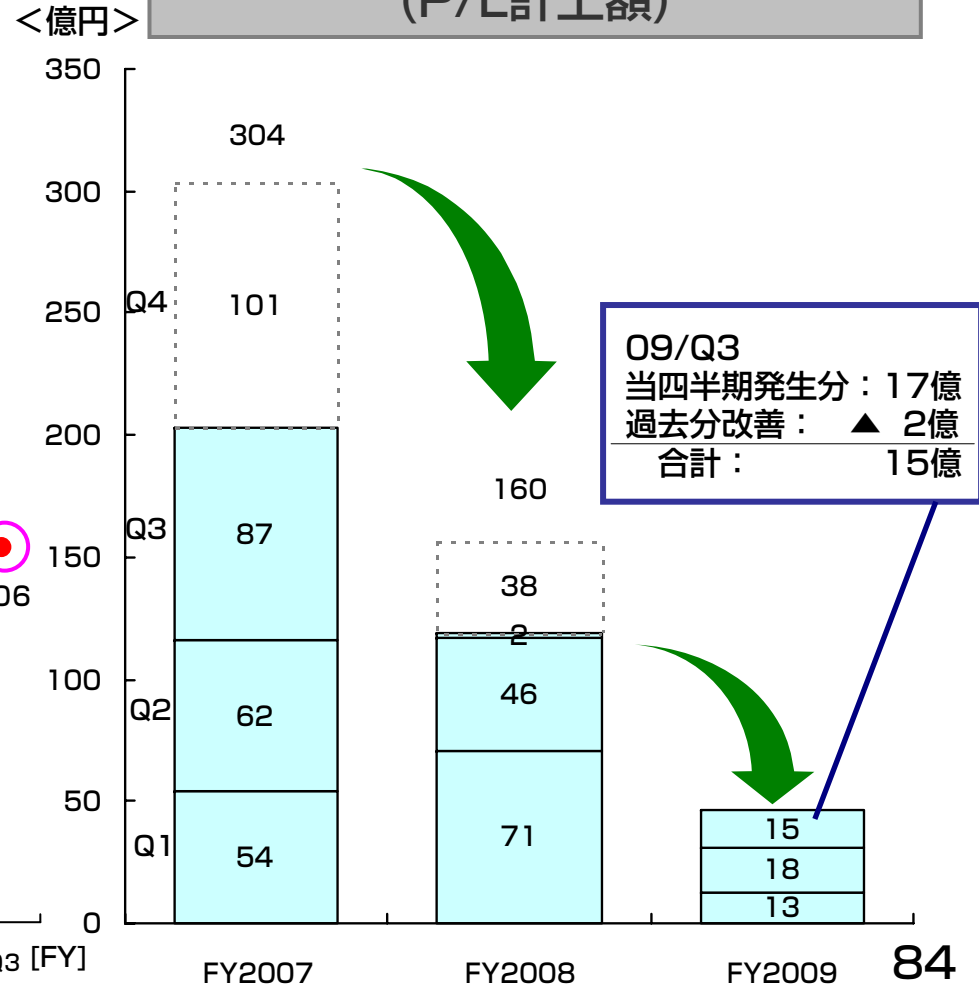
## ■FY07より大幅に削減

SBM 在庫金額(B/S計上額)



## ■貸倒関連費用も大幅に改善

SBM 割賦債権貸倒関連費用推移 (P/L計上額)



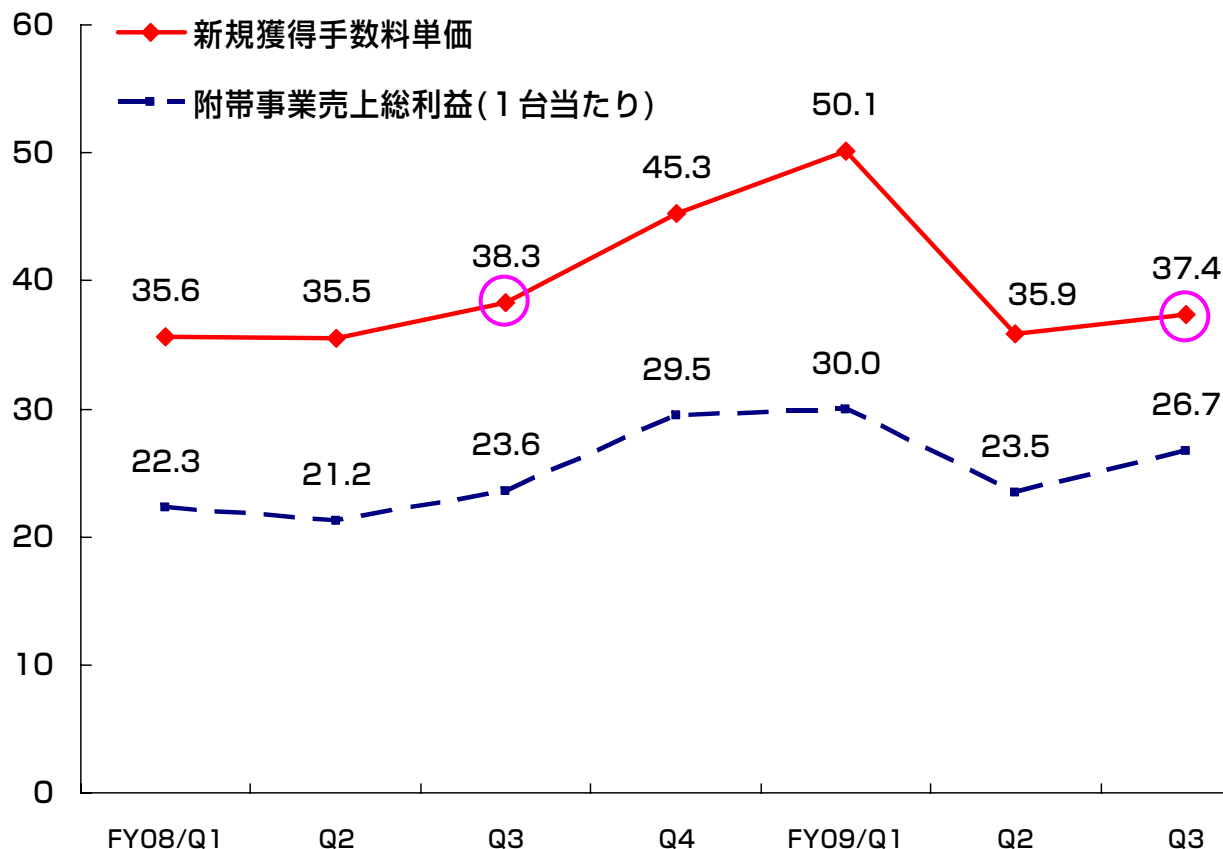
# 新規獲得手数料と附帯事業売上総利益

<移動体>

■新規獲得手数料は前年同期比低下、直前四半期比上昇  
 変動は主に機種構成の影響

SBM 新規獲得手数料単価<sup>※1</sup>  
 附帯事業売上総利益(1台あたり)<sup>※2</sup>

<千円>



- ※1. 新規獲得手数料単価  
 = 新規獲得費 ÷ 新規販売台数 (契約ベース)
- ※2. 附帯事業売上総利益(1台あたり)は概算  
 附帯事業売上総利益(1台あたり)  
 = 附帯事業売上総利益 ÷ 総販売台数  
 (新規+買替、契約ベース)



- 本資料に掲載されている会社名、ロゴ、製品名、サービス名およびブランドなどは、ソフトバンク株式会社または該当する各社の登録商標または商標です。
- 本資料の一部あるいは全体について、当社の許可なく複製および転載することを禁じます。